KAWAI

ご使用前の準備

演奏ガイド

様々な機能を楽しむ

演奏を録音再生する

様々な設定を操作する

付録

Concert Artist

CA97/67

取扱説明書

このたびは、KAWAIデジタルピアノCA97 / 67をご購入
くださいまして、誠にありがとうございます。
本楽器を存分にお楽しみいただき、末永くご愛用いただ
くためにも、この取扱説明書をよくお読みになり、
大切に保管してくださいますようお願い申し上げます。

■付属品（お確かめください）

- □ 保証書
- ☑ 取扱説明書（本書）
- □ クラシカルピアノコレクション（楽譜集）
- □ カワイデジタルピアノ　ユーザー登録のご案内
- □ アフターサービスと音楽教室のご案内
- □ 楽譜集ご案内
- □ 「コンサートマジック曲集」注文払込用紙
- □ 高低自在椅子
- □ 電源コード
- □ ヘッドホン
- □ ヘッドホンフック
- □ スタンド組立図（CA67のみ）

はじめに

取扱説明書について

取扱説明書では、CA97 / 67をすぐお使いできるよう基本的な演奏ガイドから、様々な機能を使いこなすための操作まで説明しています。また付録では音色一覧やCA67の組み立て方法などの資料を見ることができます。

表記について

この取扱説明書では、操作方法を簡潔に説明するために、[　]で囲まれた文字は、ボタン名を表し、[PIANO 1]ボタン、のように表記します。なおイラストは断りのない限りCA97のイラストを使用します。

本製品の特徴

電子ピアノ最高クラスのタッチ感を備えた『88鍵木製鍵盤 Grand Feel アクションII』

CA97 / 67は、グランドピアノと同様のシーソー構造のアクション、グランドピアノ同様の支点距離、電子ピアノの中で群を抜く鍵盤の長さ、すべての鍵盤にカウンターウェイトを備えた88鍵木製鍵盤Grand Feel アクションIIにより、グランドピアノに限りなく近い弾き心地で演奏することができます。新しく見直したハンマー構造により、よりグランドピアノらしい"重さが持続する"タッチ感を得られるようになりました。また、白鍵は象牙調、黒鍵は黒檀調の風合いを備え、どちらも優れた吸湿性を持たせることにより、全ての鍵盤で指が滑りにくく、心地よいタッチ感が得られます。3つのセンサーを搭載することで同音連打の演奏性やレガート演奏時の音の繋がりが一層グランドピアノに近づいているだけでなく、弱く弾いたときに感じられるアコースティックピアノ特有のクリック感を実現するレットオフフィールも搭載、グランドピアノがもつ細やかなタッチの感触まで余すことなく再現します。

カワイが誇る最高のグランドピアノ SK-EX、EX、SK-5　3台のピアノ音を搭載

CA97 / 67にはカワイが誇る最高のグランドピアノシリーズであるShigeru Kawaiから、コンサートグランドピアノSK-EX、中型グランドピアノSK-5を新たに搭載しました。また、世界最高峰のピアノコンクールであるショパン国際ピアノコンクールで実際に使用したカワイコンサートグランドピアノEXも搭載、合計3モデルのグランドピアノ音を内蔵しています。これらのピアノレコーディングにおいては、ピアノ作りに精通したカワイだからできる最良のピアノ選定、最高レベルの調律師による秀逸のピアノ調整を行っています。それらのピアノを88個の鍵盤一つ一つ丁寧に、究極のこだわりを持って録音することで、妥協のないピアノサウンドに仕上がりました。最新の「HI-XL音源」は、弱打から強打までのスムーズな音色変化、和音の濁りが少なく減衰に伸びのあるリアルなピアノ音を実現、そのクオリティを余すことなく表現します。
さらに、グランドピアノは弦、駒、ダンパー、フレーム、響板それぞれが相互に振動、共振することで複雑な共鳴を発生させ、独特な響きを放ちます。CA97 / 67はこの現象を1つ1つ物理的に解析し演算シミュレーションを行い再現する「アコースティック・レンダリング」技術を搭載しています。ダンパーレゾナンスやストリングレゾナンス、キーオフレゾナンスやキャビネットレゾナンス、開放弦レゾナンスといったピアノの様々な共鳴現象を、新開発の信号処理プログラムにより、リアルタイムに計算し発生させます。ピアノ作りに精通したカワイだからできるピアノ解析技術により、グランドピアノのあらゆる共鳴現象をリアルに再現します。

ヘッドホン

CA97 / 67は、スピーカーだけでなく、ヘッドホン機能にもこだわりました。ヘッドホンを付けていないような音で演奏できる「スペイシャルヘッドホンサウンド」や、あらゆるタイプのヘッドホンに対応した「ヘッドホンタイプ」を搭載することで、ヘッドホンでの心地よい演奏をサポートします。また、高級ヘッドホンアンプにも搭載されているヘッドホンアンプIC「Texas Instruments社製TPA6120」を採用することで、最高クラスのヘッドホン音質を実現しています。

簡単に、お好みのピアノの状態へ調整可能な『コンサートチューナー』

グランドピアノは、演奏者の好み、要望に応じてピアノ音の音質、響きなどを細かく調整することが可能です。CA97 / 67は、そのようなピアノ調整を実現する"コンサートチューナー"機能を搭載しています。「ハンマーの硬さを調節して音の柔らかさを調整する」、「1音だけ音の強さを調節する」など、調律師が行う調整について、19種類もの項目を備えています。
さらに、これらの19項目のコンサートチューナー機能があらかじめ設定されている「お好み設定」を搭載、"リッチ / クラシカル / ブリリアント"といったプロの調律師のトータルピアノセッティングがプリセットされているので、調整内容がわからない人でも簡単に多くのピアノ設定を利用して楽しむことができます。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。

製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。

注　意
感電の危険あり 本体をあけるな

注意：感電防止のため本体の内部を開けないでください。機器の内部にはお客様が修理／交換出来る部品はありません。点検や修理は必ずお買い求めいただいた販売店または同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」にある、お近くの弊社フィールドサポート担当までご依頼ください。

このマークは感電の危険があることを警告しています。

このマークは注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

警告と注意、記号表示について

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。

●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。

⚠警告

電源は必ずAC100Vを使う

電圧の異なる電源を使用しないでください。発火の恐れがあります。

付属の電源コードは本機でのみ使用する

付属の電源コード以外を本機で使用しないでください。付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。

電源コードを熱器具に近付けたり、無理に曲げたり重い物を載せたりして傷つけたりしない

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

本機を分解、修理、改造しない

本機を落としたり、強い衝撃を加えない

怪我および破損の恐れがあります。

この機器の上に花瓶等の液体の物を置いたり、水にぬれるような使い方をしたりしない

故障・感電・発火の原因になります。

水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く

本機の内部に異物を入れないようにする

水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

照明用のロウソクなどの裸の火を機器の上に置かない。

本機を次のような所では使用しない

- 窓際など直射日光の当たる場所
- 暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
- 戸外など極端に温度の低い場所
- 極端に湿度の高い場所
- 砂やホコリの多い場所
- 振動の多い場所
- 本体の放熱を妨げる様な周囲が囲まれた場所

故障の原因になります。

⚠注意

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

落雷の恐れのある時や長時間使用しない時は必ず電源プラグを抜く

感電・火災及び故障の原因になる恐れがあります。

コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

本機や接続機器の故障の原因になります。

鍵盤蓋で指などをはさまないよう注意する

鍵盤蓋はゆっくり閉めてください。勢いよく閉めると指をはさみ、けがの原因になります。

持ち運びは2人で行う

電源プラグは直ぐに抜くことが出来る状態にしておく

この機器は電源スイッチを切った状態でも主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に遮断するためには、電源プラグを抜いてください。プラグは直ぐに抜くことが出来る状態にしておいてください。

お子様の行動に十分注意してください

お子様が使用する場合や周囲にお子様のいる場所での使用においては、大人の監視のもと十分注意し使用してください。

上に乗らない

本機の上に乗ったり、重い物を乗せたりしない

変形したり、倒れる恐れがあり、故障やけがの原因になります。

イスは次のように使用しない

- イスを不安定な場所に置かない
- イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない
- イスには2人以上で座らない
- イスに座ったまま高さ調節をしない（調節機能付きの場合）
- ネジの緩んだイスに座らない

イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。長時間使用してイスのボルトがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。

不安定な場所に置かない

怪我や破損の恐れがあります。

タコ足配線禁止

ヘッドホンは大音量で長時間使用しない

聴力低下の原因になる恐れがあります。

お手入れについて

本体	乾いた柔らかい布で拭いてください。
ペダル	表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。布ではかえって曇ってしまう場合があります（ゴールドのペダルのみ）。サビ落し用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。

ベンジンやシンナーで本機を拭かない　色落ちや、変形の原因になります。清掃するときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

＊お手入れの際は、電源コードを抜くこと。

保証書について

本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

銘板について

機種名、製造番号等の情報は、製品下面の銘板に記載されています。

修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。弊社連絡先は取扱説明書の裏表紙に記載してあります。

目次

付録

各部の機能と名称

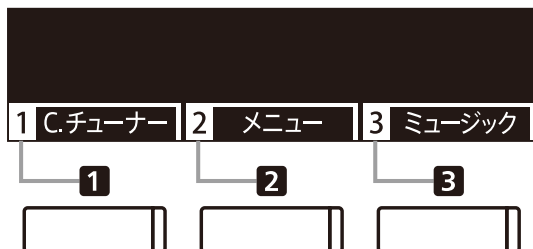
③
①
④
⑤
EFFECTS
REVERB
⑥
⑦
METRONOME
PLAY/STOP
REC
⑧
⑩
⑨
MASTER VOLUME
MAX
MIN
②
PIANO 1
PIANO 2
E.PIANO
ORGAN
HARPSI & MALLETS
STRINGS
⑪
VOCAL & PAD
BASS & GUITAR
REGISTRATION
⑫
Concert Artist
CA97
KAWAI
⑬
⑭
USB to DEVICE
PHONES
LINE IN
STEREO
LEVEL
Min
Max
LINE OUT
L / MONO
R
LEVEL
Min
Max
USB to HOST
MIDI
IN
OUT
⑮
⑯
⑰
⑱

① [POWER]スイッチ
電源をオン / オフするスイッチです。ご使用後は必ず電源を切ってください。

② [MASTER VOLUME]スライダー
内蔵スピーカーやヘッドホンから出力される音量を調整します。

③ ディスプレイ
通常は選ばれている音色名を表示します。その他、いろいろな機能を使うときに値や状態などを表示します。

※ ディスプレイには、あらかじめ保護用の透明シートが貼り付けてありますので、はがしてからご使用ください。

④ 1 2 3 ボタン
ディスプレイ下部に表示される項目に対応したボタンです。表示内容によって様々な用途に変化します。

⑤ 十字キー
表示内容を画面単位で前の画面や次の画面へ移動したり、値の変更など様々な場面で使用します。

[UP][DOWN][RIGHT][LEFT]ボタンがあります。

⑥[EFFECTS]ボタン
各種エフェクトの選択又はかかり具合やオン / オフを設定します。

⑦ [REVERB]ボタン
リバーブ効果選択、またはオン / オフを設定します。音にリバーブ効果(残響効果)を与えることで、美しい響きが得られます。

⑧ [METRONOME]ボタン
メトロノームのオン / オフやテンポ / 拍子 / 音量を設定します。

⑨ [PLAY / STOP]ボタン
本製品に内蔵している曲やお客様の演奏を録音したものなどを再生 / 停止する際に使用します。

⑩ [REC]ボタン
演奏を録音する際などに使用します。

⑪ 音色ボタン
音色を選択するボタンです。1つの音色ボタンに、複数の音色が割り当てられており、再度同じボタンを押すことで他の音色が選べます。

押されたボタンに緑のランプが点灯し、選ばれた音色名がディスプレイに表示されます。

⑫ [REGISTRATION]ボタン
音色やエフェクト等のパネル設定をあらかじめ記憶しておき、ボタン操作ひとつで簡単にお好みの設定を呼び出して演奏することができます。

⑬ [USB TO DEVICE]端子
USBメモリやUSBフロッピーディスクドライブを接続する端子です。保存されている曲を再生したり、CA97 / 67で録音した曲をUSBメモリに保存することもできます。

⑭ [PHONES]端子
ステレオのヘッドホンを接続する端子です。ミニステレオプラグのヘッドホンとステレオ標準プラグのヘッドホンを同時に接続することができます。

⑮ [LINE IN]端子
他の電子楽器やオーディオ機器などの出力端子とこの端子を接続すると、CA97 / 67の内蔵スピーカーからそれぞれの機器の音を出力することができます。

⑯ [LINE OUT]端子
CA97 / 67の音を他の外部機器(アンプ、ステレオ)などで聴いたり、オーディオ機器などに録音する場合に使用する出力端子です。

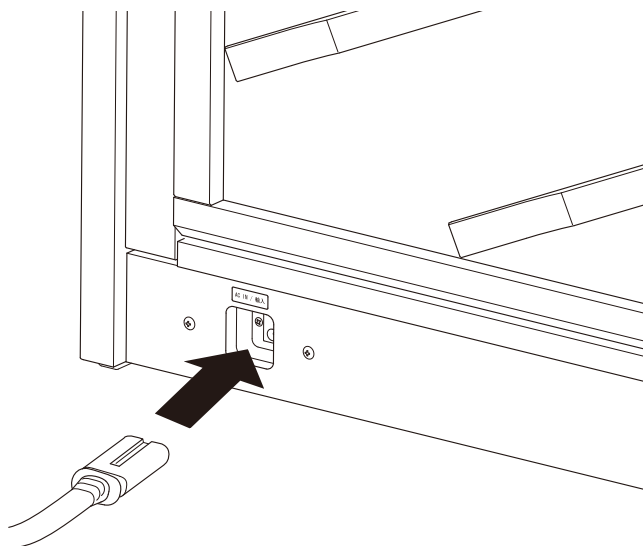
⑰ [USB TO HOST]端子
市販のUSBケーブルでコンピュータと接続すると、MIDIデバイスとして認識され通常のMIDIインターフェイスと同様にMIDIメッセージを送受信することができます。

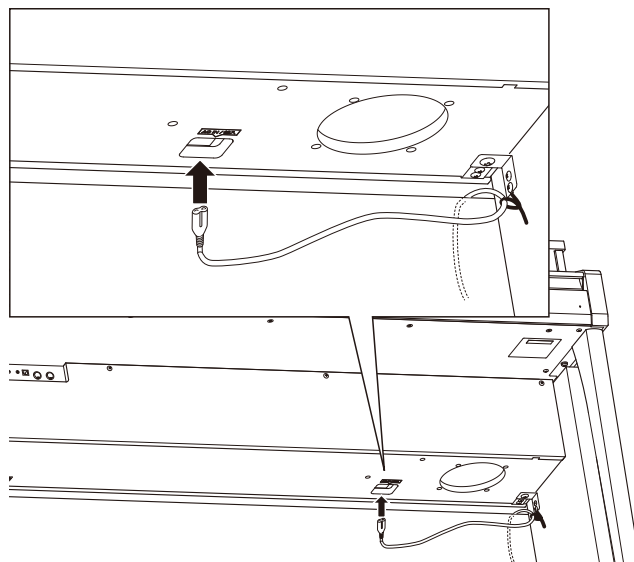
⑱ [MIDI IN / OUT]端子
MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

電源を入れる / アジャスターの調整

1. 電源コードを本体に接続する

〈CA97の場合〉

付属の電源コードを、本体裏下部のAC インレットに差し込みます。

〈CA67の場合〉

付属の電源コードを、本体底面に差し込みます。

2. 電源コードをコンセントに接続する

電源コードをAC100V のコンセントに差し込みます。

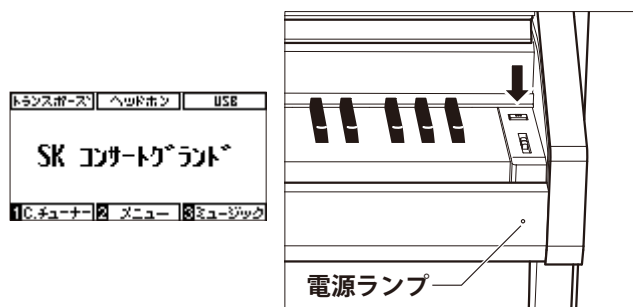
3. 電源を入れる

［POWER］スイッチを押して電源をオンにします。

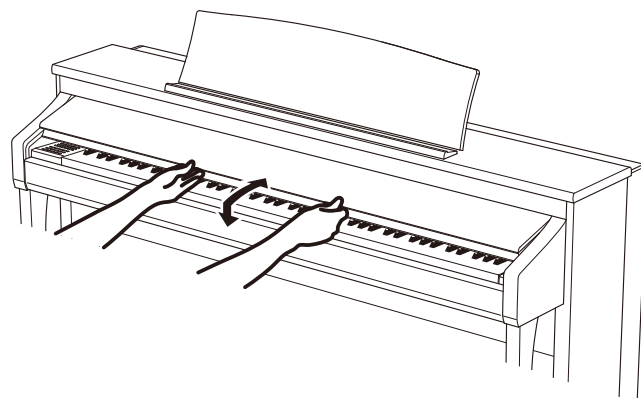
［POWER］スイッチを押すと音色ボタンの［PIANO 1］が点灯し、LCDディスプレイに最初「Concert Artist」と出た後に「SK コンサートグランド」と表示されます。また電源ランプも点灯します。

電源を切るときは、もう一度［POWER］スイッチを押します。画面の表示が消え、ボタン・電源ランプも消灯します。

アジャスターを調整する

ペダル土台にはアジャスターがついています。アジャスターが浮いた状態で使用すると、ペダル土台を破損する恐れがあります。必ずアジャスターが床についた状態でご使用ください。

鍵盤蓋を開ける/ 閉める

鍵盤蓋を開ける

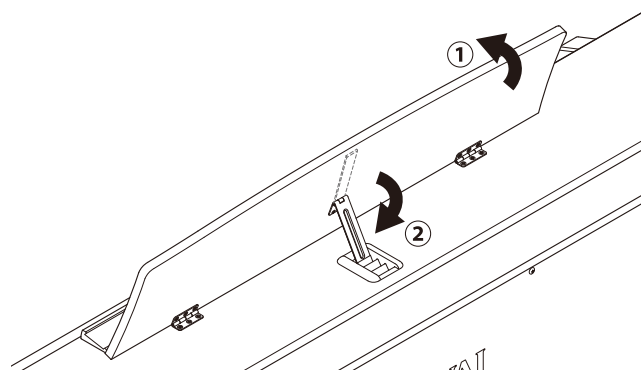
取っ手を両手で軽く持ち上げ、奥に押し込みます。

鍵盤蓋を閉める

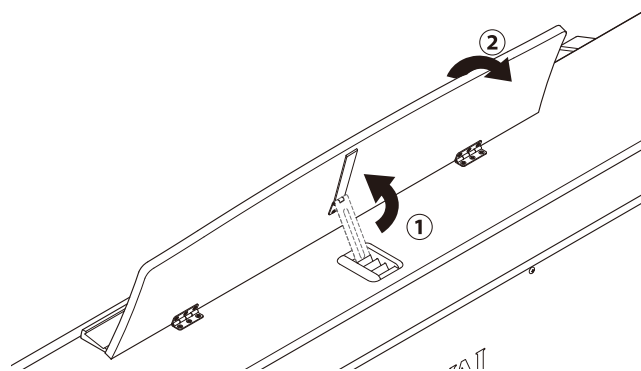
取っ手を両手でゆっくりと手前に引き、下へ静かに降ろします。

*鍵盤蓋はゆっくり閉めてください。勢いよく閉めると指をはさみ、けがの原因になります。

譜面立てを利用する

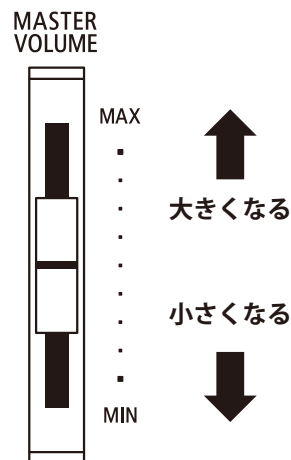
譜面立てを起こす / 角度を調整する

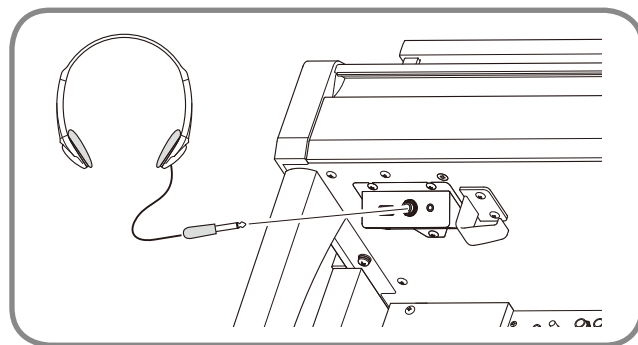
① 譜面台を手前に起こします。
② 譜面台金具を金具ホルダーのお好みの場所に設置します。
（角度は3段階に調整することができます。）

譜面立てを倒す

① 金具を起こします。
② 譜面立てをゆっくりと倒します。

音量を調整する / ヘッドホンを使う

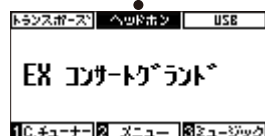
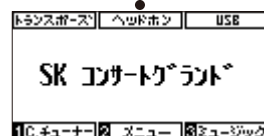
音量を調整する

本体右にある[MASTER VOLUME]スライダーで音量を調整します。上側に動かすと音量が大きくなり、下側に動かすと小さくなります。

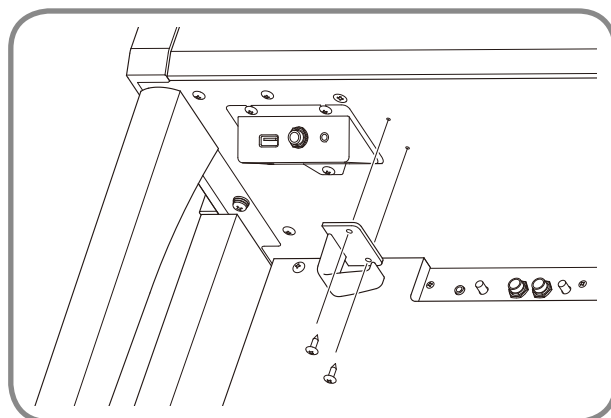
実際に鍵盤を弾いて音を鳴らしながら、音量を調節してください。

ヘッドホンを使う

ヘッドホンを[PHONES]端子に差し込みます。ヘッドホンを接続すると、本体スピーカーからは音が出なくなります。

ヘッドホンの接続状態を確認する

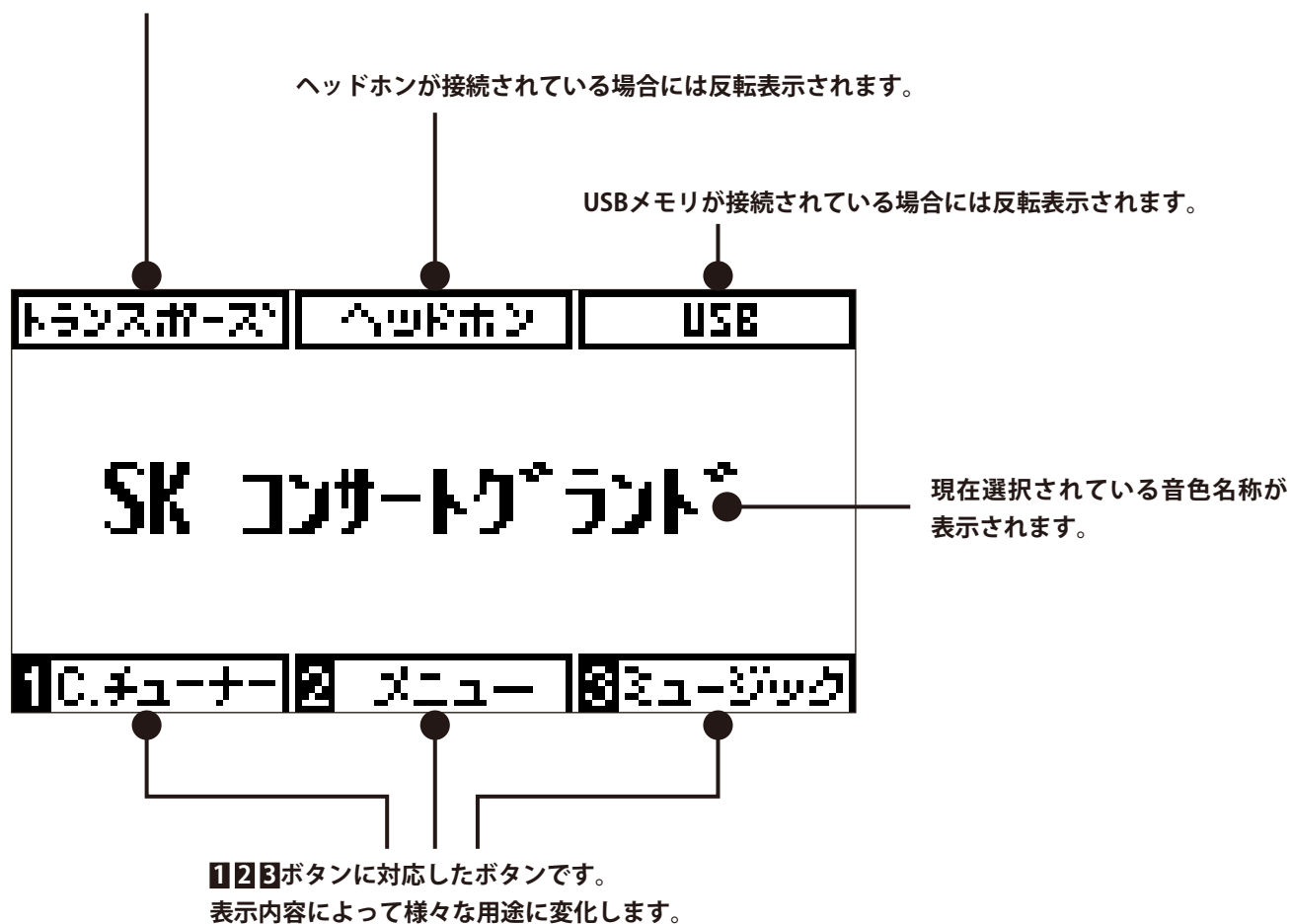
ヘッドホンが本機に差し込まれている場合、ホーム画面(P. 13)におけるヘッドホン部分が反転されます。

ヘッドホンが接続されている状態

ヘッドホンが接続されていない状態

ヘッドホンフックを使う

ヘッドホンを使わないときは、ヘッドホンフックにヘッドホンをかけておくことができます。

ヘッドホンフックを使用する場合は図のように取り付けてください。

ホーム画面について

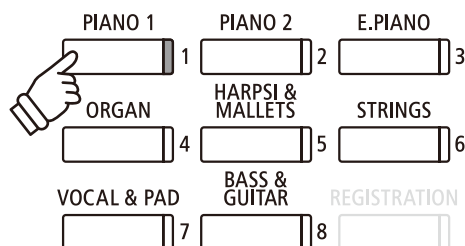
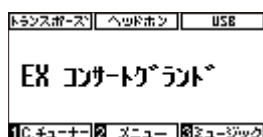
CA97 / 67の電源を入れ、本体を起動したときに最初に表示されるのが「ホーム画面」です。ホーム画面はCA97 / 67の操作の起点になる画面で、現在選択されている音色名やヘッドホンやトランスポーズ、USBメモリの状態が確認できます。あらゆる操作の途中であっても[3:もどる]ボタンや[3:ホーム]ボタンを数回押せば、必ずこの画面に戻ります。

ホーム画面

いろいろな音色を楽しむ

CA97 / 67にはたくさんの音が内蔵されていますので、さまざまな音楽に合わせた音で演奏を楽しむことができます。この内蔵されている音を「音色」といいます。音色はそれぞれ音色ボタンに割り当てられています。電源ON時は、「PIANO 1 / SK コンサートグランド」の音色が選ばれています。

1. 音色ボタンを押して音色を選ぶ

選んだ音色ボタンが点灯し、そのボタンに割り当てられている音色が鳴ります。鍵盤を弾いてみましょう。

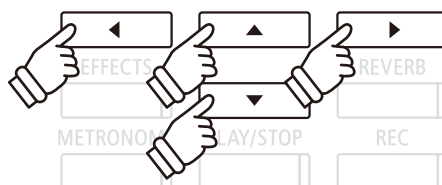
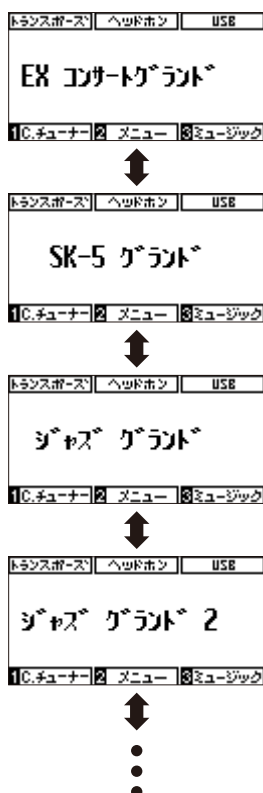
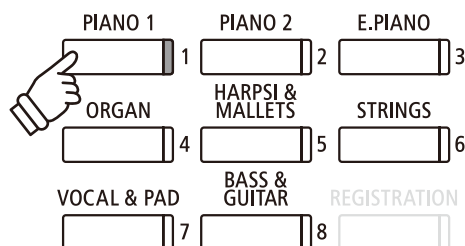
ディスプレイには、現在選ばれている音色名が表示されます。

2. 音色を変更する

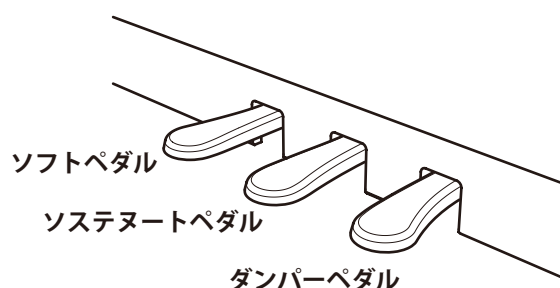
他の音色ボタンを押すと、そのボタンに割り当てられている音色が鳴ります。

また選択されている音色と同じ音色ボタンを押すと、そのグループ内の次のバリエーションが選ばれます。

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すと、順番に音色を変更することができます。

［UP / DOWN］ボタンを押すと音色グループを順番に変更することができます。

演奏ガイド

ペダルを使う

ペダルにはダンパーペダル / ソステヌートペダル / ソフトペダルがあります。これらはピアノ演奏のときに使われ、次のようなはたらきがあります。

ダンパーペダル（右のペダル）

このペダルを踏んで演奏すると鍵盤から手を離しても音が切れずに長く響かせることができます。

踏み具合により余韻の長さを調節することができます（ハーフペダル対応）。

ソステヌートペダル（中央のペダル）

鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤の音のみに余韻を与えます。従って、このペダルを踏んだ後に押した別の鍵盤の音は、通常通り発音します。

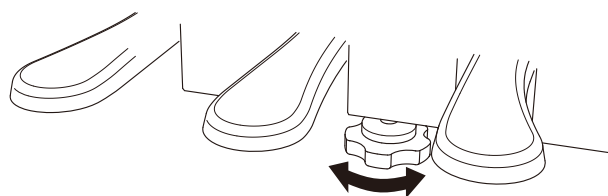
ソフトペダル（左のペダル）

音量がわずかに下がると同時に音の響きがやわらかくなります。

［EFFECTS］ボタン を押してロータリーが選ばれている時は、踏むたびにスピード（Slow / Fast）を切り替えます。

*音色によっては効果がわかりにくいものもあります。

アジャスターについて

アジャスターが浮いた状態で使用すると、ペダル土台を破損する恐れがあります。必ずアジャスターが床についた状態でご使用ください。

ペダルのお手入れについて

表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。布ではかえって曇ってしまう場合があります（ゴールドのペダルのみ）。シルバーペダルは、布で拭いても問題ありません。サビ落し用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。

グランドフィールペダルシステムについて

CA97 / 67のペダルにはグランドフィールペダルシステムが搭載されています。従来のペダルより荷重が重く、3本のペダルそれぞれがよりグランドピアノSK-EXに近い踏み心地となっています。

メトロノーム / リズムを使う

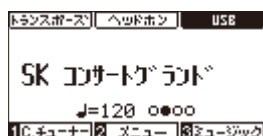
　メトロノームを鳴らしてテンポを正しく練習したり、曲にあったリズムを加えて演奏を楽しむことができます。通常のメトロノーム音による拍子の他、ドラム音色によるポップス/ ロック/ バラード/ ジャズなど多彩なリズムを内蔵しています。

* リズムの一覧はP. 131を参照してください。

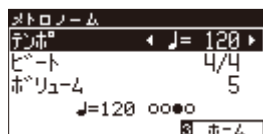
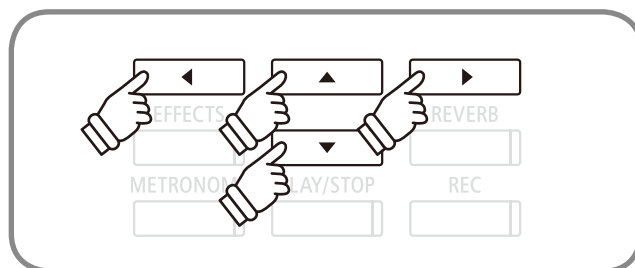
メトロノームのON / OFF

　[METRONOME] ボタンを押します。[METRONOME] ボタンが点灯し、メトロノームが発音します。

　ディスプレイにそのテンポの値が表示されます。

　再度 [METRONOME] ボタンを押すとメトロノームが止まり、[METRONOME] ボタンが消灯します。

メトロノームの設定

　[METRONOME] ボタンを長押しすると、メトロノームの設定画面が表示されます。

　[UP / DOWN] ボタンで設定項目を選択し、[LEFT / RIGHT] ボタンで設定内容を変更します。

種類	説明
テンポ	テンポの値は10 ～ 400の範囲で設定できます。 （3/8、6/8、7/8、9/8、12/8拍子のときは、20 ～ 800） 値は1分間の拍数を表しています。
ビート / リズム	ビート（拍子）は1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4,3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8より選択することができます。リズムは100種類より選択することができます。（P. 131をご参照ください。）
ボリューム	メトロノームの音量を調節します。 ボリュームは値を1 ～ 10の範囲で設定することができます。

　[LEFT / RIGHT] ボタンを同時に押すと、設定した値を初期設定に戻すことができます。

　[3:ホーム] ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

リバーブについて

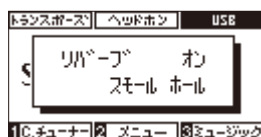
リバーブを加えると、音に残響効果が加わりコンサートホールで演奏しているような深みのある美しい響きが得られます。CA97 / 67には6種類のリバーブを用意しています。

リバーブの種類

タイプ	効果
ルーム	室内での演奏時の残響を再現した効果です。
ラウンジ	ラウンジでの演奏時の残響を再現した効果です。
スモールホール	小ホールでの演奏時の残響を再現した効果です。
コンサートホール	クラシック向け大ホールでの演奏時の残響を再現した効果です。
ライブホール	ライブ向け大ホールでの演奏時の残響を再現した効果です。
カテドラル	大聖堂での演奏時の残響を再現した効果です。

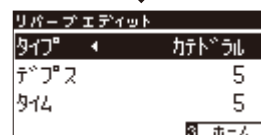
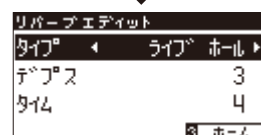
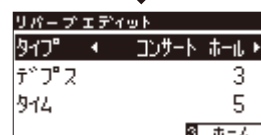
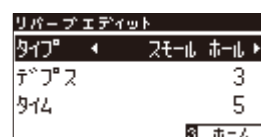
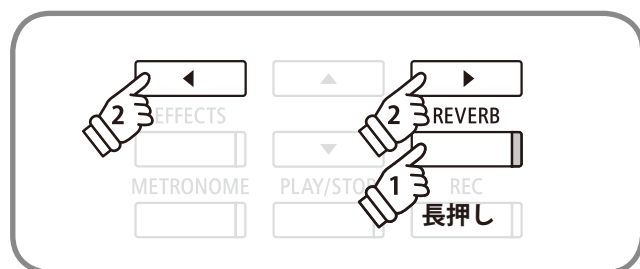
リバーブのON / OFF

［REVERB］ボタンを押して点灯させるとリバーブ効果がかかり、画面に現在選択されているリバーブの種類が表示されます。再度［REVERB］ボタンを押すと消灯しリバーブ効果は解除されます。

また初期設定で音色ごとにリバーブの種類が設定されています。

リバーブの変更

［REVERB］ボタンを長押しするとリバーブエディット画面が表示されます。［LEFT / RIGHT］ボタンを押すとリバーブの種類が切り替わります。

［3:ホーム］ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

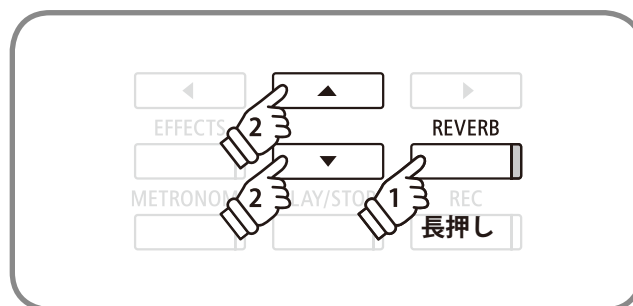
［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、初期設定の値に戻ります。

リバーブ効果のかかり具合を変更する

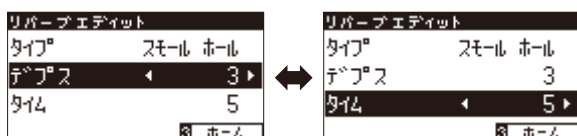
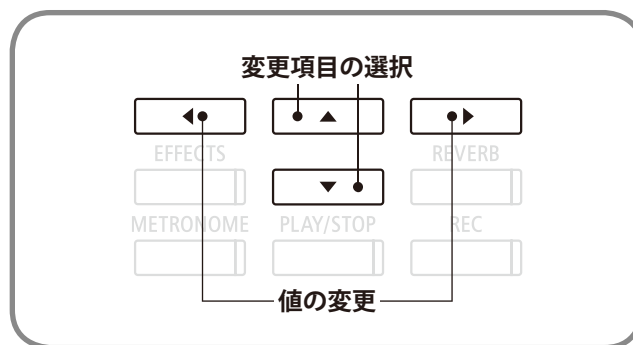
各リバーブはかかり具合を変更することができます。変更できる項目と値を変更したときの変化は以下のとおりです。

変更項目と効果

変更項目	効果
デプス	かかり具合が大きくなります。
タイム	効果時間が長くなります。

1. リバーブ設定に入る

［REVERB］ボタンを長押ししてリバーブエディット画面を表示させせます。設定変更したいリバーブを選択します。

2. かかり具合を変える

各リバーブの変更項目が表示されます。［UP / DOWN］ボタンで変更したい項目を、［LEFT / RIGHT］ボタンを押すと選択されている項目のかかり具合を変更できます。

* ［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、設定をリセットすることができます。

3. リバーブ設定を終了する

［3:ホーム］ボタンを押すとリバーブエディットを終了し、ホーム画面に戻ることができます。

音にエフェクトを加える

リバーブ以外にも音にさまざまな効果を加えることができます。このような効果を「エフェクト」といいます。CA97 / 67には24種類のエフェクトを用意しています。

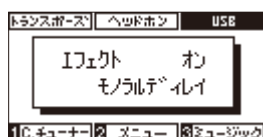
エフェクトの種類

タイプ	効果
モノラルディレイ	音に山びこのような反響音を加える効果です。
ピンポンディレイ	音が左右交互に反響する効果です。
トリプルディレイ	音が中央、右、左の順に反響する効果です。
コーラス	原音にピッチのゆらぎを持つ音をあわせることにより、音に広がりを加える効果です。
クラシックコーラス	往年のコーラスをデジタル信号処理により再現した効果です。
アンサンブル	3相のコーラスにより、音に豊かさを与える効果です。
トレモロ	音量にゆらぎを与える効果です。
クラシックトレモロ	往年のトレモロをデジタル信号処理により再現した効果です。
ビブラートトレモロ	トレモロにビブラートを加えた効果です。
トレモロ+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、トレモロと組み合わせた効果です。
オートパン	音の聞こえる位置を周期的に変化させる効果です。
クラシックオートパン	往年のオートパンをデジタル信号処理により再現した効果です。
オートパン+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、オートパンと組み合わせた効果です。
フェイザー+オートパン	フェイザーにオートパンを加えた効果です。
フェイザー	原音に位相のずれた音をあわせることにより、音を飛び回らせる効果です。
クラシックフェイザー	往年のフェイザーをデジタル信号処理により再現した効果です。
フェイザー+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、フェイザーと組み合わせた効果です。
フェイザー+コーラス	フェイザーにコーラスを加えた効果です。
ロータリー1	ロータリー（回転式）スピーカーによる音の変化を再現した効果です。 ソフトペダル（左のペダル）を踏むことによって回転の速さを切り換えることができます。
ロータリー2	ロータリー1に少しの歪を加えた効果です。
ロータリー3	ロータリー2にさらに歪を加えた効果です。
ロータリー4	ロータリー1にコーラスを加えた効果です。
ロータリー5	ロータリー2にコーラスを加えた効果です。
ロータリー6	ロータリー3にコーラスを加えた効果です。

エフェクトのON / OFF

［EFFECTS］ボタンを押して点灯させるとエフェクト効果がかかり、画面に現在選択されているエフェクトの種類が表示されます。再度［EFFECTS］ボタンを押すと消灯しエフェクト効果は解除されます。

また初期設定で音色ごとにエフェクトの種類が設定されています。

演奏ガイド

エフェクトの変更

［EFFECTS］ボタンを長押しするとエフェクトエディット画面が表示されます。［LEFT / RIGHT］ボタンを押すとエフェクトの種類が切り替わります。

［3:ホーム］ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、初期設定の値に戻ります。

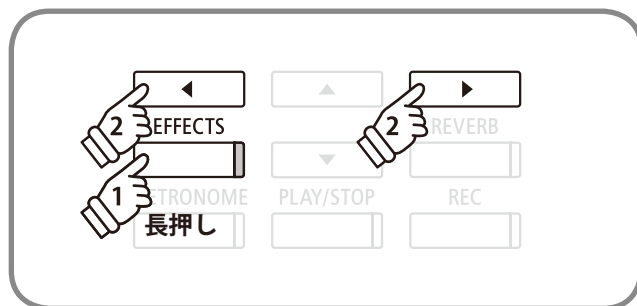
エフェクト効果のかかり具合を変更する

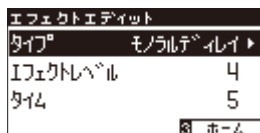
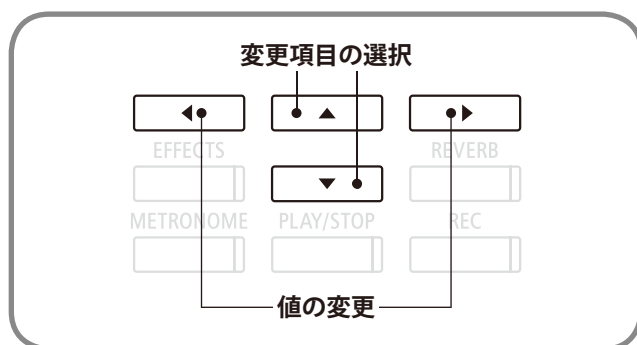
各エフェクトはかかり具合を変更することができます。変更できる項目と値を変更したときの変化は以下のとおりです。

各エフェクトの変更項目と変化

エフェクト名	変更項目	効果(数字を大きくした場合)
ディレイ3種	エフェクトレベル	かかり具合が深くなります。
	タイム	反響音の間隔が長くなります。
コーラス、アンサンブル	エフェクトレベル	かかり具合が深くなります。
	スピード	ゆらぎのスピードが速くなります。
クラシックコーラス	モノラル/ステレオ	音の広がりが増します。
	スピード	ゆらぎのスピードが速くなります。
トレモロ3種、	エフェクトレベル	かかり具合が深くなります。
オートパン2種、フェイザー2種	スピード	ゆらぎやうねりのスピードが速くなります。
ロータリー6種	アクセルスピード	遅い方→速い方へ変化する際のスピードが速くなります。
	ロータリースピード	速い方のスピードが増します。
[エフェクト]+[エフェクト]	エフェクトレベル	かかり具合が深くなります。
[エフェクト]+アンプ	スピード	ゆらぎやうねりのスピードが速くなります。

1. エフェクト設定に入る

[EFFECTS]ボタンを長押ししてエフェクトエディット画面を表示させます。設定変更したいエフェクトを選択します。(P. 19参照)

2. かかり具合を変える

各エフェクトに応じた変更項目が表示されます。[UP / DOWN]ボタンで変更したい項目を、[LEFT / RIGHT]ボタンを押すと選択されている項目のかかり具合を変更できます。

* [LEFT / RIGHT]ボタンを同時に押すと、設定をリセットすることができます。

3. エフェクト設定を終了する

[3:ホーム]ボタンを押すとエフェクトエディットを終了し、ホーム画面に戻ることができます。

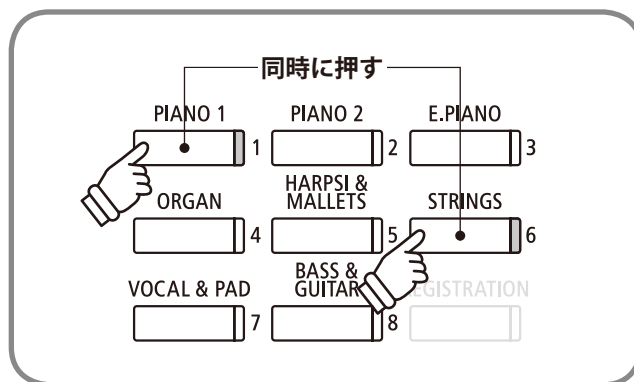
演奏ガイド

デュアル演奏

デュアル演奏とは2つの音色を重ね合わせる機能です。2つの音色を同時に発音させメロディーをデュエットさせたり、同系統の音色を混ぜて厚みのある音を作り出すことで音楽表現の幅が広がります。

デュアル演奏に入る

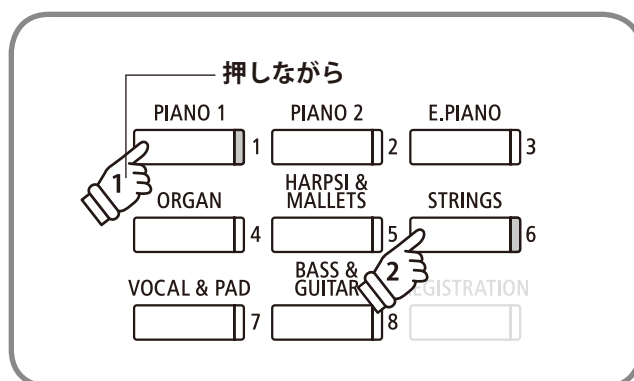
2つの音色ボタンを同時に押します。重ね合わせる2つの音色ボタンを同時に押すと2つの音色ボタンが点灯しディスプレイに2つの音色名が表示されます。（先に押した音色がディスプレイの1行目に表示されます。）

例えば、[PIANO1]と[STRINGS]の音を重ね合わせる場合、図の様に[PIANO1]ボタンと[STRINGS]ボタンを同時に押します。

デュアル演奏での音色変更

デュアル演奏で音色を変更する場合は表示されている音色ボタンを押しながら変更したい音色ボタンを押してください。

例えば上記のデュアル演奏の状態から、「ストリングアンサンブル」を「スローストリングス」に変更する場合は、[PIANO1]ボタンを押しながら[STRINGS]ボタンを再度押します。

また、[LEFT / RIGHT]ボタンを押すと、音色を変更することができます。1番目と2番目の音色選択を切り替えるには[UP / DOWN]ボタンを押します。

（選択されている音色名が反転表示されます。）

デュアル演奏を終了する

デュアル演奏の解除は、音色ボタンのいずれかを1つ押すか、[3:ホーム]ボタンを押すことでデュアル演奏を終了します。
[1:スプリット]ボタンを押して、スプリット演奏に移ることもできます。

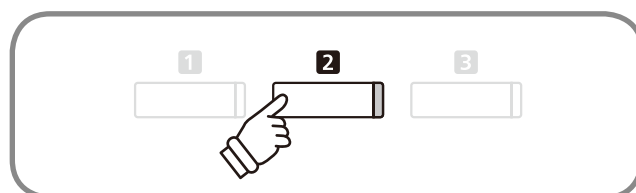
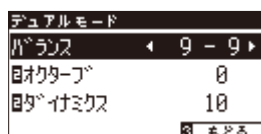
デュアル演奏の設定

デュアル演奏では下記の設定を行うことができます。

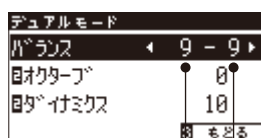
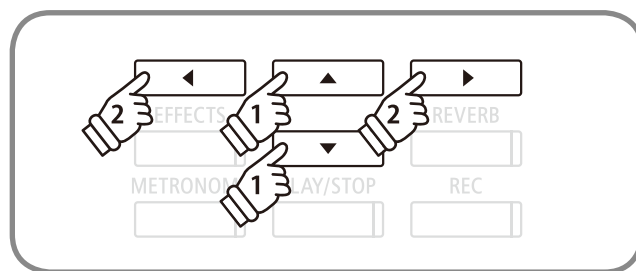
種類	初期設定	説明
バランス	9-9	2つの音色の音量バランスを設定します。
レイヤーオクターブシフト	0	デュアル演奏において、2番目の音色の音域をオクターブ単位で移動します。例えば「コンサートグランドピアノ」と「ストリングアンサンブル」をデュアルで重ねて演奏するときに、ストリングアンサンブルの音色だけをオクターブ上げて（あるいは下げて）演奏することができます。
レイヤーダイナミクス	10	デュアル演奏において、2番目の音色のタッチ変化の仕方を調整します。例えば、「コンサートグランドピアノ」と「ストリングアンサンブル」をデュアルで重ねて演奏するときに「ストリングアンサンブル」のタッチ変化の度合いを少なくすることにより、ダイナミックなピアノ音色をより強調した演奏をすることができます。

デュアル演奏の設定に入る

デュアル設定画面（P. 22参照）で［2:エディット］ボタンを押します。

デュアル演奏の設定画面が表示されます。

バランスを設定する

［UP / DOWN］ボタンで「バランス」を選びます。

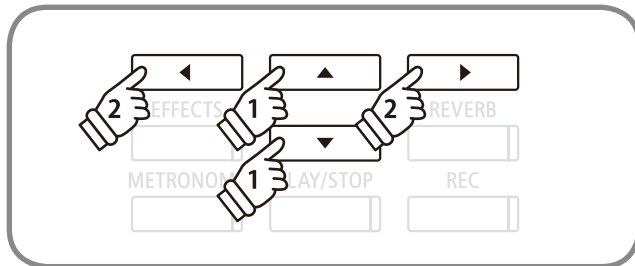
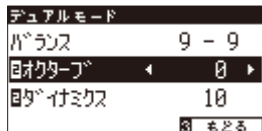
［LEFT / RIGHT］ボタンで2つの音色の音量バランスを設定することができます。

2番目の音色の音量　1番目の音色の音量

［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、初期設定の値に戻ります。

［3:もどる］ボタンを押すとデュアル演奏の通常画面に戻ります。

デュアル演奏の設定

レイヤーオクターブシフトを設定する

［UP / DOWN］ボタンで「2 オクターブ」を選びます。

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すとオクターブ値を「−2 ～ 2」の間で設定できます。

［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、初期設定の値に戻ります。

［3:もどる］ボタンを押すとデュアル演奏の通常画面に戻ります。

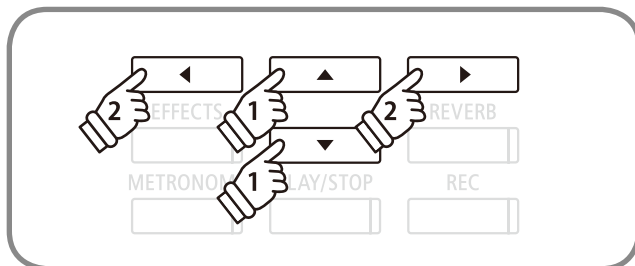
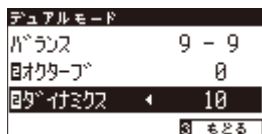
*−にするとオクターブが下がります。

*デュアルモードで 2 と表示されている音色のオクターブがかわります。

*音色によっては高音域の音が設定したオクターブまで上がらない場合があります。

レイヤーダイナミクスを設定する

［UP / DOWN］ボタンで「2 ダイナミクス」を選びます。

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すとダイナミクス値を「1 ～ 10」の間で設定できます。

［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、初期設定の値に戻ります。

［3:もどる］ボタンを押すとデュアルの通常画面に戻ります。

*数字が小さいほどタッチ変化の幅が小さくなります。

*デュアルモードで 2 と表示されている音色のタッチ変化を調節します。

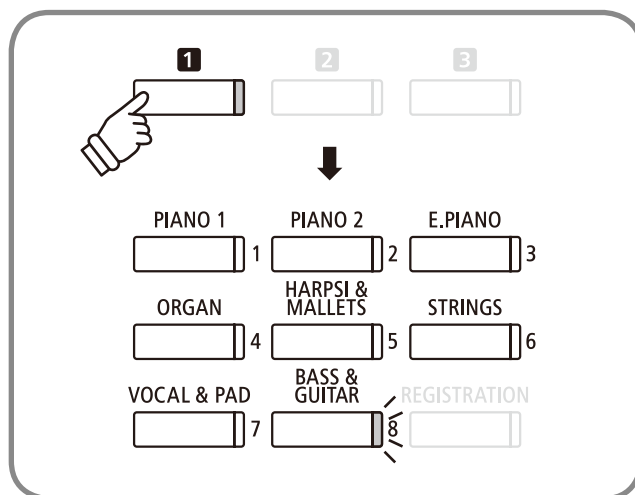
*10は単独で演奏した場合と同じダイナミクスになります。

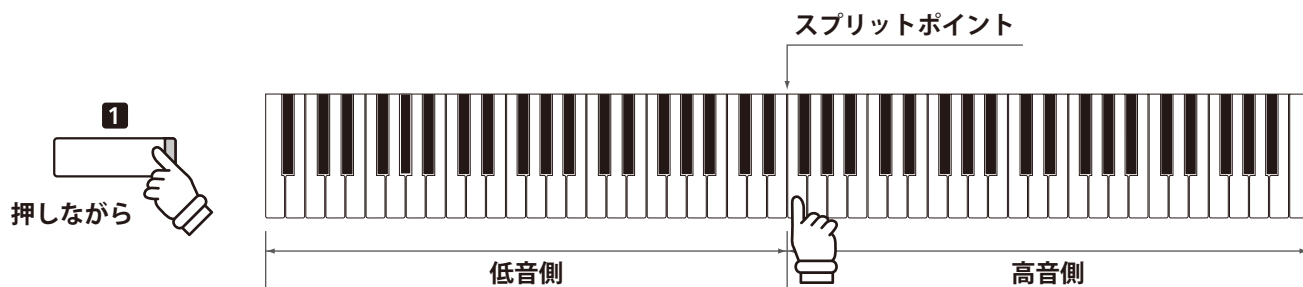
スプリット演奏

スプリット演奏とは鍵盤を左右2つに分け、別々の音色を設定し演奏をすることです。低音側でベースパートを、高音側でメロディーパートを演奏したりすることができます。また鍵盤が分かれる位置を「スプリットポイント」といいます。初期設定ではスプリットポイントはC4（ド）に設定されています。

スプリット演奏に入る

デュアルモード（P. 22）にて、[1:スプリット]ボタンを押してスプリットモードに入ります。また、スプリットモードはベーシックセッティング（P. 67参照）からでも入ることができます。スプリットモード画面が表示されます。音色ボタンの中で点灯しているボタンと点滅しているボタンがあります。点灯している音色ボタンは、SPLITボタンを押す前に選ばれている音色で、高音側の音色です。点滅している音色ボタンは、低音側の音色で初期設定されているベース音色です。

* [1:4ハンズ]ボタンを押して4ハンズモードに移ることもできます。

スプリットポイントの変更

スプリットポイントを変更したい場合は、[1:4ハンズ]ボタンを押しながら鍵盤を押します。押した鍵盤が高音側の最低音になります。

高音側・低音側の音色変更

高音側の音色は、音色ボタンを押して変更します。

低音側の音色は、[1:4ハンズ]ボタンを押しながら音色ボタンを押して変更します。

また、[LEFT / RIGHT]ボタンを押すと、音色を変更することができます。高音側と低音側の音色選択を切り替えるには[UP / DOWN]ボタンを押します。

（選択されている音色名が反転します。）

スプリット演奏を終了する

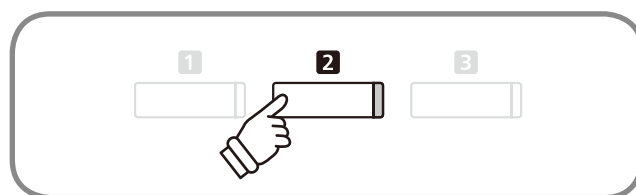
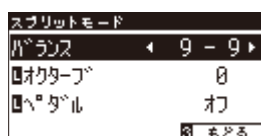
[3:ホーム]ボタンを押すことで、スプリット演奏を終了します。

スプリット演奏の設定

スプリット演奏では下記の設定を行うことができます。

種類	初期設定	説明
バランス	9-9	2つの音色の音量バランスを設定します。
ロアーオクターブシフト	0	スプリット演奏時に低音側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動します。
ロアーペダルのON / OFF	オフ	スプリット演奏時において、ペダルを使用した際、低音側鍵盤の音にペダル機能のオン/ オフを設定します。 高音側鍵盤のペダル機能は常にオンとなります。

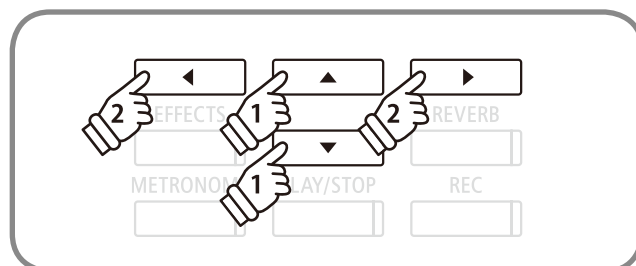
スプリット演奏の設定に入る

スプリット演奏画面で［2:エディット］ボタンを押します。
スプリット演奏の設定画面が表示されます。

バランスを設定する

［UP / DOWN］ボタンで「バランス」を選びます。
［LEFT / RIGHT］ボタンで2つの音色の音量バランスを設定することができます。

低音側の音色の音量　高音側の音色の音量

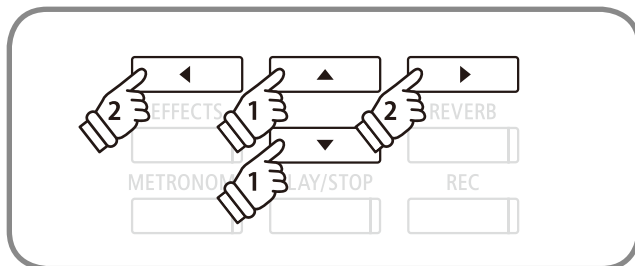
［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、初期設定の値に戻ります。
［3:もどる］ボタンを押すとスプリットの通常画面に戻ります。

演奏ガイド

ロワーオクターブシフトを設定する

［UP / DOWN］ボタンで「L オクターブ」を選びます。
［LEFT / RIGHT］ボタンを押すとオクターブ値を「0 〜 3」の間で設定できます。

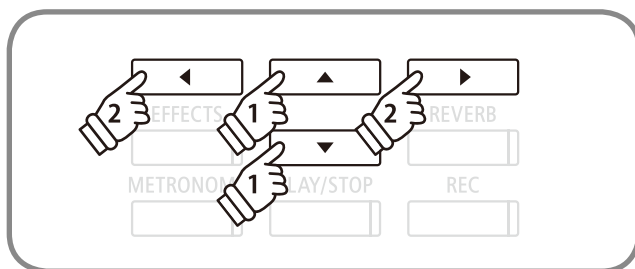
スプリットモード
バランス 9 - 9
Lオクターブ 0
Lペダル オフ
3 もどる

［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、初期設定の値に戻ります。
［3:もどる］ボタンを押すとスプリットの通常画面に戻ります。

*スプリットモードで L と表示されている音色のオクターブがかわります。

ロワーペダルのON / OFFを設定する

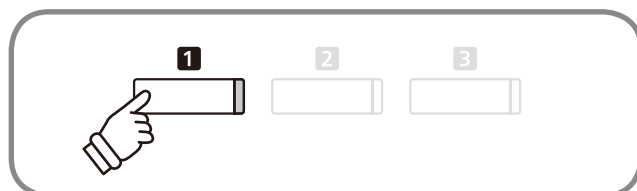
［UP / DOWN］ボタンで「L ペダル」を選びます。
［LEFT / RIGHT］ボタンを押すとオン /オフを設定できます。

［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、初期設定の値に戻ります。
［3:もどる］ボタンを押すとスプリットの通常画面に戻ります。

*オンにすると、ペダルを踏んで演奏した時に低音側鍵盤の音にもペダル機能が働きます。オフにすると、低音側鍵盤の音にはペダル機能が働かず、高音側鍵盤の音にのみペダル機能が働きます。

4ハンズモードを楽しむ（連弾演奏）

4ハンズモードとは鍵盤を左右2つに分け、それぞれ同じ音域で演奏することです。この時ダンパーペダル（右ペダル）は右側の鍵盤のダンパーペダルとして、ソフトペダル（左ペダル）は左側の鍵盤のダンパーペダルとして動作しますので、まるで2台のピアノのように使うことができます。初期設定ではスプリットポイントはF4（ファ）に設定されています。

4ハンズモードに入る

スプリットモード（P. 25）にて、［1:4ハンズ］ボタンを押して4ハンズモードに入ります。また、4ハンズモードへはベーシックセッティング（P. 67参照）からでも入ることができます。ディスプレイ上段に右側の音色、下段に左側の音色が表示されます。

*電源オン時は両方ともコンサートグランドに設定されています。

*通常の演奏時に対して、右側の鍵盤の音程は2オクターブ下がり、左側の鍵盤の音程は2オクターブ上がります。

*4ハンズモードはベーシックセッティング（P. 67参照）からでも入ることができます。

*［1:デュアル］ボタンを押してデュアルモードに移ることもできます。

*左側の音色ボタンが点滅し、右側の音色ボタンが点灯します。

スプリットポイントの変更

スプリットポイントを変更したい場合は、［1:デュアル］ボタンを押しながら鍵盤を押します。押した鍵盤が右側の最低音になります。

右側・左側の音色変更

右側の音色は、音色ボタンを押して変更します。

左側の音色は、［1:デュアル］ボタンを押しながら音色ボタンを押して変更します。

また、［LEFT / RIGHT］ボタンを押すと、音色を変更することができます。高音側と低音側の音色選択を切り替えるには［UP / DOWN］ボタンを押します。

（選択されている音色名が反転します。）

4ハンズモードを終了する

［3:ホーム］ボタンを押すことで、4ハンズモードを終了します。

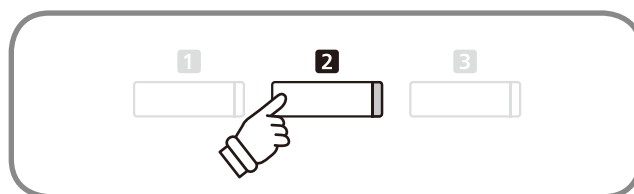
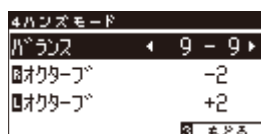
*スプリットモードと4ハンズモードの各設定方法は似ていますが、それぞれ個別に設定されます。例えばスプリットモードで設定した音量バランスは、4ハンズモードの音量バランスに影響しません。

4ハンズ演奏の設定

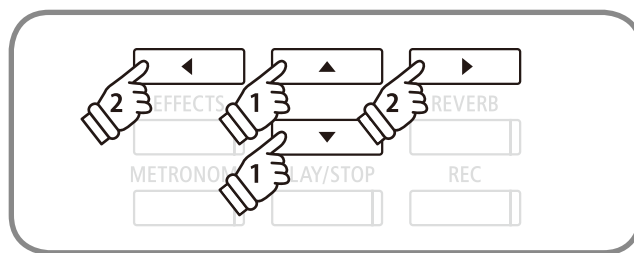
4ハンズ演奏では下記の設定を行うことができます。

種類	初期設定	説明
バランス	9-9	2つの音色の音量バランスを設定します。
ライトオクターブシフト	-2	高音側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動します。
レフトオクターブシフト	2	低音側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動します。

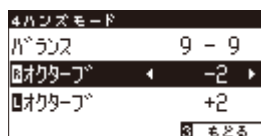
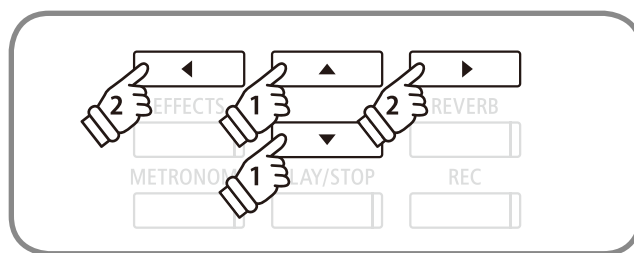
4ハンズ演奏の設定に入る

4ハンズ演奏画面で[2:エディット]ボタンを押します。
4ハンズ演奏の設定画面が表示されます。

バランスを設定する

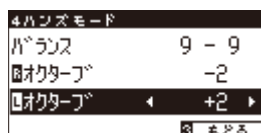
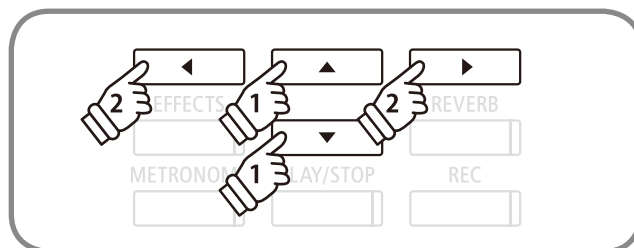
[UP / DOWN]ボタンで「バランス」を選びます。
[LEFT / RIGHT]ボタンで2つの音色の音量バランスを設定することができます。

低音側の音色の音量　高音側の音色の音量

[LEFT / RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定の値に戻ります。
[3:もどる]ボタンを押すと4ハンズの通常画面に戻ります。

ライトオクターブシフトを設定する

[UP / DOWN]ボタンで「R オクターブ」を選びます。
[LEFT / RIGHT]ボタンを押すとオクターブ値を「−3 〜 0」の間で設定できます。

*4ハンズモードで R と表示されている音色のオクターブがかわります。

[LEFT / RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定の値に戻ります。
[3:もどる]ボタンを押すと4ハンズの通常画面に戻ります。

レフトオクターブシフトを設定する

[UP/DOWN]ボタンで「L オクターブ」を選びます。
[LEFT / RIGHT]ボタンを押すとオクターブ値を「0 〜 3」の間で設定できます。

*4ハンズモードで L と表示されている音色のオクターブがかわります。

[LEFT / RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定の値に戻ります。
[3:もどる]ボタンを押すと4ハンズの通常画面に戻ります。

レジストレーションについて

レジストレーションとは音色やエフェクト等のパネル上の設定をあらかじめ記憶することです。この設定はボタン操作ひとつで記憶した設定を呼び出すことができます。

レジストレーションは２つのバンクA,Bがあり、A1～A8,B1～B8の計16個をレジストレーションに記憶することができます。

レジストレーションは以下の設定を記憶することができます。

通常設定
音色（デュアル・スプリットの音色設定を含む）
リバーブ、エフェクト

コンサートチューナー（P. 71）
タッチカーブ
ボイシング
ダンパーレゾナンス
ダンパーノイズ
ストリングレゾナンス
開放弦レゾナンス
キャビネットレゾナンス
キーオフエフェクト
キーアクションノイズ
ハンマーディレイ
大屋根開閉
ディケイタイム
ミニマムタッチ
ストレッチ / ユーザーチューニング
音律の設定
88鍵ボリューム
ハーフペダルポイント
ソフトペダルデプス

ベーシックセッティング（P. 60）
チューニング
トーンコントロール
ダンパーホールド

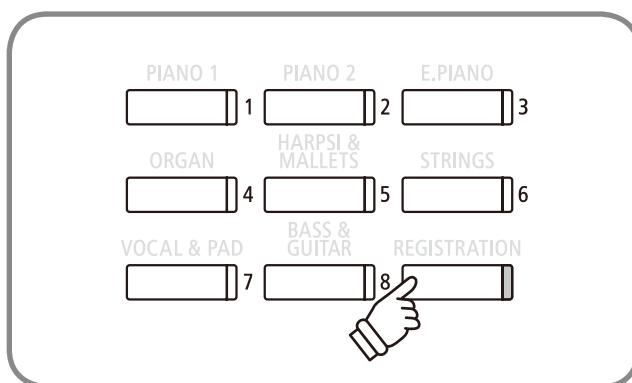
デュアル設定（P. 23）
バランス
レイヤーオクターブシフト
レイヤーダイナミクス

スプリット設定（P. 26）
バランス
ロアーオクターブシフト
ロアーペダルのON / OFF
スプリットポイント

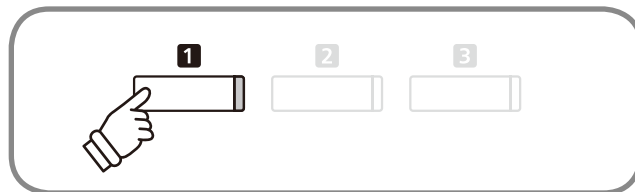
4ハンズ設定（P. 29）
バランス
ライトオクターブシフト
レフトオクターブシフト
スプリットポイント

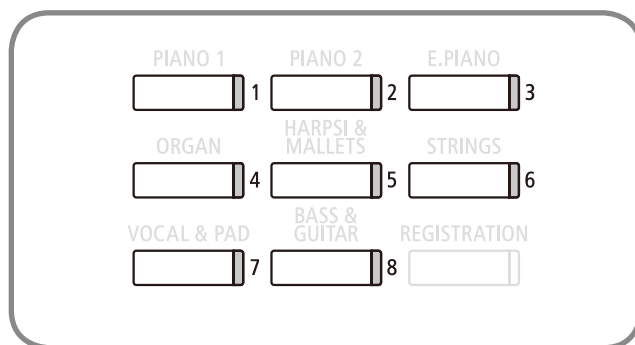
■ レジストレーションを呼び出す

［REGISTRATION］ボタンを押します。あらかじめ記憶されたレジストレーションが呼び出され、ディスプレイには設定された音色名が表示されます。

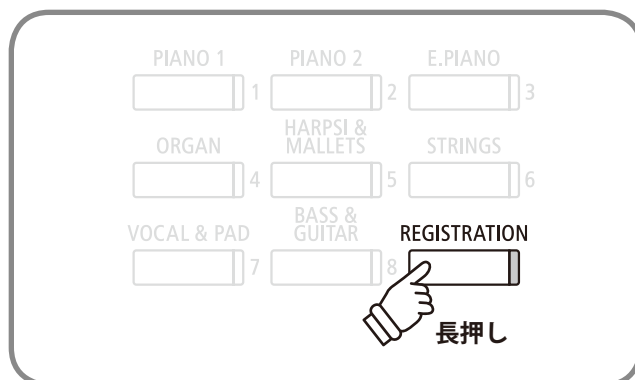
再度［REGISTRATION］ボタンを押すとレジストレーション選択状態を抜けて通常の演奏状態に戻ります。

バンクを選択する

［REGISTRATION］が選択された状態において1ボタンを押すたびにバンクAとバンクBが切り替わり選択されます。

*REC中はバンクを選ぶことはできません。

番号に割り当てられたレジストレーションを呼び出す

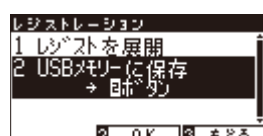
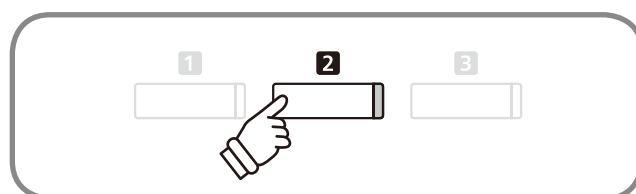
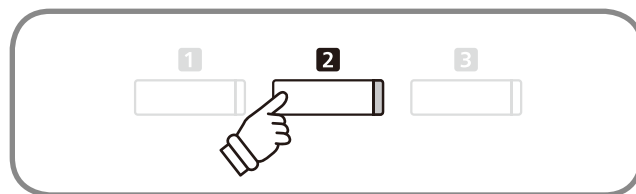
レジストレーション選択ボタン1 ～ 8のいずれかを押すと、その番号に割り当てられたレジストレーションを呼び出すことができます。

レジストレーションに記憶させる

［REGISTRATION］ボタンを長押しすると、レジストレーション選択ボタン1～8が点滅します。［1:バンクA］もしくは［2:バンクB］を押して、記憶させたいバンクを選びます。設定を記憶させたい番号のレジストレーション選択ボタンを押します。

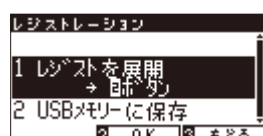
［LEFT / RIGHT］ボタンでカーソルを動かし、［UP / DOWN］ボタンでアルファベット（キャラクター）を変更し、レジストレーションに名前を付けます。［2:セーブ］ボタンを押すと、ピーという音が鳴り、レジストレーションに設定が保存されます。

レジストレーションについて

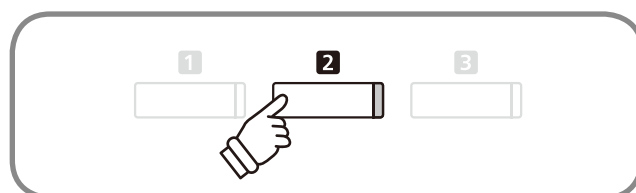
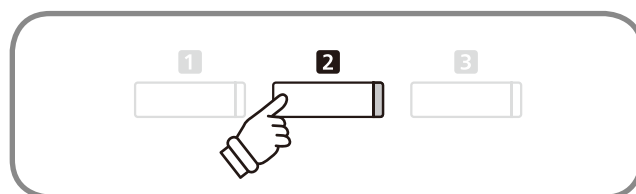
選択されているレジストレーションをUSBメモリに保存する

［REGISTRATION］が選択された状態において［2:エディット］ボタンを押します。
レジストレーションエディットメニューが表示されます。

［UP / DOWN］ボタンで「2 USBメモリに保存」を選択し、［2:OK］ボタンを押すとUSBにレジストレーションを保存する画面に移ります。

* その後の操作は、USB MENU セーブレジストレーション シングル（P. 119）を参照してください。

選択したレジストレーションの内容を確認、編集する

選択されたレジストレーションの内容を確認したり、編集したりするには、レジストレーションの内容を通常モードに展開する必要があります。

［REGISTRATION］が選択された状態において［2:エディット］ボタンを押します。
レジストレーションエディットメニューが表示されます。

「1:レジストを展開」を選択し、［2:OK］ボタンを押します。

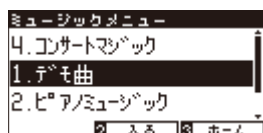
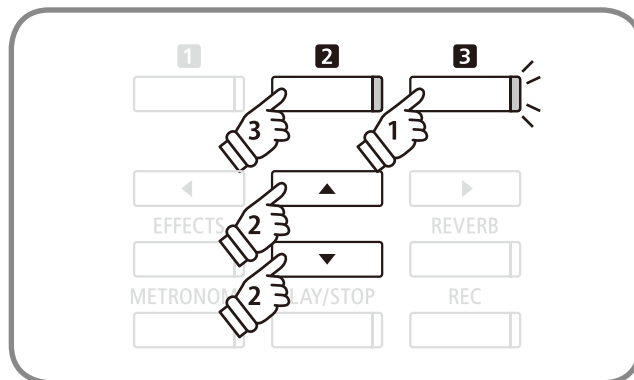
レジストレーションの内容を保持したまま、レジストレーションモードから通常モードに戻りますので、音色やリバーブなどの設定を確認、編集することができます。

レジストレーションを初期状態に戻す

［REGISTRATION］ボタンと［REC］ボタンを押しながら電源を入れると、レジストレーションの設定を購入時の状態に戻すことができます。

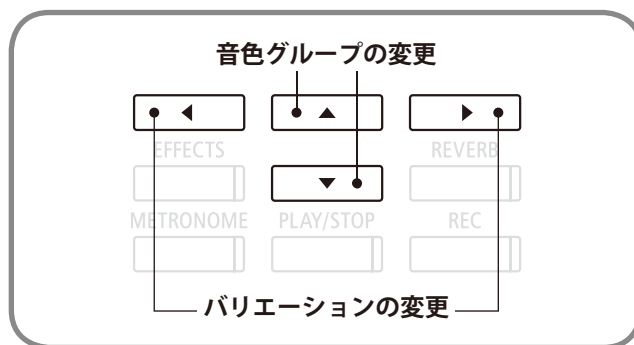
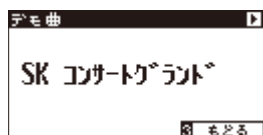
デモ曲を聴く

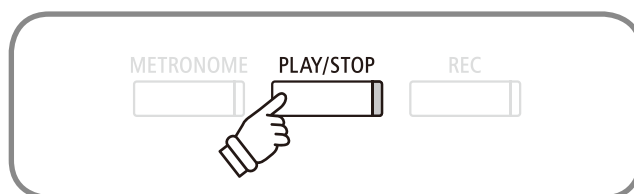
CA97 / 67には各音色ボタンごとにデモ曲を内蔵しています。それぞれの音色にあったデモ演奏をお楽しみください。内臓デモ曲についてはデモ曲一覧（P. 128）をご参照ください。

1. デモ曲モードに入る

[3:ミュージック]ボタンを押してモード選択をします。[UP / DOWN]ボタンを押すごとモードが切り替わりますので、「デモ曲」を選んで[2:入る]ボタンを押すとデモ曲が再生されます。

*このとき、[RIGHT]、[LEFT]、[PLAY / STOP]ボタン、音色ボタンを押してもデモ曲が再生されます。

2. デモ曲を選択する

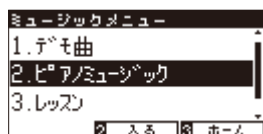
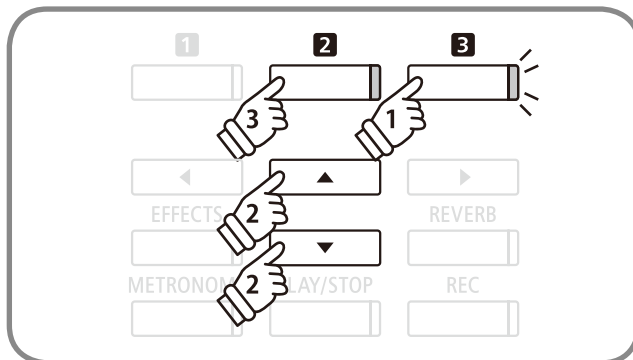
音色ボタンを押して聴きたいデモ曲を選びます。または[UP]、[DOWN]、[RIGHT]、[LEFT]ボタンでも選択することができます。

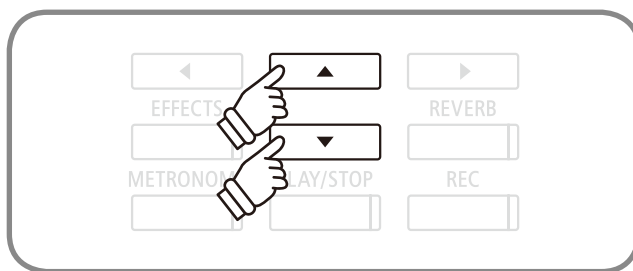
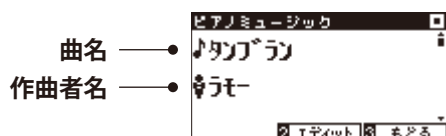
再生中に音色ボタン、または十字キーを押すと、曲を変更することができます。

3. デモ曲を停止してデモ曲モードを終了する

再生中に[PLAY / STOP]ボタンを押すとデモ曲が停止します。
[3:もどる]ボタンを押すとデモ曲モードを終了します。

ピアノミュージックを聴く

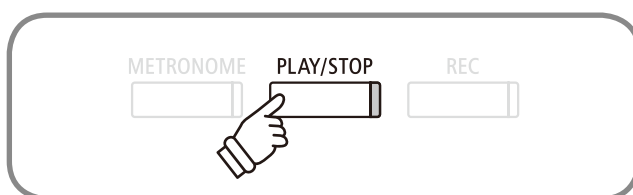
CA97 / 67には発表会などでよく演奏される曲を中心に、バロック時代のラモーの作品からロマン派のショパンまでの作品29曲を内蔵しています。また対応楽譜「CLASSICAL PIANO COLLECTION」を付属しています。鑑賞や練習にご活用ください。曲名についてはピアノミュージック曲名一覧（P. 129）をご参照ください。

1. ピアノミュージックモードに入る

［3:ミュージック］ボタンを押してモード選択をします。［UP / DOWN］ボタンを押すごとモードが切り替わりますので、「ピアノミュージック」を選んで［2:入る］ボタンを押します。

* ［RIGHT］、［LEFT］ボタンでも入ることができます。また［PLAY / STOP］ボタンを押すと曲が再生されます。

2. 曲を選択する

［UP / DOWN］または［LEFT / RIGHT］ボタンを押して聴きたい曲を選びます。ディスプレイの上段に曲名、下段に作曲者名が表示されます。

3. 曲を聴く

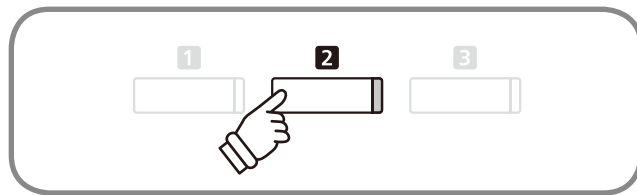
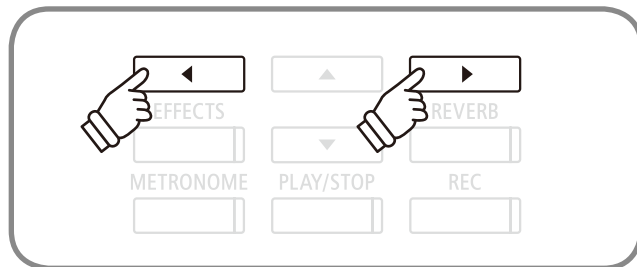
［PLAY / STOP］ボタンを押すと曲が再生されます。また、レッスンの練習曲同様、片方のパートだけを再生することができます。詳しくはP. 38をご覧ください。

* 演奏を停止するまでは、曲が順不同に演奏されます。

4.曲を停止してピアノミュージックモードを終了する

再生中に［PLAY / STOP］ボタンを押すと曲が停止します。
［3:もどる］ボタンを押すとピアノミュージックモードを終了します。

右手と左手のバランスを変更する

ピアノミュージック画面で[2:エディット]ボタンを押します。

設定画面が表示されます。

[LEFT / RIGHT]ボタンで2つの音色の音量バランスを設定することができます。

レッスン機能を楽しむ

1 練習したい曲を選ぶ

CA97 / 67はピアノの上達に役立つ練習曲を内蔵し、楽しみながら様々なレッスンをすることができます。
ここではレッスン機能を使ってできることと練習したい曲を選ぶ方法を説明します。レッスン曲集の種類についてはレッスン曲集一覧（P. 129）をご参照ください。

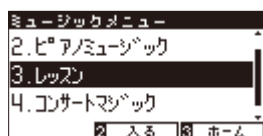
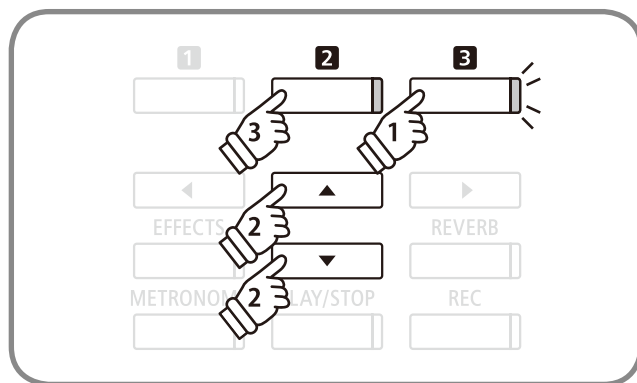
■ レッスン機能を使って

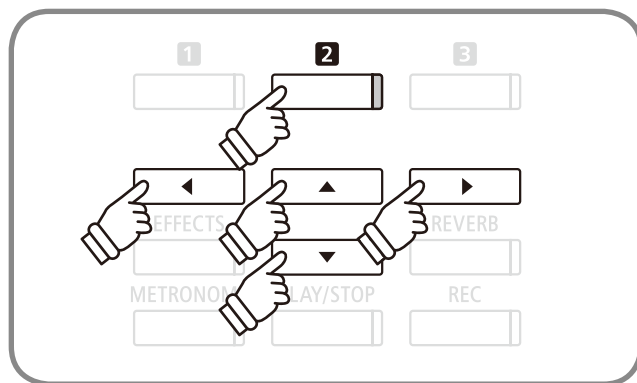
内蔵曲集から1曲を選んで次のような練習ができます。

1. 見本曲を再生して曲想を覚える。
2. 見本曲の左手（右手）パートを再生しながら右手（左手）パートを練習する。
3. テンポを変更して練習する。
4. 曲の途中の部分を繰り返して練習する。
5. 見本曲の左手（右手）パートを再生しながら右手（左手）パートの演奏を録音して聴いてみる。

* これら練習曲のテンポは、お子様が無理なく練習できるように一部の曲を除いて遅くしてあります。
* 設定されているテンポよりも遅くして再生した時、ブルクミュラーの一部の曲ではフェルマータの長さが変らない場合があります。
* 練習時にお子様の指に無理な負担をかけないように、チェルニーの一部の曲を除いて強打時（フォルテ）の音量を下げてあります。
* 練習するための楽譜はカワイ出版、全音楽譜出版（ショパン・ワルツ集）をご使用ください。
* バッハ・インヴェンションの強弱起号などの表現記号については、カワイ出版楽譜、他を参考にしています。
* ショパン・ワルツ集では、ワルツ独特のリズムの揺れやフレーズの抑揚を表現するため、演奏がメトロノームとずれています。メトロノームは速度表現のガイドとしてご利用ください。

1. レッスンモードに入る

［3:ミュージック］ボタンを押してモード選択をします。［UP / DOWN］ボタンを押すごとにモードが切り替わりますので、「レッスン」を選んで［2:入る］ボタンを押します。

* ［RIGHT］、［LEFT］ボタンでも入ることができます。また［PLAY / STOP］ボタンを押すと練習曲が再生されます。

2. 練習したい曲を選択する

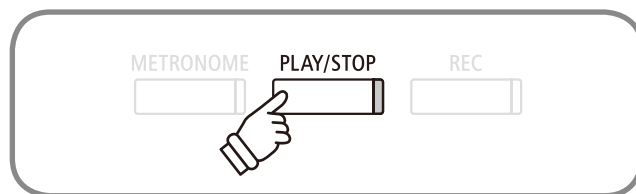
練習したい曲を選びます。［UP / DOWN］ボタンで曲集 / 曲 / 小節の項目の選択、［LEFT / RIGHT］ボタンで各項目の内容が選択できますので、練習したい曲集 / 曲を選択します。
［2:エディット］ボタンを押しながら鍵盤を押すことで曲番号の選択を行うことも可能です。
再生中でも曲選択は操作可能です。ただし練習を録音中の場合は操作できません。

2 練習曲を聴く

ここではバイエル、チェルニーなどの練習曲を聴く方法を説明します。

1.練習曲を聴く

（前ページ、曲を選択した後）

［PLAY / STOP］ボタンを押します。メトロノームが1小節鳴った後、見本曲が再生されます。

* この間は現在の位置より1小節前の小節が表示されます。弱起の曲の場合、最初の小節位置はゼロになります。

見本曲再生中はメトロノームが再生されませんが、メトロノームを鳴らしたい場合には、［METRONOME］ボタンをオンにします。

［PLAY / STOP］ボタンをもう一度押すと見本曲の再生が止まります。もう一度［PLAY / STOP］ボタンを押すと、止めた小節の2小節前から再生が始まります。

最初から再生したい場合には、［PLAY / STOP］ボタンを押して演奏を止めてから、［EFFECTS］と［REVERB］ボタンを同時に押します。

2.レッスンモードを終了する

［3:もどる］ボタンを押すとレッスンモードを終了します。

3 練習曲の途中から聴く / 片手で練習する / テンポを変更する

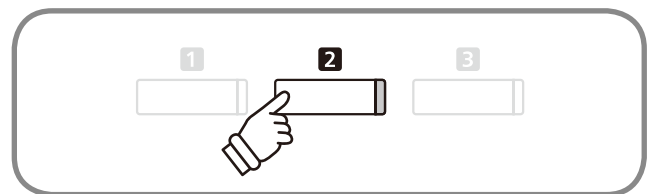
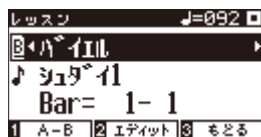
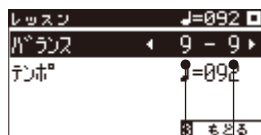
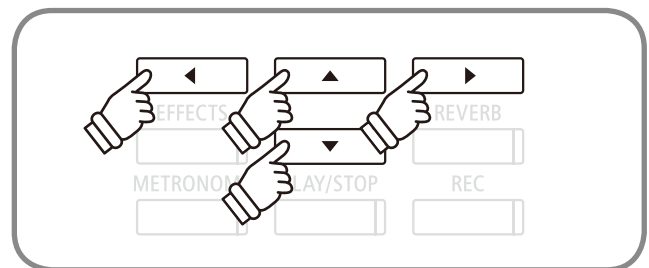
ここでは練習曲の途中から聴く方法と、練習曲を聴きながら右手、左手別々に練習する方法、テンポを変更する方法を説明します。

練習曲の途中から聴く

1.聴きたい曲を選択した後、[EFFECTS]または[REVERB]ボタンを押します。[EFFECTS]ボタンを押すと1小節戻り、[REVERB]ボタンを押すと1小節進みます。押し続けると早く進み(戻り)ます。
また、[UP / DOWN]ボタンで小節の項目の選択をすれば、[LEFT]ボタンを押すと1小節が戻り、[RIGHT]ボタンを押すと1小節が進みます。

2.[PLAY / STOP]ボタンを押すと2小節手前から演奏が始まります。

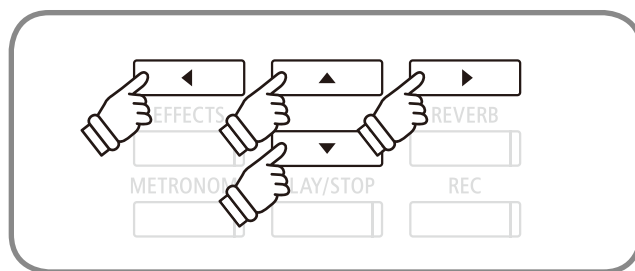
片手で練習する / テンポを変更する

レッスン画面で[2:エディット]ボタンを押します。
レッスンの設定画面が表示されます。

[UP / DOWN]ボタンでバランスを選択すると、[LEFT / RIGHT]ボタンでバランスを変更することができます。

右手パートを練習したいときは左パートのバランスを大きく、左手パートを練習したいときは右パートのバランスを大きくします。

練習曲の左手パートを再生しながら右手パートを練習したい場合
[LEFT]ボタンを押します。左の値を大きくすると練習曲の右手パートが小さくなり、ガイドメロディとなります。
値を9-1にすると右手パートは聴こえなくなり、ガイドメロディなしで練習できます。

練習曲の右手パートを再生しながら左手パートを練習したい場合
[RIGHT]ボタンを押します。右の値を大きくすると練習曲の左手パートが小さくなり、ガイドメロディとなります。
値を1-9にすると左手パートは聴こえなくなり、ガイドメロディなしで練習できます。

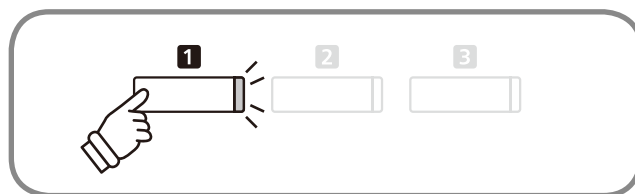
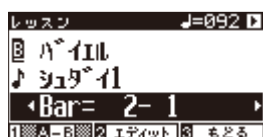
* 自分のパートの見本を再生しながら合わせて演奏した場合、弾く音程やタイミングによっては音質が変化することがありますが、これは故障ではありません。気になる場合は、練習曲の再生を小さくするか消してください。
* バイエルの中で先生の伴奏がついている曲の場合には、左の値を大きくすると生徒のパートが小さくなり、右の値を大きくすると先生のパートが小さくなります。

［UP / DOWN］ボタンでテンポを選択すると、［LEFT / RIGHT］ボタンでテンポの値を変更することができます。

4 フレーズを指定して練習する

ここでは練習曲の中の小節位置を2ヶ所指定してその区間を繰り返し再生したり（リピート再生）、繰り返して練習をする方法を説明します。

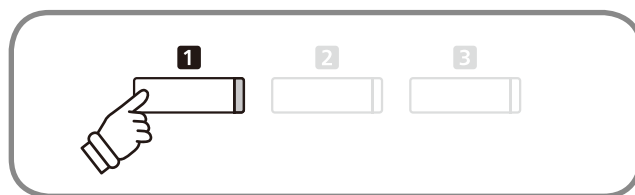
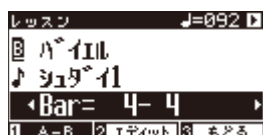
1. フレーズの始まり（A点）の指定

練習曲を選択し再生します。繰り返し演奏を始めたい位置まで再生が進んだら［1:A-B］ボタンを押します。

繰り返しの最初の小節が設定され、［1:A-B］ボタンのランプが点滅します。

2. フレーズの終わり（B点）の指定

繰り返し演奏を終わりたい位置まで再生が進んだらもう一度［1:A-B］ボタンを押します。

繰り返しの終わりの小節が設定され、［1:A-B］ボタンが点灯します。

これで繰り返し区間が決定し、この小節の再生が終了するとA点の2小節前に戻って再生を続けます。

3. 繰り返し演奏の解除

もう一度［1:A-B］ボタンを押すと繰り返し再生が解除され、通常の再生を続けます。

* ここで設定したリピート区間（A点とB点）は、別の曲を選ぶと解除されます。

また、リピート区間は、停止中に［EFFECTS］ボタン、［REVERB］ボタンで小節位置を選んで設定することもできます。ただし最初の小節より前の位置に終わりの小節を設定することはできません。

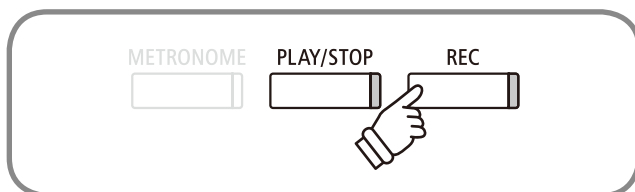
5 練習曲に合わせて録音する

ここでは練習曲に合わせて練習しながらそれを聞いてチェックする方法を説明します。

*リピート再生の設定をしている場合、リピートは無効になります。

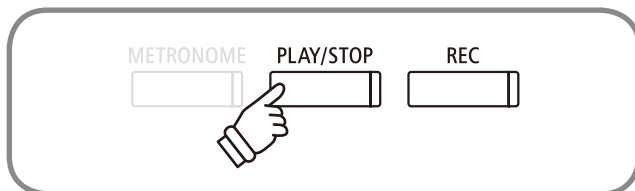
1. 録音をする

練習曲を選択し[REC]ボタンを押します。[REC]ボタンと[PLAY / STOP]ボタンが点灯し､メトロノームが1小節鳴った後､練習曲の再生と演奏の録音が始まります。

録音をはじめる前に、[REVERB]ボタンと[EFFECTS]ボタンで録音開始位置を変えることができます。

2. 録音の終了

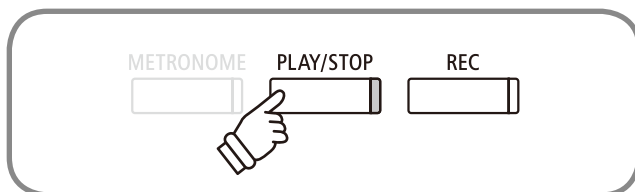
[PLAY / STOP]ボタンを押して、録音を終了します。練習曲の再生と演奏の録音が終了し、[REC]ボタンと[PLAY / STOP]ボタンが消灯します。

録音した演奏は[REC]ボタンと[PLAY / STOP]ボタンを同時に押すと消去することができます。

*録音した演奏は別の見本曲を選ぶと消去されます。

3. 録音した演奏を聴く

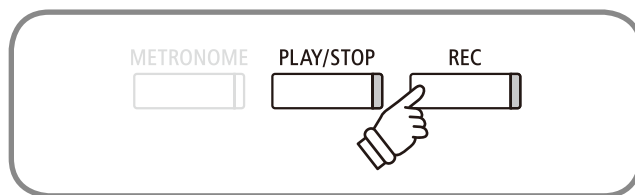
もう一度[PLAY / STOP]ボタンを押します。メトロノームが1小節鳴ったあと見本曲と録音した演奏が再生されます。

[REVERB]ボタンと[EFFECTS]ボタンで再生開始位置を変えることができます。

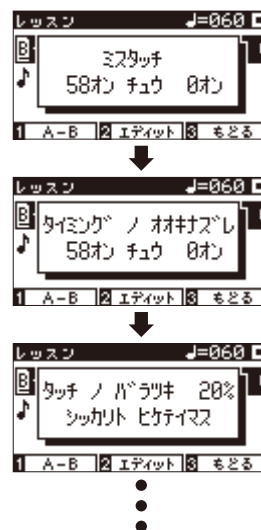
さらにもう一度[PLAY / STOP]ボタンを押すと練習曲と練習の演奏が止まります。

6 指のトレーニング機能を使う

指のトレーニング機能では内蔵されている曲集「ハノン」(第一部20曲)を演奏・録音することによって、タッチのばらつき等の評価がディスプレイに表示され、自分の演奏をチェックすることができます。練習するための楽譜はカワイ出版のものをご使用ください。また他の練習曲同様、見本曲として聴くこともできます。

1. ハノンを選択し録音する

曲集選択時にハノンを選択し、録音したい曲を選びます。[REC]ボタンを押すと[REC]ボタンのランプと[PLAY / STOP]ボタンが点灯し、メトロノームが1小節鳴った後、見本曲の再生と演奏の録音が始まります。

録音をはじめる前に、[REVERB]ボタンと[EFFECTS]ボタンで録音開始位置を変えることができます。

2. 評価を見る

[PLAY / STOP]ボタンを押して、録音を終了します。練習曲の再生と演奏の録音が終了し、右の3種類の評価結果が数秒ずつ繰り返し表示されます。

3. 録音した演奏を聴く

もう一度[PLAY / STOP]ボタンを押します。練習曲と録音した演奏が再生されます。評価結果を表示中に、録音した自分の演奏を再生してチェックすることができます。

さらにもう一度[PLAY / STOP]ボタンを押すと練習曲と練習の演奏が止まります。

[UP]、[DOWN]ボタンを押すと評価結果の表示を終了し、練習曲選択画面に戻ります。

* 評価結果の表示を終了しても、録音した演奏の再生ができます。
* 録音した演奏は[REC]ボタンと[PLAY / STOP]ボタンを同時に押すと消去することができます。
* 録音した演奏は別の練習曲を選ぶと消去されます。

コンサートマジックを楽しむ

1 コンサートマジックとは？

コンサートマジックとは、指一本で本格的なピアノ演奏を可能にする画期的な機能です。CA97 / 67にはコンサートマジック曲を88曲内蔵しており、下記の3つのモードで演奏を楽しむことができます。曲名についてはコンサートマジック曲名一覧（P. 130）をご参照ください。

マジカルタクトモード

一定の間隔で鍵盤を弾くことで演奏を進めることができます。弾く鍵盤はどの鍵盤でもかまいません。鍵盤を弾くタイミングや強さでテンポや強弱の表現を変えることができます。

*「●」は鍵盤を弾くタイミングです。曲はスケーターズワルツです。

マジカルメロディーモード

メロディーのタイミングに合わせて鍵盤を弾くことによって伴奏がついてきます。弾く鍵盤はどの鍵盤でもかまいません。鍵盤を弾くタイミングや強さでテンポや強弱の表現を変えることができます。

*「●」は鍵盤を弾くタイミングです。曲はスケーターズワルツです。

マジカルメロディー＆キーモード

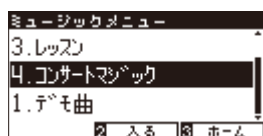
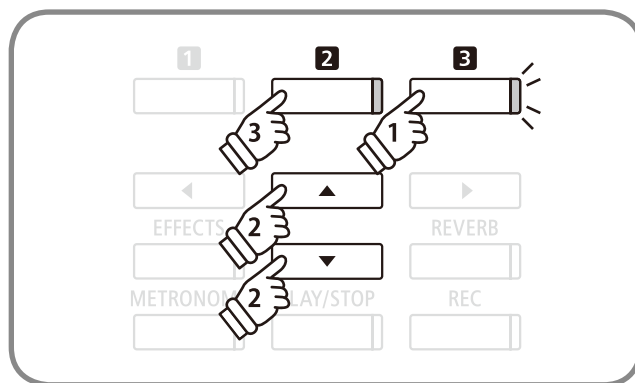
メロディーのタイミングに合わせて鍵盤を弾くことによって伴奏がついてきます。弾いた鍵盤の音が出ますので正しい音を弾きましょう。

*モードの選び方はコンサートマジックの設定（P. 45）を参照してください。

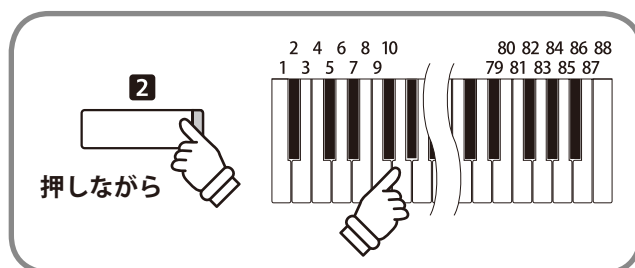
2 コンサートマジックを演奏しよう

ここでは、内臓のコンサートマジック曲の選択と演奏方法を説明します。

1. コンサートマジックモードに入る

[3:ミュージック]ボタンを押してモード選択をします。[UP / DOWN]ボタンを押すごとモードが切り替わりますので、「コンサートマジック」を選んで[2:入る]ボタンを押します。

* [RIGHT]、[LEFT]ボタンでも入ることができます。また[PLAY / STOP]ボタンを押すとコンサートマジックが再生されます。

2. 曲を選択する

[2:エディット]ボタンを押しながら鍵盤を押します。88曲のコンサートマジック曲は、各鍵盤に1曲ずつ割り当てられており、鍵盤で曲を選択します。

[UP / DOWN]または[LEFT / RIGHT]ボタンを押して曲を変更することもできます。

3. コンサートマジックを楽しむ

ひとつの鍵盤を弾いてみましょう。鍵盤を弾くタイミングで演奏が進んでいきます。鍵盤を弾くタッチによって強弱をつけることもできます。

演奏を進めていくに伴って、ディスプレイの黒丸(●)がプラス(+)表示へと変わっていきますので、鍵盤を押すタイミングをつかんでください。

通常の音色変更の場合と同様の操作で、音色を変更することができます。

4.コンサートマジックモードを終了する

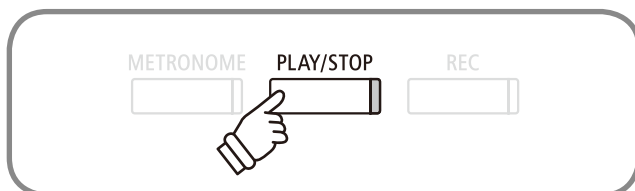
[3:もどる]ボタンを押すとコンサートマジックモードを終了します。

様々な機能を楽しむ

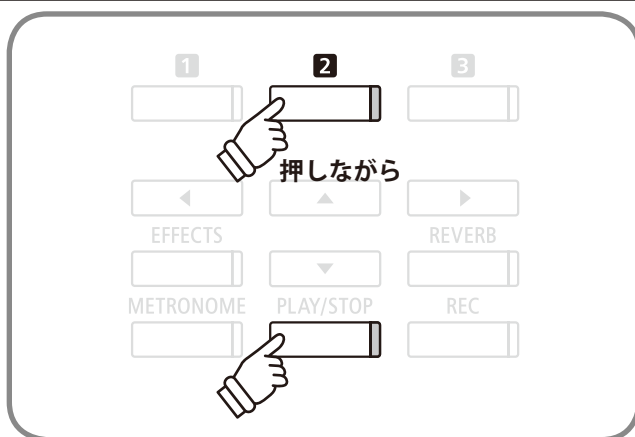
3 コンサートマジック曲を聴いてみよう

コンサートマジック曲は、普通のデモ曲として再生することができます。どんな曲かまず聴いてみたいときに便利な機能です。

ランダム再生

コンサートマジックモードに入り曲選択をした後、［PLAY / STOP］ボタンを押します。その後ストップするまでコンサートマジック内蔵曲がランダムに演奏されます。

グループ再生

コンサートマジックモードに入り曲選択をした後、［2:エディット］ボタンを押しながら［PLAY / STOP］ボタンを押します。選択した曲が含まれるグループの曲を順番に繰り返し再生します。

例えば、No.21の「ドレミの歌」を選ぶと、この曲から演奏が開始され、No.1 ～ No.27のグループ「子供の曲」を繰り返し再生します。

4 コンサートマジックの設定

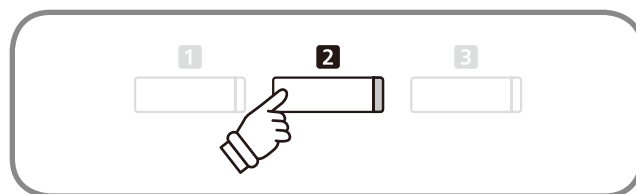
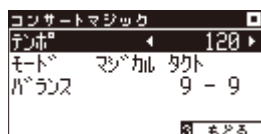
コンサートマジックのテンポ、モード、バランスを設定します。

■ 設定項目

種類	初期設定	説明
テンポ	-	曲のテンポを設定します。
モード	マジカルタクトモード	コンサートマジックのモードを選択します。（P. 42参照）
バランス	9-9	コンサートマジックの曲は、メロディーと伴奏の2パートからできており、［LEFT / RIGHT］ボタンで2パートの音量バランスを調整することができます。

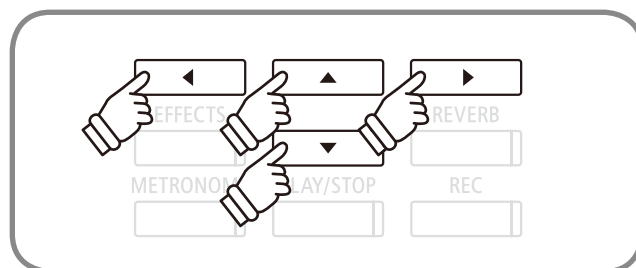
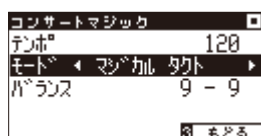
■ コンサートマジックの設定に入る

コンサートマジック画面で［2:エディット］ボタンを押します。

コンサートマジックの設定画面が表示されます。

■ テンポ、モード、バランスを設定する。

［UP / DOWN］ボタンで設定項目を選択し、［LEFT / RIGHT］ボタンで設定内容を変更します。

［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、設定した値を初期設定に戻すことができます。

［3:もどる］ボタンを押すと、コンサートマジック画面に戻ります。

1 録音・再生機能について

CA97 / 67は自分の演奏を本体に録音し再生したり、USBメモリ内に直接録音し再生することができます。

録音フォーマット形式について

CA97 / 67では下記のファイル、フォーマットにて録音することができます。

本体メモリ
内部フォーマット形式

USBメモリ	
MP3形式	ビットレート：256Kbps固定、サンプリング周波数：44.1KHz、ステレオ
WAV形式	サンプリング周波数：44.1kHz、16bit、ステレオ

本体録音について

・CA97 / 67の総記憶容量は、約90,000音*です。録音中に記憶容量がいっぱいになったときは［PLAY / STOP］ボタンと［REC］ボタンが消灯し、録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。
・レコーダーに録音した内容は本体の電源を切っても消えません。
・パート1に既に録音されているソングのパート2に録音するときにパート1の演奏を再生しないでパート2に録音したい場合は、録音モードに入る前に再生モードでプレイパートを2に設定します。

*総記憶容量の目安として、例えば総記憶容量5,000音の場合、ベートーベンの「エリーゼのために」であれば約3 〜 4回の録音でき10 〜 15分程度の録音が可能です。但し、曲の音符の数やテンポによって録音できる時間は変わります。またレコーダーはペダル操作も記録していますので、ペダルを踏んだ回数によっても録音時間は変わります。

録音中のパネル操作に関して

・音色変更は記憶されます。
・デュアルスプリットモードの移行は記憶されます。
・エフェクト設定の変更は記憶されず、パネルで選ばれている音色に、選択されているエフェクトがそのまま使われます。
・テンポ変更は記憶されません。
・デュアルスプリットバランスの変更は記憶されません。録音直前のバランスで記憶されます。

再生可能なファイルに関して

CA97 / CA67では以下のデータを再生することが可能です。

・本体に録音・保存した曲
・USBメモリ上にあるSMFファイル
・USBメモリ上にあるKSOファイル（内部ソングフォーマットファイル）
・USBメモリ上にあるMP3ファイル（ビットレート : 8K〜320bps、サンプリング周波数 : 44.1kHz, 48kHz, 32kHz、ステレオ）
・USBメモリ上にあるWAVファイル（サンプリング周波数 : 44.1kHz、16bit、ステレオ）

著作権について

市販の音楽 CD や音楽ファイル、SMF ファイルなど、既存の著作物を利用して作られた作品を本機で利用する場合、個人的に、または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用すること以外は著作権法上、権利者に無断で使用できませんので十分注意をお願いします。お客様が著作権法に違反する行為を行った場合、当社は一切の責任を負いません。

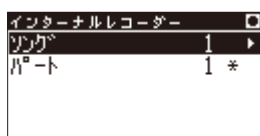
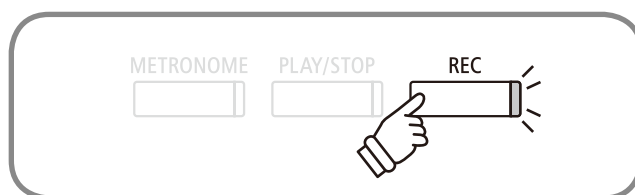
2 本体に録音する

CA97 / 67は本体に10曲（10ソング）まで録音して再生することができます。それぞれのソングは2つのパートから構成されています。

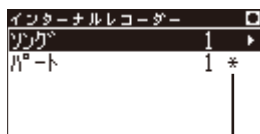
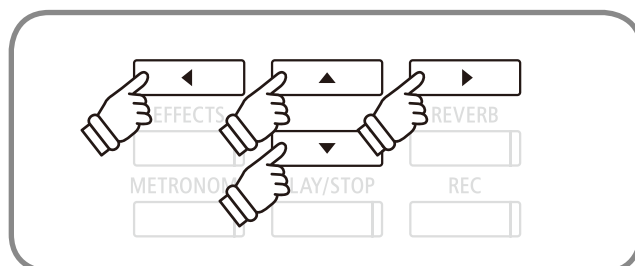
① 1つのパートを使って両手の録音、再生をすることができます。

② 2つのパートを使えば右手と左手をそれぞれのパートに別々に録音した後、別々に再生して片手ずつの練習に役立てることができます。両方のパートを合わせて再生することもできます。

1.録音モード（本体）に入る

［REC］ボタンを押します。ディスプレイにソングとパートが表示され［REC］ボタンが点滅します。

＊USBメモリが接続されている場合はUSB録音の画面が表示されます。

2.ソングとパートの設定をする

［UP / DOWN］ボタンでソング/パート項目の選択、［LEFT / RIGHT］ボタンで各項目の値を変更し、録音したいソング番号とパートを設定します。

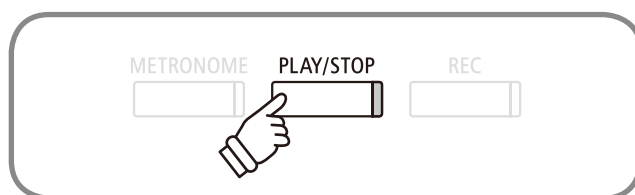
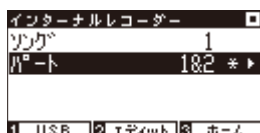
すでに録音されているパートには、2行目右に＊マークが付いています。このパートに録音すると、以前まであった演奏データが消去されて新しい演奏データが記憶されます。

3.録音をスタートする

演奏を始めると自動的に録音がスタートします。このとき［REC］ボタンと［PLAY / STOP］ボタンが点灯します。

［PLAY / STOP］ボタンを押しても録音を開始できます。録音中の音色変更も記憶されます。

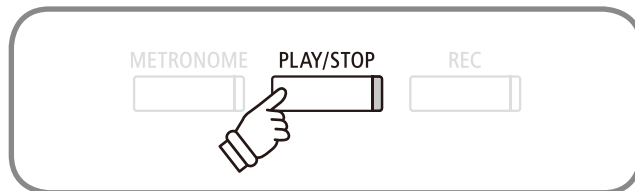
4.録音をストップする

演奏が終わったら［PLAY / STOP］ボタンを押して録音を終了します。［PLAY / STOP］ボタンと［REC］ボタンが消灯し録音が停止します。

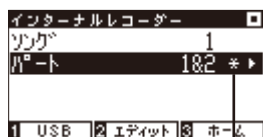
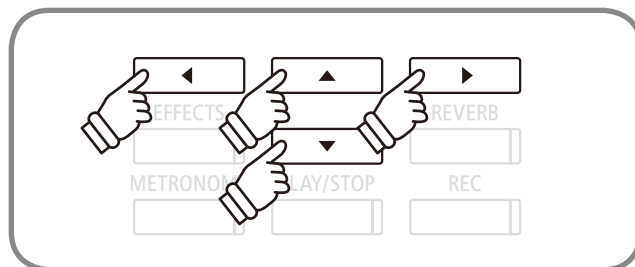
ディスプレイは録音停止を表示した後、自動的に再生モードの表示になります。

3-1 本体に録音された曲を聴く

録音した曲を聴いてみましょう。録音直後に再生する場合は、2より行ってください。

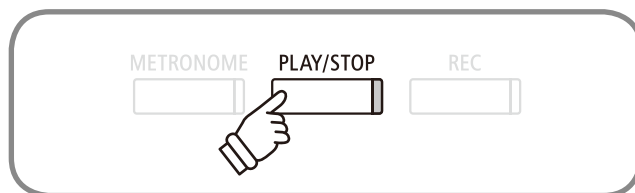
1. 再生モードに入る

［PLAY / STOP］ボタンを押します。ディスプレイにソングリストが表示され再生待機状態になります。

2. 聴きたい曲を選ぶ

［UP / DOWN］ボタンでソング / パート項目の選択、［LEFT / RIGHT］ボタンで各項目の値を変更し、再生したいソング番号とパートを設定します。

すでに録音されているパートには、2行目右に＊マークが付いています。

3. 再生をスタートする

［PLAY / STOP］ボタンを押すと再生がスタートします。演奏を停止するには、再度［PLAY / STOP］ボタンを押します。

再生待機状態のときに別の曲やパートを選択することができます。

4. 再生モードを終了する

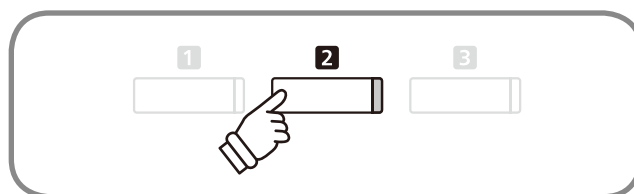
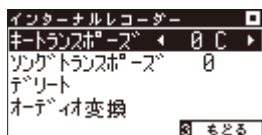
［3:ホーム］ボタンを押すと通常の状態に戻ります。

3-2 本体に録音された曲を聴く—色々な設定

CA97 / 67本体に録音された曲の再生では下記の設定等を行うことができます。

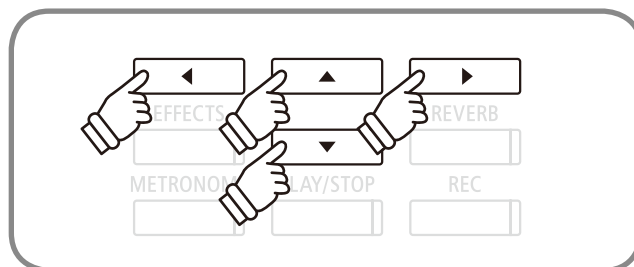
種類	内容
1. キートランスポーズ	キートランスポーズすることができます。(P. 61参照)
2. ソングトランスポーズ	ソングトランスポーズすることができます。(P. 62参照) * SMF / KSOファイルの再生時のみ表示されます。
3. デリート	ソングを削除することができます。(P. 50参照)
4.オーディオ変換	本体に録音したソングをmp3 / WAVEファイルに変換してUSBメモリに保存します。(P. 51参照)

再生モードの設定に入る

再生モードの画面で[2:エディット]ボタンを押します。
設定画面が表示されます。

設定をする

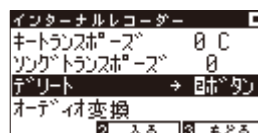
[UP / DOWN]ボタンで設定項目を選択し、[LEFT / RIGHT]ボタンで設定内容を変更します。

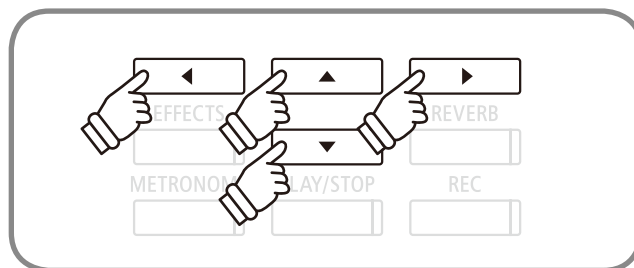
[LEFT / RIGHT]ボタンを同時に押すと、設定した値を初期設定に戻すことができます。
[3:もどる]ボタンを押すと、再生画面に戻ります。

*「デリート」については、(P. 50)を参照してください。
*「オーディオ変換」については、(P. 51)を参照してください。

3-3 本体に録音した演奏を消去する

ここでは録音に失敗したり、いらなくなった曲を1パートづつ消去する方法を説明します。
USBメモリ内の曲を消去する場合は設定メニューの「USBデリート」（P. 122）から行ってください。

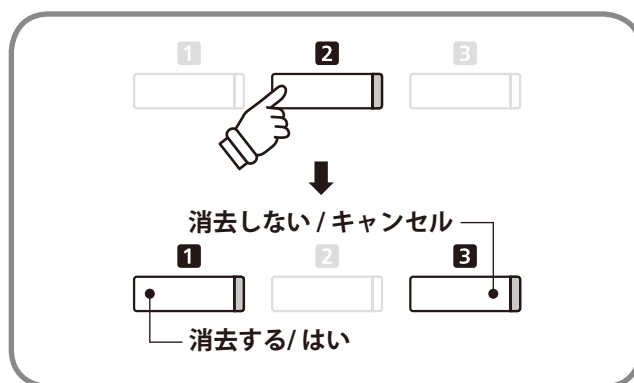
1. 消去モードに入る

再生モードの設定（エディット）画面から「デリート」を選択し、[2:入る]ボタンを押します。

2. 消去したいソングとパートを選ぶ

[UP / DOWN]ボタンで設定項目「ソング / パート」を選択し、[LEFT / RIGHT]ボタンを押して項目内容「ソング番号 / パート内容」を選択をします。

3. 消去する

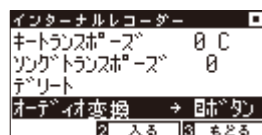
[2:OK]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。削除する場合は[1:はい]ボタンを、キャンセルする場合は[3:キャンセル]ボタンを押します。

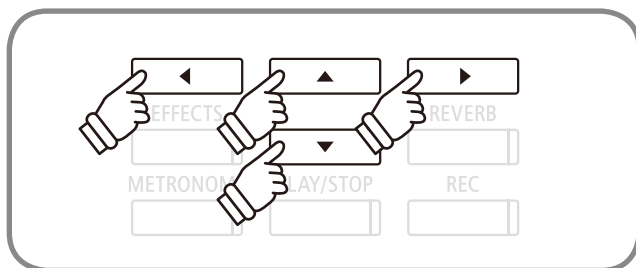
〈すべてのソングを消去したい場合〉
録音されているすべてのソングを消去したい場合は、[PLAY / STOP]ボタンと[REC]ボタンを押しながら電源を入れてください。

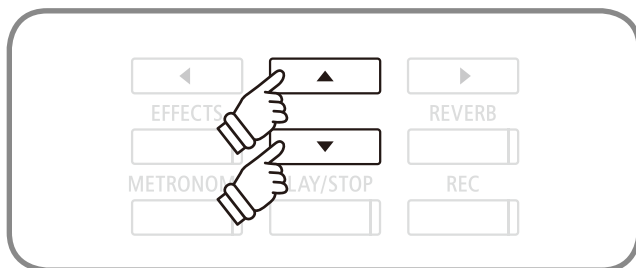
*消去した後、[3:もどる]ボタンを押すと前の画面に戻ります。

3-4 本体に録音した演奏を変換する

ここでは、CA97 / 67本体に録音した演奏をMP3 / WAVEファイルとして変換し、USBメモリに保存する方法を説明します。

1. オーディオ変換モードにはいる

再生モードの設定（エディット）画面から「オーディオ変換」を選択し、［2:入る］ボタンを押します。

2. オーディオ変換したいソングとパートを選ぶ

［UP / DOWN］ボタンで設定項目「ソング/パート」を選択し、［LEFT / RIGHT］ボタンを押して項目内容「ソング番号 / パート内容」を選択をし、［2:次へ］ボタンを押します。

3. オーディオ変換したいファイル形式を選択する

［UP / DOWN］ボタンを押して録音したいフォーマット形式を選びます。フォーマット形式はMP3かWAVを選ぶことができます。

* ［2:レベル］ボタンを押すことで録音レベルの設定も可能です。（P. 52参照）

4. オーディオ変換を開始する

［PLAY/STOP］ボタンを押して録音を開始します。このとき［REC］ボタンと［PLAY/STOP］ボタンが点灯します。

*録音中の演奏も録音されます。

*鍵盤を押して録音を開始することもできます。

*オーディオ録音をスタートする前、または録音中に、メトロノームボタンを押すことでメトロノーム音をガイドとして聴きながら録音することができます。このときメトロノーム音は録音されません。ただし、リズムパターンを選択した場合は録音されます。

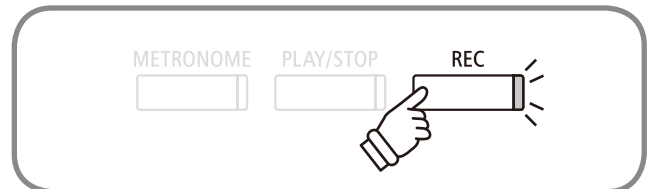
*録音後の動作についてはP. 53を参照してください。

4 USBメモリに直接録音する

CA97 / 67では、USBメモリに直接演奏を録音（保存）することができます。ラインイン（P. 64）の音も合わせてUSBメモリに録音することができます。

1. 録音モード（USBメモリ）に入る

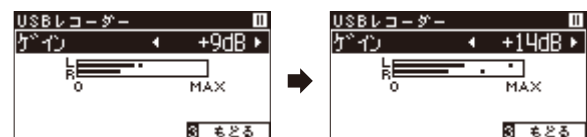
USBメモリを本体に接続し、［REC］ボタンを押します。［REC］ボタンが点滅します。

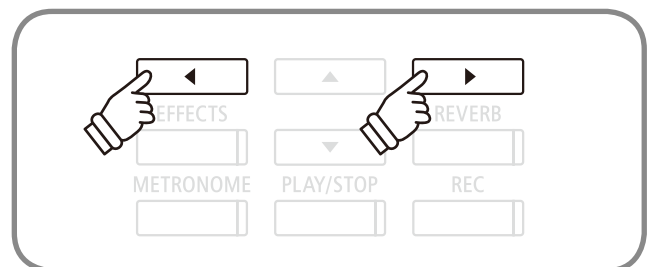
*USBメモリが接続されていない場合は本体録音の画面が表示されます。

2. 録音するデータ形式を選ぶ

［LEFT / RIGHT］ボタンを押して録音したいフォーマット形式を選びます。フォーマット形式はMP3かWAVを選ぶことができます。

［1:インターナル］ボタンでインターナルレコーダー（P. 47参照）に行くこともできます。

3. 録音レベルを設定する

［2:レベル］ボタンを押すと録音レベル設定画面が表示されます。
弾く曲に合わせた録音レベル調節を行うことが可能です。
録音レベル設定画面にはレベルメーターが表示されています。
ここで演奏すると、演奏時の録音レベルがレベルメーターにLチャンネル Rチャンネル別々に表示されます。

［LEFT / RIGHT］ボタンを押し、ゲインを調整します。
ゲインは0 ～ 15dBの範囲で調整できます。

演奏する内容に合わせてゲインを調整してください。
ゲインを設定したら、［3:もどる］ボタンを押して、前の画面に戻ります。

*調整内容によっては、音が歪んでしまうことがあります。
ゲイン調整には十分気を付けてください。
*［LINE IN］端子から入力された信号もレベルメーターに表示されます。（演奏時の録音レベルと加算されて表示されます。）

*［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、設定したゲインが初期値に戻ります。
*［3:もどる］ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
*［PLAY / STOP］ボタンを押すと、録音を開始します
*ここで演奏を行っても録音は開始しません。

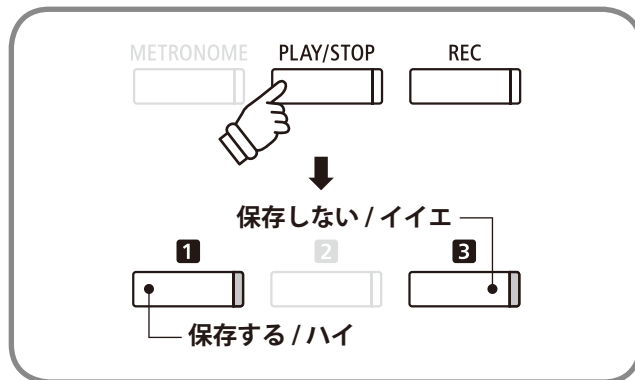
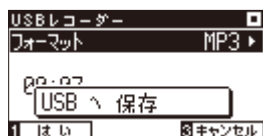
4. 録音をスタートする

演奏を始めると自動的に録音がスタートします。このとき［REC］ボタンと［PLAY / STOP］ボタンが点灯します。
［PLAY / STOP］ボタンを押しても録音を開始できます。録音中の音色変更も記憶されます。

*オーディオ録音をスタートする前、または録音中に、メトロノームボタンを押すことでメトロノーム音をガイドとして聴きながら録音することができます。
このときメトロノーム音は録音されません。ただし、リズムパターンを選択した場合は録音されます。
*録音中に無音の状態が10分間続くと、録音は自動的にストップします。
*録音レベル設定中は演奏を始めても録音を開始しません。

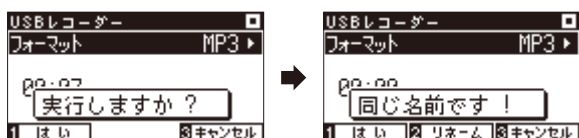
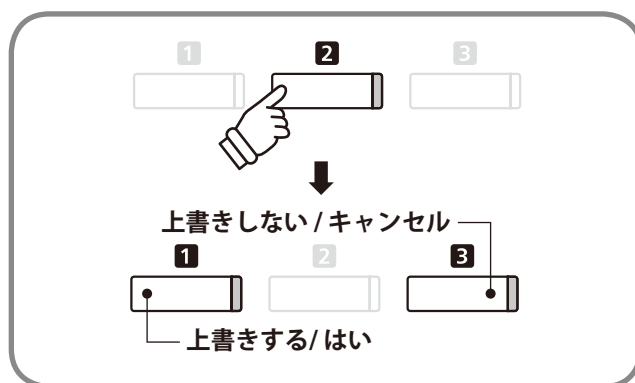
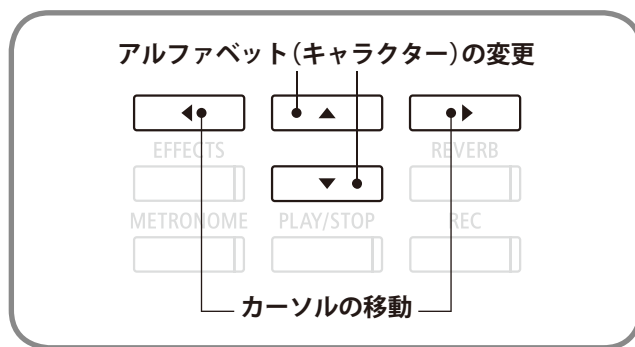
5.録音をストップして保存する

演奏が終わったら[PLAY / STOP]ボタンを押して録音を終了します。[PLAY / STOP]ボタンと[REC]ボタンが消灯し録音が停止します。

録音した演奏をUSBメモリに保存するか決めます。保存する場合は[1:はい]ボタンを、保存しない場合は[3:キャンセル]ボタンを押してください。

6.ソング名をつける

USBメモリに保存するソングに名前をつけます。[LEFT / RIGHT]ボタンでカーソルを動かし、[UP / DOWN]ボタンでアルファベット（キャラクター）を変更します。

*初めにソング名候補として、MP3の場合は「MP3SongXX」、WAVの場合は「WAVSongXX」と表示されます。「XX」には空いている曲の番号が入ります。

ソング名が決定したら[2:OK]ボタンを押します。すでに同じファイル名がある場合、上書きをするか選択します。上書きをする場合は[1:はい]ボタンを、キャンセルする場合は[3:キャンセル]ボタンを押します。キャンセルした場合は5の画面に戻ります。

保存が終了すると自動的に再生モードの表示になります。

*録音したソングは、USBメモリ内のルートフォルダ（1番上の階層）に保存されます。ディレクトリに保存することはできません。

■ 使用できる文字一覧

0~9	A~Z	a~z	!	#	$	%	&	'	(	)	+	,	-	.	;	=	@	[	]	^	_	`	{	}

ｱ~ﾝ	ｧ~ｫ	ｬ~ｭ	ｮ	ｯ	ﾞ	ﾟ	―	。	「	」	、	・

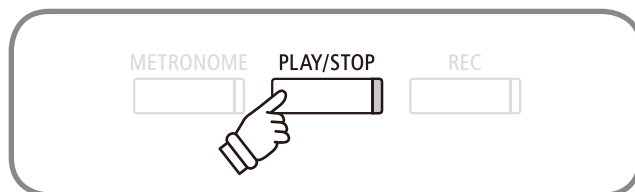
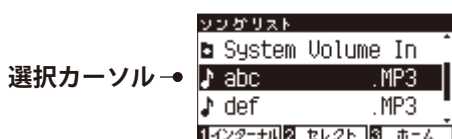
*全角文字は使用できません。

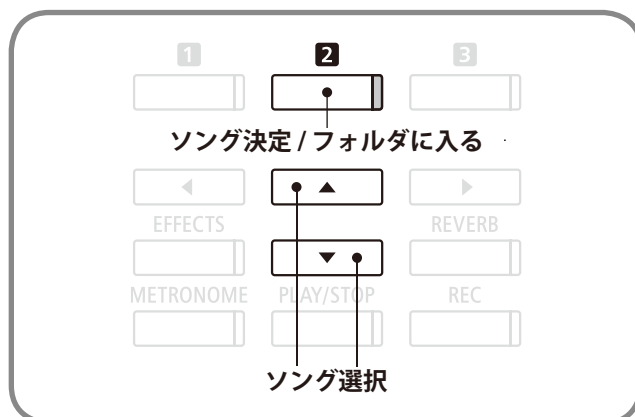
5-1 USBメモリ内の曲を聴く

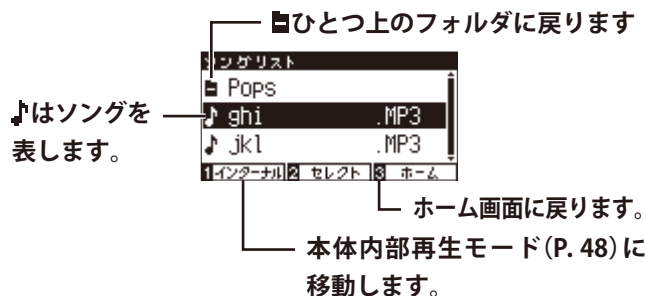
CA97 / 67はUSBメモリ内の曲も聴くことができます。USBメモリ内の曲を再生させながら、演奏することもできます。

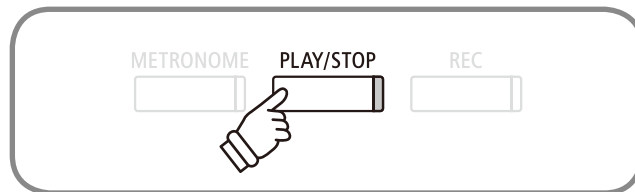
* 再生可能なファイルに関してはP. 46を参照してください。

1. 再生モードに入る

［PLAY / STOP］ボタンを押します。ディスプレイにソングリストが表示され再生待機状態になります。USBメモリが接続されている場合そのルートフォルダの内容が表示されます。

2. 聴きたい曲を選ぶ

［UP / DOWN］ボタンを押して聴きたいソング名を選び［2:セレクト］ボタンを押します。フォルダを選択する場合にはフォルダ名を表示させた後に［2:セレクト］ボタンを押してください。

■ ソングリスト画面表示について

〈リスト画面イメージ〉

3. 再生をスタートする

［PLAY / STOP］ボタンを押すと再生がスタートします。演奏を停止するには、再度［PLAY / STOP］ボタンを押します。

4. 再生モードを終了する

演奏停止状態にて［3:もどる］ボタンを押すと、ソングリスト画面に戻ります。

* ソングリスト画面で［3:ホーム］ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

SMF・KSO・MP3・WAVファイル再生中の画面表示とボタンについて

〈MP3・WAVファイルの場合〉

〈SMFファイルの場合〉

〈KSOファイル（内部ソングファイル）の場合〉

* KSOファイルの再生時に小節位置は表示されません。

* 一般に販売されているオーディオファイルはマスタリング処理が施されている為に音量が限界まで大きくしてあるのに対し、楽器（ピアノ）はダイナミックレンジ幅が大きいため、普通に録音した音量は小さくなります。したがって、音量調整は必須となります。
* フォルダ名や再生する曲のファイル名、ソング名、アーティスト名などにCA97 / 67が認識できない文字が含まれている場合は、正確に表示されません。CA97 / 67が認識できる文字については、P. 53を参照ください。

A-Bリピート再生について

［1:A-B］ボタンを2回押すと、スタートポイント（A）とエンドポイント（B）を指定し、A、Bのポイントを繰り返し演奏します。3回目で、繰り返しをオフします。

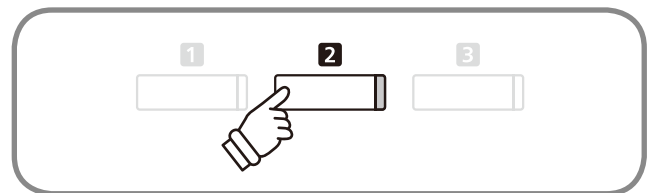
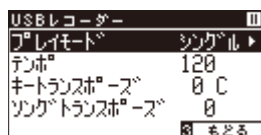
* KSOファイル再生時にA-Bリピートはできません。

5-2 USBメモリ内の曲を聴く—色々な設定

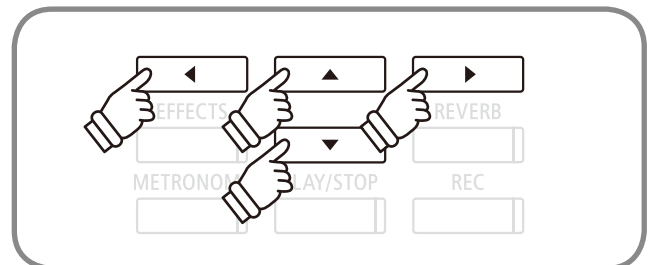
USBメモリ内の曲の再生では下記の設定を行うことができます。

種類	内容
1. プレイモード	色々な再生方法を選択することができます。
2. テンポ	テンポを設定することができます。 * SMF/KSOファイルの選択時のみ表示されます。
3. キートランスポーズ	キー（鍵盤）をトランスポーズ（移調）することができます。（P. 61参照）
4. ソングトランスポーズ	ソング（曲）をトランスポーズ（移調）することができます。（P. 62参照） * SMF / KSOファイルの選択時のみ表示されます。

再生モードの設定に入る

再生モードの画面で［2:エディット］ボタンを押します。
設定画面が表示されます。

設定をする

［UP / DOWN］ボタンで設定項目を選択し、［LEFT / RIGHT］ボタンで設定内容を変更します。

［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、設定した値を初期設定に戻すことができます。
［3:もどる］ボタンを押すと、再生画面に戻ります。

プレイモード

「プレイモード」では、下記の設定を行うことができます。

種類	説明
1. シングル	選択した曲を1度再生します。
2. 1リピート	選択した曲をリピート再生します。
3. オールリピート	選択された曲のフォルダ内にあるソングをリピート再生します。*
4. ランダム	選択された曲のフォルダ内にあるソングをランダム再生します。*

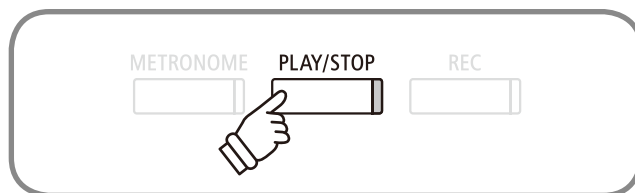
* フォルダ内の再生可能なソング全てを再生します。

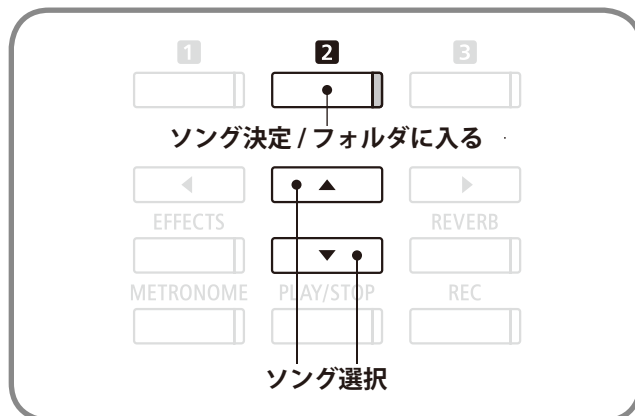
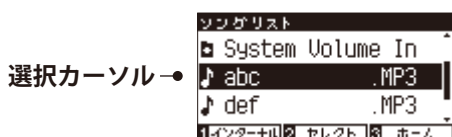
5-3 USBメモリ内の曲を聴きながら演奏を重ねて録音する（オーバーダビング）

CA97 / 67では、USBメモリ内の曲を聴きながら演奏をUSBメモリに重ねて録音することができます。

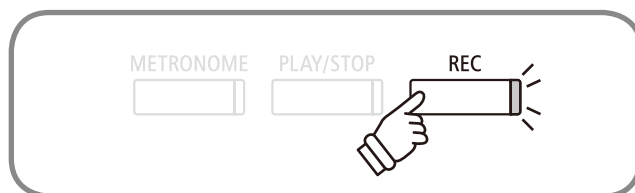
*SMF/KSOファイルをオーバーダビングしてSMF/KSOファイルにすることはできません。SMFファイルをオーバーダビングする場合は、MP3/WAVファイルに変換されます。

1. 再生モードに入る

USBメモリを本体に接続し、[PLAY/STOP]ボタンを押します。ディスプレイにソングリストが表示されます。

2. 聴きたい曲を選ぶ

[UP / DOWN]ボタンを押して選択カーソルをオーバーダビングを行いたいソングに合わせます。

3. 録音モード（USBメモリ）に入る

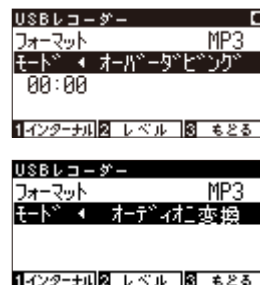
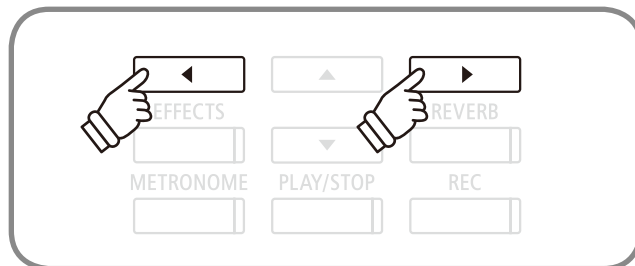
[REC]ボタンを押します。[REC]ボタンが点滅します。

*再生画面（P. 55参照）からでも録音モードに入ることができます。

4. オーバーダビングを設定する

［UP/DOWN］ボタンで「モード」を選択します。

MP3/WAVデータを選択している場合には、［LEFT / RIGHT］ボタンで「オーバーダビング」を表示させます。

SMF/KSOデータを選択している場合には、［LEFT / RIGHT］ボタンで「オーディオニ変換」を表示させます。

*ニューソングを選択すると、オーバーダビングではなく、通常の録音になります。

5. 録音をスタートする

演奏を始めると自動的に録音がスタートします。このとき［REC］ボタンと［PLAY / STOP］ボタンが点灯します。
［PLAY / STOP］ボタンを押しても録音を開始できます。録音中の音色変更も記憶されます。

*オーディオ録音をスタートする前、または録音中に、メトロノームボタンを押すことでメトロノーム音をガイドとして聴きながら録音することができます。
このときメトロノーム音は録音されません。ただし、リズムパターンを選択した場合は録音されます。
*録音中に無音の状態が10分間続くと、録音は自動的にストップします。
*録音後の操作に関しては、P. 53を参照してください。

設定メニューについて

CA97 / 67に演奏を楽しむためのさまざまな設定を行うことができます。各種設定をまとめて設定メニューと呼びます。

設定メニューの入り方

ホーム画面のときに、[2:メニュー]ボタンを押します。

設定メニュー

設定メニューの内容は以下の通りです。

ベーシックセッティング
演奏に関するセッティングをしたり、各種設定を保存したりすることができます。

コンサートチューナー
ピアノに関する様々な調整を電子的にシミュレートし、演奏者の好みのピアノにすることができます。

ヘッドホンセッティング
ヘッドホンに関するセッティングをすることができます。

MIDIセッティング
MIDIに関するセッティングをすることができます。

USBメニュー
USBメモリに関する操作をすることができます。

設定メニューから出る

設定メニュー表示中に[3:ホーム]ボタンを押します。

ベーシックセッティングについて

ベーシックセッティングでは通常演奏時に関わる設定を操作したり、各種設定を保存したりすることができます。

ベーシックセッティングの種類と初期設定

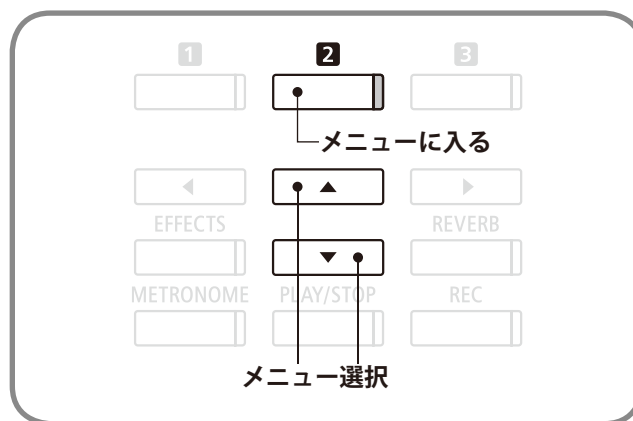
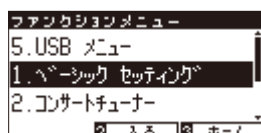
種類	初期設定
1. キートランスポーズ	0C
2. ソングトランスポーズ	0
3. トーンコントロール	オフ
4. スピーカーボリューム	ノーマル
5. ラインインレベル	0
6. ウォールEQ	オフ
7. チューニング	440.0Hz
8. ダンパーホールド	オフ
9. スプリット	オフ
10. 4ハンズ	オフ
11. LCDコントラスト	5
12. スタートアップセッティング	-
13. ファクトリーリセット	-
14. オートパワーオフ	オフ
15. 表示言語	日本語

*スタートアップセッティングを設定した場合は、その設定にしたがいます。

*CA67は「6.ウォールEQ」がないため、以降の数字はずれて表示されます。

ベーシックセッティングへ入る

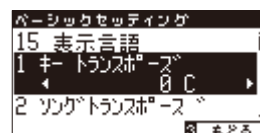
［2:メニュー］ボタンを押して設定メニューに入ります。［UP / DOWN］ボタンを押すごとにメニューが切り替わりますので、「ベーシックセッティング」を選んで［2:入る］ボタンを押します。

ベーシックセッティングに入った後［3:もどる］ボタンを押すと、設定メニュー選択画面に戻ります。

ベーシックセッティング

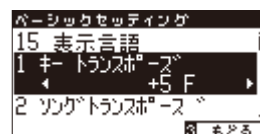
1 キートランスポーズ

トランスポーズとは半音単位で調を変えることです。キー（調）の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときに、弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。

1. ベーシックセッティング / キートランスポーズの設定に入る

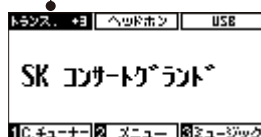
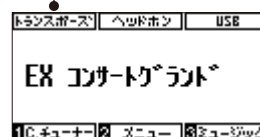
ベーシックセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「キー トランスポーズ」を選びます。

2. 移調値を設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごとに半音単位で移調します。移調値は–12 ～ +12（全2オクターブ）の間で設定します。

設定が終了したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

* ［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、設定した値が初期値「0C」に戻ります。
* ［3:もどる］ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

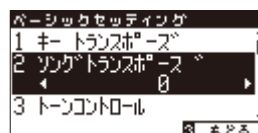
■ キートランスポーズの状態を確認する

キートランスポーズが初期値「0C」以外に設定されている場合、ホーム画面（P. 13）におけるトランスポーズ部分が反転されます。

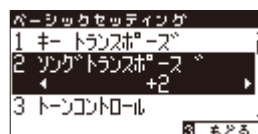
キートランスポーズ設定が初期値「0C」以外での状態

キートランスポーズ設定が初期値「0C」での状態

2 ソングトランスポーズ

USBから再生されるソング（SMFファイル / KSOファイル）、内部レコーダー、ピアノミュージック、レッスン、コンサートマジック等のソングを移調することができます。（デモ曲を移調することはできません。）

1. ベーシックセッティング / ソングトランスポーズの設定に入る

ベーシックセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ソングトランスポーズ」を選びます。

2. 移調値を設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごとに1ずつ値を設定します。移調値は–12 〜 +12（全2オクターブ）の間で設定します。

設定が終了したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

* ［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、設定した値が初期値に戻ります。
* ［3:もどる］ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

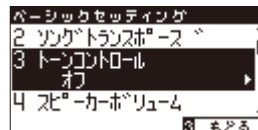
3 全体の音質を変える（トーンコントロール）

トーンコントロールによって演奏や設置場所に応じて、適した音質に設定することができます。トーンコントロールの種類は以下のようになっています。

■ トーンコントロールの種類

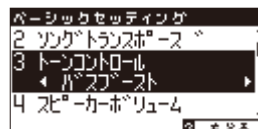
種類	効果
オフ	トーンコントロールはかかりません。
ブリリアンス	音色の明るさを調整します。
ラウドネス	小さい音量時でも通常音量時のような適切な音質が得られます。
バスブースト	低音を強調した音質です。
トレブルブースト	高音を強調した音質です。
ミッドカット	やわらかい音質です。
ユーザー	自分で音質を調整できます。低域（20-100Hz）と中域1（355-3150Hz）、中域2、高域（5000-20000Hz）をそれぞれ調節することが可能です。中低1と中域2については周波数を選択することも可能です。

1. ベーシックセッティング設定に入る

ベーシックセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「トーンコントロール」を選びます。

2. トーンコントロールの種類を選択する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごとトーンコントロールの種類が切り替わります。

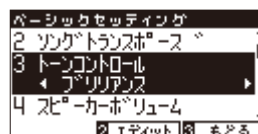
選択したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

ユーザー設定をする場合は3に続きます。

*［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、設定した値が初期値に戻ります。

*［3:もどる］ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

3. ブリリアンスの設定をする

ブリリアンスの設定をする場合、「ブリリアンス」を選択して［2:エディット］ボタンを押します。

［LEFT / RIGHT］ボタンでブリリアンスの値を調整します。

*値は、-10〜+10の範囲で調節できます。+10がもっとも音色が明るく、-10がもっとも暗くなります。

［3:もどる］ボタンを押すと、ブリリアンス設定から通常のトーンコントロール設定に戻ります。

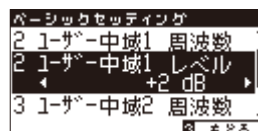
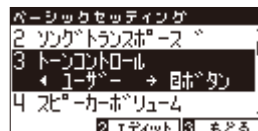
4. ユーザー設定をする

ユーザー設定をする場合、ユーザーを選択して［2:エディット］ボタンを押すとユーザー設定に入ります。

［UP / DOWN］ボタンで「低域 レベル」、「中域1 周波数」、「中域1 レベル」、「中域2 周波数」、「中域2 レベル」、「高域 レベル」の各項目を選択します。

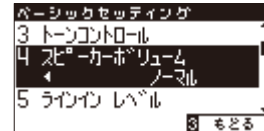
［LEFT / RIGHT］ボタン押して各音域の音量、周波数を設定します。

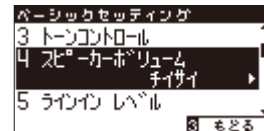
［3:もどる］ボタンを押すとユーザー設定から通常トーンコントロール設定に戻ります。

音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

4 スピーカーボリューム

初期設定は、『ノーマル』になっています。『チイサイ』に設定すると、スピーカーの最大音量が小さくなります。大きな音量が必要ない場合は、この設定にすることで、より細かく音量調整することが可能となります。

1. ベーシックセッティング / スピーカーボリュームの設定に入る

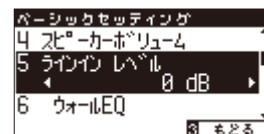
ベーシックセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「スピーカーボリューム」を選びます。

2. ボリュームの設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごとにスピーカーボリュームの「ノーマル / チイサイ」が切り替わります。
選択したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

* ［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、設定した値が初期値に戻ります。
* ［3:もどる］ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

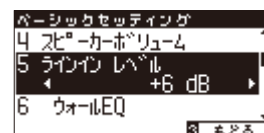
5 ラインイン レベル

［LINE IN］端子の入力レベルを調整することができます。

1. ベーシックセッティング/ラインイン レベルの設定に入る

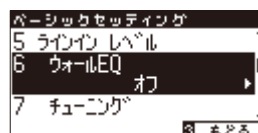
ベーシックセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ラインイン レベル」を選びます。

2. レベルを設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごとに1ずつ値を設定します。
値は「-10 ～ 10dB」の範囲で設定します。

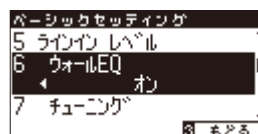
［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、初期設定の値「0」に戻ります。
［3:もどる］を押すと前の画面に戻ります。
音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

6 ウォールEQの設定（CA97のみ）

ウォールEQとは、響板スピーカーを搭載しているCA97のみの設定です。壁際に設置したときに適した音質に設定することができます。

1. ベーシックセッティング / ウォールEQの設定に入る

ベーシックセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ウォールEQ」を選びます。

2. ウォールEQのON / OFFを選択する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごとにウォールEQの「オン / オフ」が切り替わります。

選択したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

* ［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、設定した値が初期値に戻ります。
* ［3:もどる］ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

「オン」の場合
CA97を壁際に設置したときに最適な音質になります。

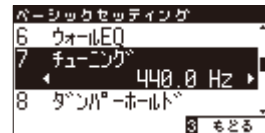
「オフ」の場合
ステージなど、壁のない場所に設置したときに最適な音質になります。

* ヘッドホン使用時にはウォールEQの効果はかかりません。
* この設定はスタートアップセッティングへの保存を推奨します。（P. 68）

7 チューニング

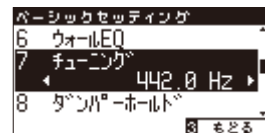
音のピッチ（音程）を調整することができます。合奏のときやCDの再生に合わせて演奏するときなど、音程を合わせたいときに使用します。

1.ベーシックセッティング / チューニングの設定に入る

ベーシックセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「チューニング」を選びます。

* CA67は「6」と表示されます。

2.ピッチを設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごと0.5ずつピッチを設定します。ピッチは427.0〜453.0（Hz）の間で設定します。

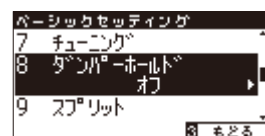
設定が終了したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

* CA67は「6」と表示されます。

* ［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、設定した値が初期値に戻ります。
* ［3:もどる］ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

8 ダンパーホールドのON / OFF

ダンパーホールドとは、ストリングアンサンブルのような持続音色（鍵盤を押しつづけている間鳴りつづける音色）に対して、ダンパーペダルを踏んで鍵盤を弾いたときに鍵盤から手を離した後も音を持続させる機能です。

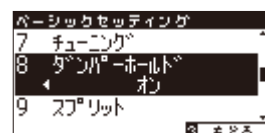
1. ベーシックセッティング / ダンパーホールドのON / OFFの設定に入る

ベーシックセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ダンパーホールド」を選びます。

* CA67は「7」と表示されます。

2. ON / OFFを設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すと「オン / オフ」が表示されます。「オン」か「オフ」を選択したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

オンにするとダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離した後も音が持続します。

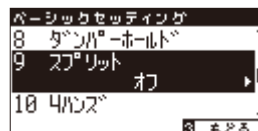
オフにするとダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離した後、音が減衰します。

* CA67は「7」と表示されます。

* ［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、設定した値が初期値に戻ります。
* ［3:もどる］ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

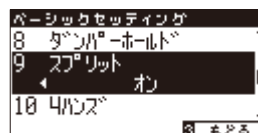
9 スプリットモードを楽しむ

スプリットモード（P. 25）はベーシックセッティングからでも入ることができます。

1. ベーシックセッティング / スプリットモードに入る

ベーシックセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「スプリットモード」を選びます。

* CA67は「8」と表示されます。

2. スプリットモードのON / OFFを切り替える

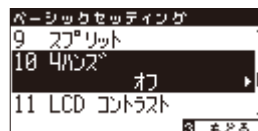
［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごとにスプリットの「オン / オフ」が切り替わります。

* CA67は「8」と表示されます。

* スプリットモードの詳しい説明はP. 26を参照してください。
* ［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、設定した値が初期値に戻ります。
* ［3:もどる］ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

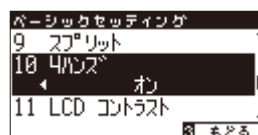
10 4ハンズモードを楽しむ（連弾演奏）

4ハンズモード（P. 28）はベーシックセッティングからでも入ることができます。4ハンズモード中の操作は［SPLIT］ボタンとペダルを使って入ったときと同様です（ただしベーシックセッティングから抜けないと変更できません）。初期設定ではスプリットポイントはF3（ファ）に設定されています。

1. ベーシックセッティング / 4ハンズモードに入る

ベーシックセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「4ハンズ」を選びます。

* CA67は「9」と表示されます。

2. 4ハンズモードのON / OFFを切り替える

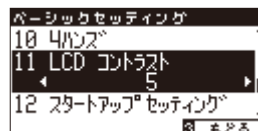
［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごとに4ハンズの「オン / オフ」が切り替わります。

* CA67は「9」と表示されます。

* 4ハンズモードの詳しい説明はP. 29を参照してください。
* ［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、設定した値が初期値に戻ります。
* ［3:もどる］ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

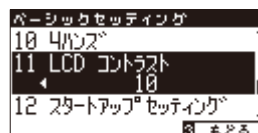
11 LCDコントラスト

ここでは、LCDの明るさ（LCDコントラスト）を調整する方法を説明します。

1. ベーシックセッティング / LCDコントラストの設定に入る

ベーシックセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「LCD コントラスト」を選びます。

* CA67は「10」と表示されます。

2. LCDコントラストを設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごとに1ずつ値を設定します。
値は「0 ～ 10」の範囲で設定します。
音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

* CA67は「10」と表示されます。

* ［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、初期設定の値「5」に戻ります。
* ［3:もどる］ボタンを押すと前の画面に戻ります。

12 スタートアップセッティングの使い方

CA97 / 67は自分の好みの設定を本体に記憶することで、電源を入れ直してもその設定で演奏することができます。その操作をスタートアップセッティングといいます。記憶される内容は以下のとおりです。

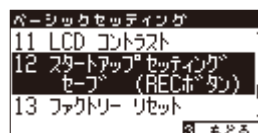
■ スタートアップセッティングに記憶される内容

ベーシックセッティングで設定した内容（オートパワーオフは除く）
コンサートチューナーで設定した内容
ヘッドホンセッティングで設定した内容
デュアル演奏の設定、スプリット演奏の設定、４ハンズモードの設定内容
メトロノームのテンポ、拍子、ボリューム
スタートアップセッティング実行時に選択されている音色
スタートアップセッティング実行時の各音色ボタンで選ばれている音色
スタートアップセッティング実行時の各音色ごとのエフェクトセッティング

1. ベーシックセッティング / スタートアップセッティングに入る

ベーシックセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「スタートアップセッティング」を選びます。

* CA67は「11」と表示されます。

さまざまな設定を操作する

2. スタートアップセッティングを実行する

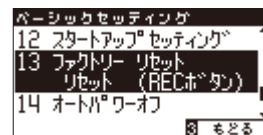
［REC］ボタンを押すとスタートアップセッティングが実行されます。
ディスプレイに「セーブコンプリート」と表示されたら完了です。
音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

* ［3:もどる］ボタンを押すと前の画面に戻ります。

13 ファクトリーリセットの使い方

ファクトリーリセットを行うとスタートアップセッティングで設定した内容を全て消去し、購入時の設定に戻すことができます。

1. ベーシックセッティング / ファクトリーリセットに入る

ベーシックセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ファクトリー リセット」を選びます。

* CA67は「12」と表示されます。

2. ファクトリーリセットを実行する

［REC］ボタンを押すとファクトリーリセットが実行されます。

* レジストレーションの設定を購入時の設定に戻すには…P. 32
* レコーダーのデータを全て消去して購入時の状態に戻すには…P. 50
* ［3:もどる］ボタンを押すと前の画面に戻ります。

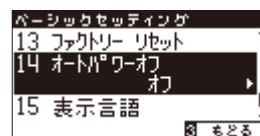
14 オートパワーオフ

CA97 / 67では、何も動作していない状態が続いた場合、電源を自動で切る設定を行うことができます。

■ オートパワーオフの設定内容

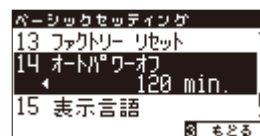
種類	内容
オフ	電源が切れない設定です。初期値はオフに設定されています。
30min	30分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。
60min	60分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。
120min	120分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。

1. ベーシックセッティング / オートパワーオフに入る

ベーシックセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「オートパワーオフ」を選びます。

* CA67は「13」と表示されます。

2. オートパワーオフの設定を行う

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごとに電源設定の内容が切り替わります。

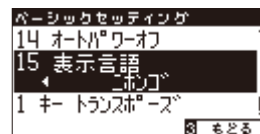
選択したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

* CA67は「13」と表示されます。

* ［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、設定した値が初期値「オフ」に戻ります。
* ［3:もどる］ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

15 表示言語の設定

CA97 / 67はディスプレイに表示される言語を日本語と英語の2言語より選択できます。

1. ベーシックセッティング / 表示言語の設定に入る

ベーシックセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「表示言語」を選びます。

* CA67は「14」と表示されます。

2. 表示言語を選択する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すと言語が切り替わりますので日本語か英語を選びます。

選択したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

* ［3:もどる］ボタンを押すと前の画面に戻ります。

コンサートチューナーについて

ピアノ調律師はアコースティックピアノには欠くことができません。調律師は調律 / 整調 / 整音作業により、ピアニストの趣好に合わせてピアノの調整をします。

コンサートチューナーはこれらの作業を電子的にシミュレートし、演奏者の好みに近いピアノに調整することができます。19項目にも及ぶ調整項目を細かく調整できるだけでなく、調整方法を知らなくてもオススメの19項目の設定を瞬時に行うおまかせ設定もありますので、簡単に様々なピアノ調整を楽しむことが可能です。

また、これらの調整した設定を音色毎に保存することも可能になります。（セーブ機能）

更に、これらの設定は、レジストレーションに記憶することができます。レジストレーションについてはP.30をご参照ください。

コンサートチューナーのおまかせ設定と詳細調整

おまかせ設定	コンサートチューナーの多くの調整機能をあらかじめ組み合わせたオススメのセッティングです。ピアノ調整機能の内容を知らなくてもプリセットを選ぶだけで、ピアノ調整の変化を楽しむことができます。
詳細設定	ハンマー調整や、タッチカーブ調整、ダンパーペダル音調整など、ピアノ調整のディテールを調律師のように調整することができます。

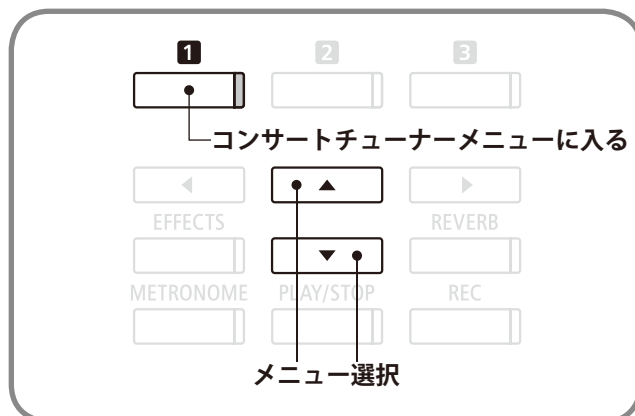
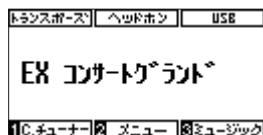
詳細設定の種類と内容、電源ON時の設定

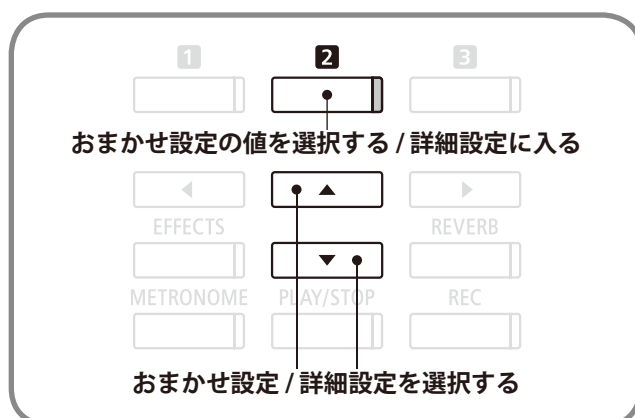
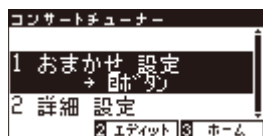
種類	初期設定	効果のかかる音色
1. タッチカーブ	ノーマル	全音色
2. ボイシング	ノーマル	全音色
3. ダンパーレゾナンス	5	ピアノ音色のみ
4. ダンパーノイズ	5	ピアノ音色のみ
5. ストリングレゾナンス	5	ピアノ音色のみ
6. 開放弦レゾナンス	5	ピアノ音色のみ
7. キャビネットレゾナンス	1	ピアノ音色のみ
8. キーオフエフェクト	5	ピアノ音色 クラシック E.ピアノ/60's E.ピアノ/クラシック E.ピアノ 2
9. キーアクションノイズ	5	ピアノ音色 ハープシコード/オクターブハープシコード/ハープシコード 2
10. ハンマーディレイ	オフ	ピアノ音色のみ
11. 大屋根の開閉	オープン3	ピアノ音色のみ
12. ディケイタイム	5	全音色
13. ミニマムタッチ	1	ピアノ音色 クラシック E.ピアノ/60's E.ピアノ/クラシック E.ピアノ 2
14. ストレッチ/ユーザーチューニング	（音色毎に異なる）	全音色
15. 音律の設定	平均律	全音色
16. 音律の主音の設定	C	全音色
17. 88鍵ボリューム	オフ	全音色
18. ハーフペダルポイント	5	全音色
19. ソフトペダルデプス	5	全音色

* スタートアップセッティングを設定した場合は、その設定にしたがいます。

コンサートチューナーについて

コンサートチューナー　おまかせ設定 / 詳細設定を選択する

ホーム画面で［1:Cチューナー］ボタンを押してコンサートチューナーメニューに入ります。

おまかせ設定を選択するには［UP / DOWN］ボタン押して「おまかせ設定」を選択し、［2:エディット］ボタンでおまかせ設定の値を選択します。

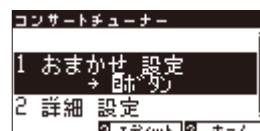
詳細設定を選択するには［UP / DOWN］ボタン押して「詳細設定」を選択し、［2:エディット］ボタンを押し詳細設定に入ります。

* ホーム画面（P. 13）上で［1:Cチューナー］ボタンを長押しすることで、詳細設定画面に行くことも可能です。
* ファンクションメニューから「2. コンサートチューナー」を選択すると、詳細設定画面に入ります。

コンサートチューナー / おまかせ設定

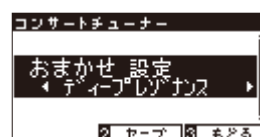
おまかせ設定を選ぶ

　コンサートチューナーの「おまかせ設定」を選ぶことで、細かい調整内容を知らなくても、簡単に様々なピアノ調整を楽しむことができます。

1. コンサートチューナー / おまかせ設定を選ぶ

　ホーム画面で［1:Cチューナー］ボタンを押してコンサートチューナーメニューに入ります。［UP / DOWN］ボタンを押すと、おまかせ設定と詳細設定を選択できますので、「おまかせ設定」を選択し、［LEFT / RIGHT］ボタンでおまかせ設定の値を選択します。

*ファンクションメニューから「2.コンサートチューナー」を選択した場合には、おまかせ設定には入りません。ホーム画面から［1:Cチューナー］ボタンを押した場合のみ、おまかせ設定 / 詳細設定を選択することができます。

2. コンサートチューナー / おまかせ設定のヘルプを表示する

　［1:ヘルプ］ボタンを押すと、おまかせ設定の内容が表示されます。

　［3:もどる］ボタンを押すと、プリセット選択画面に戻ります。

3. コンサートチューナー / おまかせ設定を保存する

　［2:セーブ］ボタンを押すと、選択したおまかせ設定が現在の音色に保存されます。再起動した後その音色を選択すると保存したおまかせ設定が選択されます。

コンサートチューナー / 詳細設定

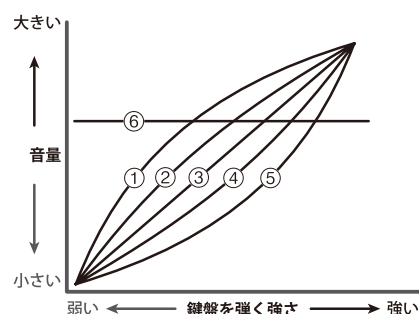
1-1 タッチカーブ

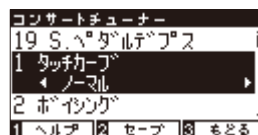
　ピアノでは鍵盤を弾く力をだんだん強くしていくと、音量もだんだん大きくなっていきます。この鍵盤を弾く強さと音量との関係を表したものをタッチカーブと呼びます。

　CA97 / 67では、6種類のタッチカーブに加え、演奏する人の力に最も適したタッチカーブを作るユーザータッチカーブ作成機能を搭載しています。

タッチカーブの種類

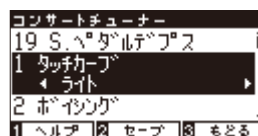
種類	効果
①ライト＋	弱いタッチで弾いても大きな音がでます。
②ライト	小さなお子様や、オルガンプレーヤー向きのタッチカーブです。
③ノーマル	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
④ヘビー	強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。
⑤ヘビー＋	指の力の強い人向きのタッチカーブです。
⑥オフ	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。
ユーザー	ユーザーが入力したタッチによりタッチカーブが作成されます。

大きい
音量
小さい
⑥
① ② ③ ④ ⑤
弱い ← 鍵盤を弾く強さ → 強い

1. コンサートチューナー / タッチカーブに入る

　コンサートチューナーに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「タッチカーブ」を選びます。

2. タッチカーブの種類を選択する

　［LEFT / RIGHT］ボタンを押すとタッチカーブの種類が切り替わります。

　選択したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

　ユーザーを選択した場合は次のページに続きます。

3. タッチカーブの値を音色に保存する

　［2:セーブ］ボタンを押すと、選択されているタッチカーブの値が音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると保存されたタッチカーブの状態が設定されます。

* タッチカーブは全音色に効果があります。

* ［1:ヘルプ］ボタンを押すと、ヘルプを表示します。

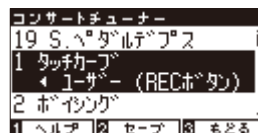
* ［3:もどる］ボタンで、前の画面に戻ります。

1-2 ユーザータッチカーブの作成

ユーザータッチカーブ作成機能とは、ユーザーの鍵盤を弾く指の力に合わせて、自動的にタッチカーブを作成する機能です。

1. ユーザータッチカーブ作成モードに入る

（前ページ2.からの続き）

ユーザータッチカーブを作成する場合は、ユーザーを表示させ、[REC] ボタンを押します。

2. ユーザータッチカーブを作成する

演奏します。このとき適当な鍵盤を使って弱打から強打まで弾いてください。

演奏が終わりましたら、[PLAY / STOP] ボタンを押します。「アナライズコンプリート」と画面に表示されたら作成完了です。

音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

* [3:もどる] ボタンを押すと前の画面に戻ります。

3. ユーザータッチカーブの値を音色に保存する

[2:セーブ] ボタンを押すと、設定したユーザータッチカーブの値が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると保存されたユーザータッチカーブの値が反映されます。

2-1 ボイシング

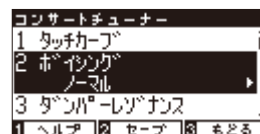
アコースティックピアノにおける、弦を叩くハンマーの状態をシミュレートしたもので、7種類のハンマータイプが選べます。

* 任意の鍵盤だけにボイシングを行うこと（88鍵ボイシング）も可能です。

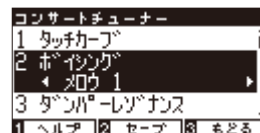
ハンマーの状態の種類

種類	効果
ノーマル	通常の設定です。
メロウ1	やわらかめのハンマーをシミュレートしたソフトな音色になります。
メロウ2	メロウ1よりやわらかなハンマーをシミュレートした音色になります。
ダイナミック	タッチの強弱に応じてソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。
ブライト1	硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。
ブライト2	ブライト1より硬めのハンマーをシミュレートした音色になります。
ユーザー	任意の鍵盤に対してボイシング調整が可能になります。

1. コンサートチューナー / ボイシングに入る

コンサートチューナーに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ボイシング」を選びます。

2. ボイシングの種類を選択する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すとボイシングの種類が切り替わります。

選択したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

* ［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと初期設定の値「ノーマル」にもどります。

3. ボイシングの設定を音色に保存する

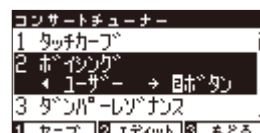
［2:セーブ］ボタンを押すと、選択されているボイシングの値が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたタッチカーブの値が反映されます。

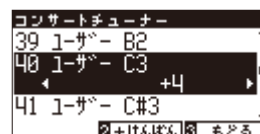
* ボイシングは全音色に効果があります。
* ［1:ヘルプ］ボタンを押すと、ヘルプを表示します。

2-2 ユーザーボイシング（88鍵ボイシング）

任意の鍵盤に対してボイシング調整が可能になります。

1.ユーザーボイシングの設定に入る

ユーザーボイシングを設定する場合は、ボイシングでユーザーを表示させ、［2:エディット］ボタンを押します。

2.ユーザーボイシングを調整する

［UP / DOWN］ボタンを押すごとにチューニングする鍵盤を指定できます。［LEFT / RIGHT］ボタンを押すとボイシング調整値を選択できます。

値の範囲は-5〜+5です。「-5」がもっともメロウなボイシング、「+5」がもっともブライトなボイシング設定になります。

［2:+けんばん］ボタンを押しながら鍵盤を押して指定することもできます。
［1:ヘルプ］ボタンを押すとヘルプ画面を表示します。
［3:もどる］を押すと前の画面に戻ります。

音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

* ユーザーチューニングはピアノ音色のみに効果があります。

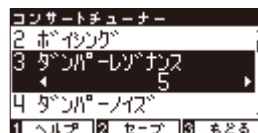
3. ユーザーボイシングの設定を音色に保存する

［2:セーブ］ボタンを押すと、設定したユーザーボイシングの値が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると保存したユーザーボイシングが反映されます。

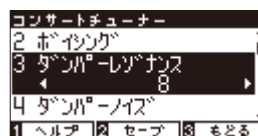
3 ダンパーレゾナンス

ダンパーペダル（P. 15参照）を踏んだときのピアノ全体の共鳴効果をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を設定することができます。

1. コンサートチューナー / ダンパーレゾナンスに入る

コンサートチューナーに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ダンパーレゾナンス」を選びます。

2. ダンパーレゾナンスの値を設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押してダンパーレゾナンスの値を設定します。

値は1～10、またはオフがあります。「1」がもっとも弱く、「10」がもっとも強く響きます。「オフ」の場合は共鳴音はありません。

値を設定したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

3. ダンパーレゾナンスの値を音色に保存する

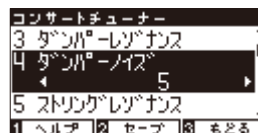
［2:セーブ］ボタンを押すと、選択されているダンパーレゾナンスの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたダンパーレゾナンスの値が反映されます。

*ダンパーレゾナンスはピアノ音色のみに効果があります。
*［1:ヘルプ］ボタンを押すと、ヘルプを表示します。
*［3:もどる］ボタンで、前の画面に戻ります。

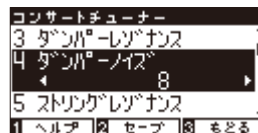
4 ダンパーノイズ

ダンパーペダルを踏んだときと、離したとき、ダンパーヘッドが弦に触れたり、離れたりする際のノイズ音が発生します。このノイズの音量を調整します。

1. コンサートチューナー / ダンパーノイズの設定に入る

コンサートチューナーに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ダンパーノイズ」を選びます。

2. ダンパーノイズを設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごとに1ずつ値を設定します。

値は1 ～ 10、またはオフがあります。「1」がもっとも小さく、「10」がもっとも大きくなります。「オフ」の場合はダンパーノイズは鳴りません。

音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

3. ダンパーノイズの値を音色に保存する

［2:セーブ］ボタンを押すと、選択されているダンパーノイズの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたダンパーノイズの値が反映されます。

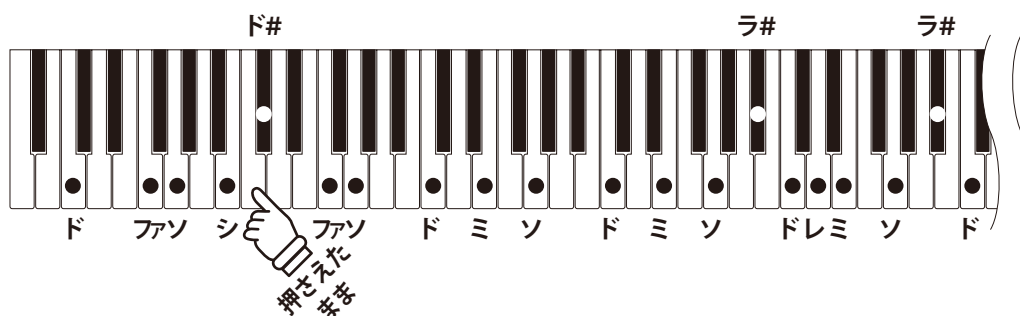
* ダンパーノイズはピアノ音色のみに効果があります。
* ［1:ヘルプ］ボタンを押すと、ヘルプを表示します。
* ［3:もどる］ボタンで、前の画面に戻ります。

5 ストリングレゾナンス

ピアノの弦の共鳴効果（ストリングレゾナンス）をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を好みに合わせて変更することができます。

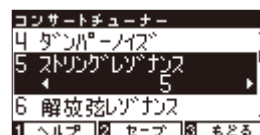
ストリングレゾナンスとは？

ピアノは各鍵盤毎に弦が張られています。ある鍵盤を押さえた状態で他の鍵盤を弾くと、2つの鍵盤の音程の関係によって弦の共鳴が発生して音が出ます。これが「ストリングレゾナンス」です。

例えばドの鍵盤を押さえたままの時、下図の鍵盤を弾くとドの鍵盤の弦が共鳴して音が出ます。ドの鍵盤をそっと押さえたままにして下図の鍵盤を弾いてすぐに止めると共鳴音が鳴っていることが良くわかります。

ピアノではある鍵盤を押さえたままにして隣の鍵盤を弾くと振動が伝わっておさえていた弦が共鳴して音が出ます。CA97 / 67ではこの現象もシミュレートしています。

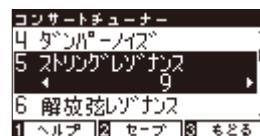
ダンパーペダルを踏んだまま弾いた場合はストリングレゾナンス効果はありません。

1. コンサートチューナー / ストリングレゾナンスに入る

コンサートチューナーに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ストリングレゾナンス」を選びます。

2.ストリングレゾナンスの値を設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押してストリングレゾナンスの値を設定します。

値は1 ～ 10、またはオフがあります。「1」がもっとも小さく、「10」がもっとも大きく鳴ります。「オフ」の場合は弦の共鳴音はありません。

値を設定したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

3. ストリングレゾナンスの値を音色に保存する

［2:セーブ］ボタンを押すと、選択されているストリングレゾナンスの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたストリングレゾナンスの値が反映されます。

* ストリングレゾナンスはピアノ音色のみに効果があります。

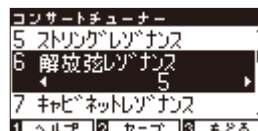
* ［1:ヘルプ］ボタンを押すと、ヘルプを表示します。

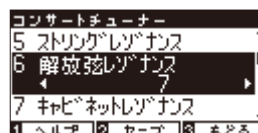
* ［3:もどる］ボタンで、前の画面に戻ります。

6 開放弦レゾナンス

グランドピアノの高音部はダンパーが付いておらず、その高音部の弦はダンパーペダルを踏む/踏まないに関わらず常に開放されている状態となっています。開放弦レゾナンスは、その常に開放されている高音部の弦共鳴をシミュレートします。

1. コンサートチューナー / 開放弦レゾナンスに入る

コンサートチューナーに入り［UP / DOWN］ボタンを押すと、メニューが切り替わりますので、「開放弦レゾナンス」を選びます。

2. 開放弦レゾナンスの値を設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押して開放弦レゾナンスの値を設定します。

値は1〜10、またはオフがあります。「1」がもっとも弱く「10」がもっとも強く鳴ります。

値を設定したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

* ［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと初期設定の値「5」にもどります。

3. 開放弦レゾナンスの値を音色に保存する

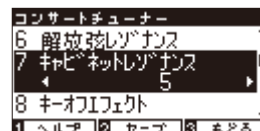
［2:セーブ］ボタンを押すと、選択されている開放弦レゾナンスの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択された開放弦レゾナンスの値が反映されます。

* 開放弦レゾナンスはピアノ音色のみに効果があります。
* ［1:ヘルプ］ボタンを押すと、ヘルプを表示します。
* ［3:もどる］ボタンで、前の画面に戻ります。

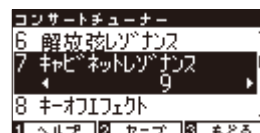
7 キャビネットレゾナンス

キャビネットレゾナンスはグランドピアノの筐体そのものの余韻をシミュレートします。

1. コンサートチューナー / キャビネットレゾナンスに入る

コンサートチューナーに入り［UP / DOWN］ボタンを押すと、メニューが切り替わりますので、「キャビネットレゾナンス」を選びます。

2. キャビネットレゾナンスの値を設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押してキャビネットレゾナンスの値を設定します。

値は1〜10、またはオフがあります。「1」がもっとも弱く「10」がもっとも強く鳴ります。

値を設定したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

* ［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと初期設定の値「0」にもどります。

3. キャビネットレゾナンスの値を音色に保存する

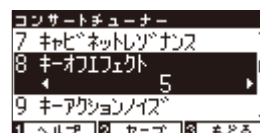
［2:セーブ］ボタンを押すと、選択されているキャビネットレゾナンスの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたキャビネットレゾナンスの値が反映されます。

* キャビネットレゾナンスはピアノ音色のみに効果があります。
* ［1:ヘルプ］ボタンを押すと、ヘルプを表示します。
* ［3:もどる］ボタンで、前の画面に戻ります。

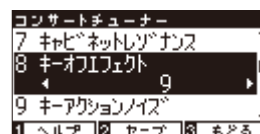
8 キーオフエフェクト

特に低音でピアノの鍵盤を強く弾いてから離したときに、音が止まる直前にダンパーが弦に触れる音をシミュレートしたもので、この音量をお好みに合わせて調整することができます。

1. コンサートチューナー / キーオフエフェクトに入る

コンサートチューナーに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「キーオフエフェクト」を選びます。

2. キーオフエフェクトの値を設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押してキーオフエフェクトの値を設定します。

値は1～10、またはオフがあります。「1」がもっとも弱く、「10」がもっとも強く鳴ります。「オフ」の場合効果はありません。

値を設定したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

3. キーオフエフェクトの値を音色に保存する

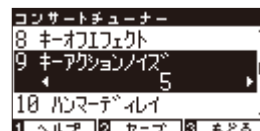
［2:セーブ］ボタンを押すと、選択されているキーオフエフェクトの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたキーオフエフェクトの値が反映されます。

* キーオフエフェクトはピアノ音色、クラシック E.ピアノ、60's E.ピアノ、クラシック E.ピアノ2にのみに効果があります。
* ［1:ヘルプ］ボタンを押すと、ヘルプを表示します。
* ［3:もどる］ボタンで、前の画面に戻ります。

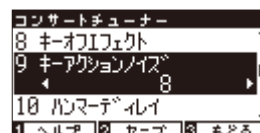
9 キーアクションノイズ

ピアノでは、鍵盤を離した際に鍵盤アクションも同時に戻りますが、この際に鍵盤アクションからノイズ音が発生します。キーアクションノイズはこのノイズ音をシミュレートしたもので、このノイズの音量を設定することができます。

1. コンサートチューナー / キーアクションノイズの設定に入る

コンサートチューナーに入り[UP / DOWN]ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「キーアクションノイズ」を選びます。

2. キーアクションノイズを設定する

[LEFT / RIGHT]ボタンを押すごとに1ずつ値を設定します。

値は1 ～ 10、またはオフがあります。「1」がもっとも小さく、「10」がもっとも大きくなります。「オフ」の場合はキーアクションノイズは鳴りません。

音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

3. キーアクションノイズの値を音色に保存する

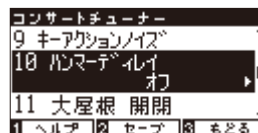
[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されているキーアクションノイズの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたキーアクションノイズの値が反映されます。

* キーアクションノイズはピアノ音色、ハープシコード、オクターブハープシコード、ハープシコード2に効果があります。
* [1:ヘルプ]ボタンを押すと、ヘルプを表示します。
* [3:もどる]ボタンで、前の画面に戻ります。

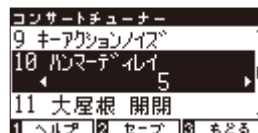
10 ハンマーディレイ

ピアノでは、ピアニシモ（最弱打）で弾いた際、ハンマーが弦を叩くタイミングがわずかに遅くなります。ハンマーディレイはこのハンマーの遅れをシミュレートしたもので、演奏しやすいタイミングに調整することができます。

1. コンサートチューナー / ハンマーディレイの設定に入る

コンサートチューナーに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ハンマーディレイ」を選びます。

2. ハンマーディレイを設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごとに1ずつ値を設定します。

値は1 ～ 10、またはオフがあります。「1」がもっともハンマー遅れが小さく、「10」がもっともハンマー遅れが大きくなります。「オフ」の場合はハンマーディレイは発生しません。

音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

3. ハンマーディレイの値を音色に保存する

［2:セーブ］ボタンを押すと、選択されているハンマーディレイの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたハンマーディレイの値が反映されます。

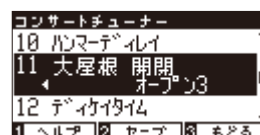
* ハンマーディレイはピアノ音色のみに効果があります。
* ［1:ヘルプ］ボタンを押すと、ヘルプを表示します。
* ［3:もどる］ボタンで、前の画面に戻ります。

11 大屋根の開閉

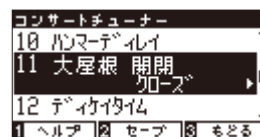
グランドピアノの大屋根の開き具合による音の違いをシミュレートします。

種類	効果
オープン3	大屋根を一番開いた状態を再現します。
オープン2	大屋根を中程度開いた状態を再現します。
オープン1	大屋根を少し開いた状態を再現します。
クローズ	大屋根を閉じた状態を再現します。

1. コンサートチューナー / 大屋根の開閉設定に入る

コンサートチューナーに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「大屋根 開閉」を選びます。

2. 大屋根の開閉を設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごとに大屋根の状態を設定します。

音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

3. 大屋根の開閉の値を音色に保存する

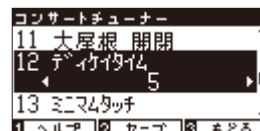
［2:セーブ］ボタンを押すと、選択されている大屋根の開閉の状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択された大屋根の開閉の値が反映されます。

* 大屋根の開閉はピアノ音色のみに効果があります。
* ［1:ヘルプ］ボタンを押すと、ヘルプを表示します。
* ［3:もどる］ボタンで、前の画面に戻ります。

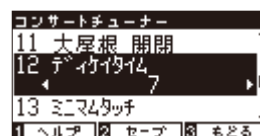
12 ディケイタイム

鍵盤を弾いたあとの音の減衰の長さを調整します。

1. コンサートチューナー / ディケイタイムの設定に入る

コンサートチューナーに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ディケイタイム」を選びます。

2. ディケイタイムを設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごとに1ずつ値を設定します。

値は1 ～ 10があります。「1」がもっとも減衰が短く、「10」がもっとも減衰が長くなります。

音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

3. ディケイタイムの値を音色に保存する

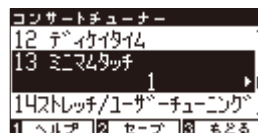
［2:セーブ］ボタンを押すと、選択されているディケイタイムの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたディケイタイムの値が反映されます。

* ディケイタイムは全音色に効果があります。
* ［1:ヘルプ］ボタンを押すと、ヘルプを表示します。
* ［3:もどる］ボタンで、前の画面に戻ります。

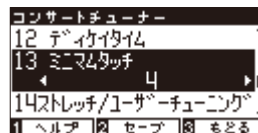
13 ミニマムタッチ

ピアノによって、一番小さい音が出るタッチの強さは異なります。ミニマムタッチは、この一番小さい音が出るタッチの強さを設定することができます。

1. コンサートチューナー / ミニマムタッチの設定に入る

コンサートチューナーに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ミニマムタッチ」を選びます。

2. ミニマムタッチを設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごとに1ずつ値を設定します。

値は1 ～ 20があります。「1」がもっともミニマムタッチが小さく、非常に弱いタッチでも音がでます。「20」がもっともミニマムタッチが大きくなり、非常に弱いタッチだと音が出なくなります。

音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

3. ミニマムタッチの値を音色に保存する

［2:セーブ］ボタンを押すと、選択されているミニマムタッチの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたミニマムタッチの値が反映されます。

* ミニマムタッチはピアノ音色、クラシック E.ピアノ、60's E.ピアノ、クラシック E.ピアノ2に効果があります。
* ［1:ヘルプ］ボタンを押すと、ヘルプを表示します。
* ［3:もどる］ボタンで、前の画面に戻ります。

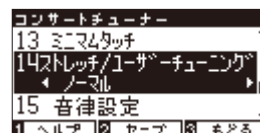
14-1 ストレッチチューニング

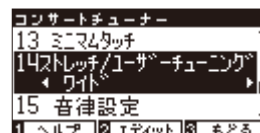
ストレッチチューニングとは通常の平均律に比べ低音側は低く、高音側は高くするピアノ特有の調律のことです。CA97 / 67は2種類のストレッチチューニングから選ぶことができます。この機能は音律の設定（P. 91）で平均律が選ばれているときのみ有効な機能です。

■ストレッチチューニングの種類

名称	説明
オフ	通常の平均律のチューニングそのままの状態です。
ノーマル	通常の平均律に比べ低音側は低く、高音側は高くなります。
ワイド	通常の平均律に比べ低音側はより低く、高音側はより高くなります。
ユーザー	1鍵1鍵ごとにチューニングを設定できます。

1. コンサートチューナー / ストレッチチューニングに入る

コンサートチューナーに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ストレッチ/ユーザーチューニング」を選びます。

2. お好みのストレッチチューニングを選択する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押し、「オフ」、「ノーマル」、「ワイド」の中からお好みのストレッチチューニングを選択します。

選択後、音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

3. ストレッチチューニングの値を音色に保存する

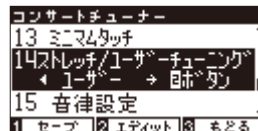
［2:セーブ］ボタンを押すと、選択されているストレッチチューニングの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたストレッチチューニングの値が反映されます。

* ストレッチチューニングの設定は全音色に効果があります。
* ［1:ヘルプ］ボタンを押すと、ヘルプを表示します。
* ［3:もどる］ボタンで、前の画面に戻ります。

14-2 ユーザーチューニング（88鍵チューニング）の設定

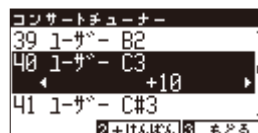
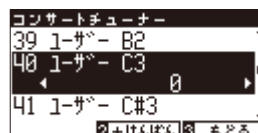
ユーザーチューニングでは、88個の鍵盤それぞれのチューニングを行うことができます。

1. ユーザーチューニングの設定に入る

ユーザーチューニングを設定する場合は、ストレッチ / ユーザーチューニングでユーザーを表示させ、[2:エディット]ボタンを押します。

2. ユーザーチューニングを設定する

[UP / DOWN]ボタンを押すごとにチューニングする鍵盤を指定できます。[LEFT / RIGHT]ボタンを押すとセント値が-50～+50まで設定できます。

[2:+けんばん]ボタンを押しながら鍵盤を押して指定することもできます。

[LEFT / RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定の値に戻ります。
[3:もどる]ボタンを押すと前の画面に戻ります。
音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

3. ユーザーチューニングの設定を音色に保存する

[2:セーブ]ボタンを押すと、設定したユーザーチューニングの値が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると保存したユーザーチューニングが反映されます。

* ユーザーチューニングは全音色に効果があります。
* [1:ヘルプ]ボタンを押すと、ヘルプを表示します。
* [3:もどる]ボタンで、前の画面に戻ります。

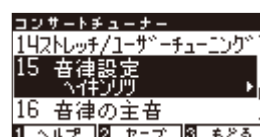
15-1 音律の設定

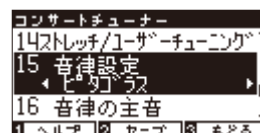
CA97 / 67ではピアノの調律法として、最も一般的な平均律だけでなく、ルネッサンス、バロック等の時代に用いられた古典音律にも設定することができます。

音律の種類

音律名	音律の説明
平均律 （Equal）	平均律です。どのように移調しても和音の響きが変らないという特徴があります。
純正律〈長調/短調〉 （Pure Major/minor）	3度と5度のうなりをなくした調律法で、合唱音楽では現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。 純正律は、長調と短調で異なります。長調と同様の効果を短調でも得られます。
ピタゴラス音律 （Pythagorean）	5度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特徴です。
中全音律 （Meantone）	3度のうなりをなくした調律法で純正律の特徴の5度が著しく不協和であることを改良したもので、平均律よりも和音が美しく響きます。
ヴェルクマイスター第Ⅲ法 （Werkmeister） キルンベルガー第Ⅲ法 （Kirnberger）	調号の少ない調は、和音の美しい中全音律に近く、調号が増えるに従って、緊張感が高く、メロディーが美しいピタゴラス音律に近づけていくもので、古典音楽の作曲家の意図した“調性の性格”を反映することのできる調律法です。
ユーザー音律 （USER）	オリジナルの音律を設定できます。

1. コンサートチューナー / 音律の設定に入る

コンサートチューナーに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「音律設定」を選びます。

2. 音律を選択する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すと音律の種類が切り替わります。
選択したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。
ユーザーを選択した場合は次のページに続きます。

3. 音律の値を音色に保存する

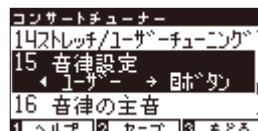
［2:セーブ］ボタンを押すと、選択されている音律の状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択された音律の値が反映されます。

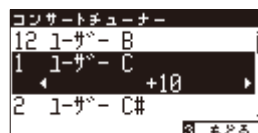
* 音律の設定は全音色に効果があります。
* ［1:ヘルプ］ボタンを押すと、ヘルプを表示します。
* ［3:もどる］ボタンで、前の画面に戻ります。

15-2 ユーザー音律の設定

ユーザー音律では各音のセント値（100セント＝半音）が設定できます。

1. ユーザー音律設定モードに入る

（前ページ2.からの続き）
ユーザー音律を設定する場合は、ユーザーを表示させ、［2:エディット］ボタンを押します。

2. 音律のセント値を調整する

［UP / DOWN］ボタンを押すと各音が切り替わります。
［LEFT / RIGHT］ボタンを押すとセント値が-50 〜 +100まで設定できます。

3. ユーザー音律の設定を音色に保存する

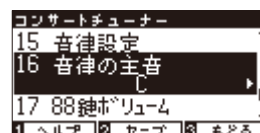
［2:セーブ］ボタンを押すと、設定したユーザー音律の値が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると保存したユーザー音律が反映されます。

* ユーザー音律は全音色に効果があります。
* ［1:ヘルプ］ボタンを押すと、ヘルプを表示します。
* ［3:もどる］ボタンで、前の画面に戻ります。

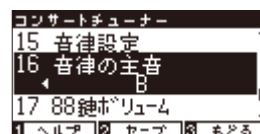
16 音律の主音の設定

平均律以外の音律は調号に合わせた音律ですので、音律の主音を設定します。
演奏する曲の調号に合わせます

1. コンサートチューナー / 音律の主音の設定に入る

コンサートチューナーに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「音律の主音」を選びます。

2. 主音を選択する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すと主音を「C 〜 B」の間で設定できます。

平均律（フラット）を選択している場合は主音の設定をしても変化はありません。

3. 音律の主音の設定の値を音色に保存する

［2:セーブ］ボタンを押すと、選択されている音律の主音の設定の状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択された音律の主音の設定の値が反映されます。

* 音律の主音の設定は全音色に効果があります。
* ［1:ヘルプ］ボタンを押すと、ヘルプを表示します。
* ［3:もどる］ボタンで、前の画面に戻ります。

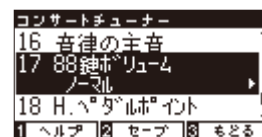
17-1 88鍵ボリューム

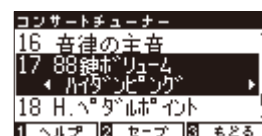
ピアノでは、鍵盤によって音量が異なります。これを88鍵ボリュームと呼びます。CA97 / 67では、4種類の88鍵ボリュームに加え、演奏する人の好みに88鍵それぞれの音量を調整できるユーザー88鍵ボリュームを搭載しています。

■ 88鍵ボリュームの種類

名称	説明
オフ	通常の状態です。
ハイダンピング	上の音域に行くにしたがって、音量が次第に減少します。
ローダンピング	下の音域に行くにしたがって、音量が次第に減少します。
ハイ＆ローダンピング	上と下の音域に行くにしたがって、音量が次第に減少します。
センターダンピング	中央の鍵盤の音量が次第に減少します。
ユーザー	88鍵それぞれの音量をお好みに調整できます。

1. コンサートチューナー / 88鍵ボリュームの設定に入る

コンサートチューナーに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「88鍵ボリューム」を選びます。

2. 88鍵ボリュームを選択する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すと88鍵ボリュームの種類が切り替わります。

* ［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと初期設定の値「オフ」にもどります。

3. 88鍵ボリュームの値を音色に保存する

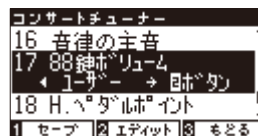
［2:セーブ］ボタンを押すと、選択されている88鍵ボリュームの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択された88鍵ボリュームの値が反映されます。

* 88鍵ボリュームは全音色に効果があります。
* ［1:ヘルプ］ボタンを押すと、ヘルプを表示します。
* ［3:もどる］ボタンで、前の画面に戻ります。

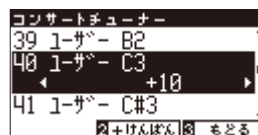
17-2 ユーザー88鍵ボリュームを設定する

1. ユーザー88鍵ボリュームの設定モードに入る

（前ページ2.からの続き）

ユーザー88鍵ボリュームを作成する場合は、ユーザーを表示させ［2:エディット］ボタンを押します。

2. ユーザー88鍵ボリュームを設定する

［UP / DOWN］ボタンを押すごとに各鍵盤を指定できます。

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すとボリューム値が-50 〜 +50まで設定できます。

［2:+けんばん］ボタンを押しながら鍵盤を押して指定することもできます。

3. ユーザー88鍵ボリュームの設定を音色に保存する

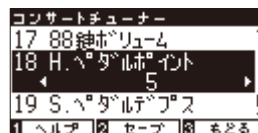
［2:セーブ］ボタンを押すと、設定したユーザー88鍵ボリュームの値が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると保存したユーザー88鍵ボリュームが反映されます。

* 88鍵ボリュームは全音色に効果があります。
* ［1:ヘルプ］ボタンを押すと、ヘルプを表示します。
* ［3:もどる］ボタンで、前の画面に戻ります。

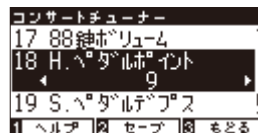
18 ハーフペダルポイント

ハーフペダルポイントでは、ダンパーペダルにおいてハーフペダルが掛かり始めるポイント（音が伸び始めるポイント）を調整することができます。

1. コンサートチューナー / ハーフペダルポイントの設定に入る

コンサートチューナーに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「H.ペダルポイント」を選びます。

2. ハーフペダルポイントを設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごとに1ずつ値を設定します。

値は1 ～ 10があります。「1」がもっともハーフペダルスタートが早く、「10」がもっとも遅くなります。

［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと初期設定の値「5」に戻ります。

3. ハーフペダルポイントの値を音色に保存する

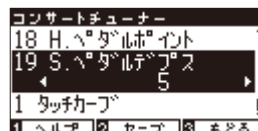
［2:セーブ］ボタンを押すと、選択されているハーフペダルポイントの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたハーフペダルポイントの値が反映されます。

* ハーフペダルポイントは全音色に効果があります。
* ［1:ヘルプ］ボタンを押すと、ヘルプを表示します。
* ［3:もどる］ボタンで、前の画面に戻ります。

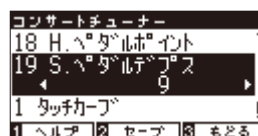
19 ソフトペダルデプス

ソフトペダルデプスでは、ソフトペダルにおいてソフトペダルの効き具合を調整することができます。

1. コンサートチューナー / ソフトペダルデプスの設定に入る

コンサートチューナーに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「S.ペダルデプス」を選びます。

2. ソフトペダルデプスを設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごとに1ずつ値を設定します。

値は1 ～10があります。「1」がもっともソフトペダルの効きが弱く、「10」がもっとも強くなります。

［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと初期設定の値「5」に戻ります。

3. ソフトペダルデプスの値を音色に保存する

［2:セーブ］ボタンを押すと、選択されているソフトペダルデプスの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたソフトペダルデプスの値が反映されます。

* ソフトペダルデプスは全音色に効果があります。
* ［1:ヘルプ］ボタンを押すと、ヘルプを表示します。
* ［3:もどる］ボタンで、前の画面に戻ります。

ヘッドホンセッティングについて

ヘッドホンセッティングでは、ヘッドホンに関係する設定を調整します。

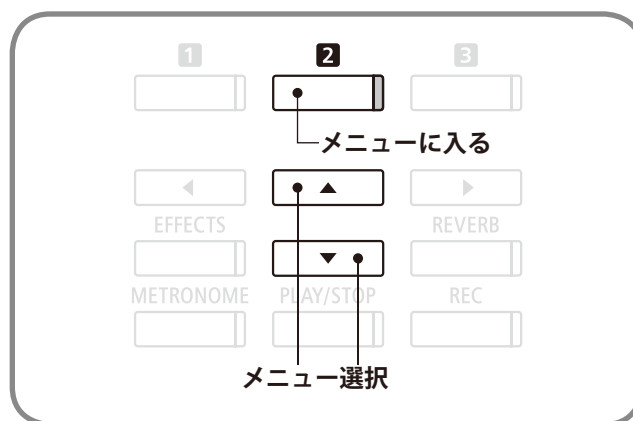
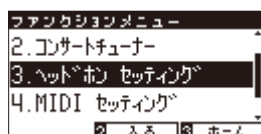
■ヘッドホンセッティングの種類

名称	初期設定
スペイシャルヘッドホンサウンド	ノーマル
ヘッドホンタイプ	ノーマル
ヘッドホン音量	ノーマル

■ヘッドホンセッティングに入る

［2:メニュー］ボタンを押して設定メニューに入ります。［UP / DOWN］ボタンを押すごとにメニューが切り替わりますので、「ヘッドホン セッティング」を選んで［2:入る］ボタンを押します。

ヘッドホンセッティングに入った後［3:もどる］ボタンを押すと、設定メニュー選択画面に戻ります。

さまざまな設定を操作する

ヘッドホンセッティング

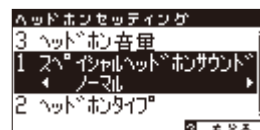
1 スペイシャルヘッドホンサウンド

イヤホンやヘッドホンでの演奏をより快適にするために、まるでアコースティックピアノから音が出ているような立体感/臨場感のあるサウンドを再現するのが「スペイシャルヘッドホンサウンド」です。ヘッドホンやイヤホンを装着していても聴感上の違和感が少なく長時間でも疲れにくい演奏が可能になります。

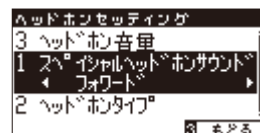
■ スペイシャルヘッドホンサウンドの種類

名称	説明
オフ	効果をかけない状態です。
フォワード	前方への定位を強調した立体感が得られます。
ノーマル	全方向バランスのとれた立体感が得られます。
ワイド	左右の広がりを強調した立体感が得られます。

1. ヘッドホンセッティング / スペイシャルヘッドホンサウンドに入る

ヘッドホンセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが変わりますので、「スペイシャルヘッドホンサウンド」を選びます。

2. スペイシャルヘッドホンサウンドを設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごとにスペイシャルヘッドホンサウンドの値「オフ / フォワード / ノーマル / ワイド」が切り替わります。

選択したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

* ［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、設定した値が初期値「ノーマル」に戻ります。

* ［3:もどる］ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

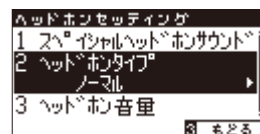
2 ヘッドホンタイプ

世の中には色々なイヤホンやヘッドホンが存在しています。ヘッドホンには大きく分けて"オープンタイプ / クローズタイプ / セミオープンタイプ / インナーイヤー / カナル"という5つのタイプがあります。CA97 / 67では、これら3つのタイプそれぞれの特徴に合わせた専用の設定を内蔵していますので、あなたの持っているヘッドホンに最適な音で演奏することが可能です。

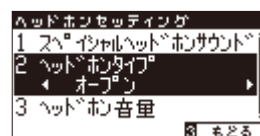
ヘッドホンタイプの種類

名称	説明
ノーマル	ヘッドホン専用の設定がされていない状態です。
オープン	オープン（開放）タイプのヘッドホンに適した設定です。
セミオープン	セミオープン（半開放）タイプのヘッドホンに適した設定です。
クローズ	クローズ（密閉）タイプのヘッドホンに適した設定です。
インナーイヤー	インナーイヤータイプのヘッドホンに適した設定です。
カナル	カナルタイプのヘッドホンに適した設定です。

1. ヘッドホンセッティング / ヘッドホンタイプに入る

ヘッドホンセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが変わりますので、「ヘッドホンタイプ」を選びます。

2. ヘッドホンタイプを設定する

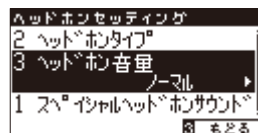
［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごとにヘッドホンタイプの値が切り替わります。

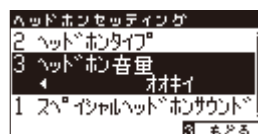
選択したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

* ［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、設定した値が初期値に戻ります。
* ［3:もどる］ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

3 ヘッドホン音量

初期設定は、「ノーマル」になっています。「オオキイ」に設定にすると、ヘッドホンの最大音量が大きくなります。音量の小さいヘッドホンを使用するときなどに有効です。

1. ヘッドホンセッティング / ヘッドホン音量の設定に入る

ヘッドホンセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ヘッドホン音量」を選びます。

2. ボリュームの設定をする

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すごとにヘッドホン音量の「ノーマル / オオキイ」が切り替わります。

* ［LEFT / RIGHT］ボタンを同時に押すと、設定した値が初期値に戻ります。
* ［3:もどる］ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

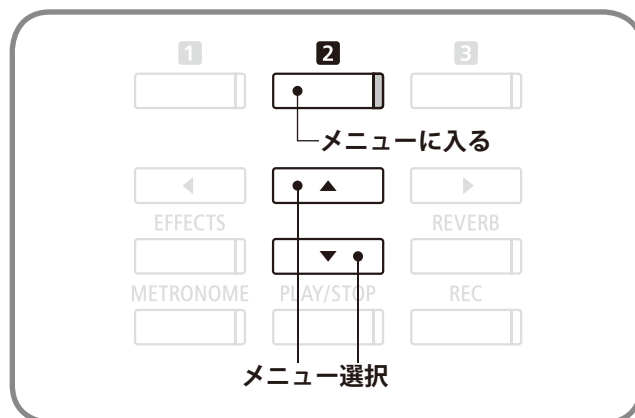
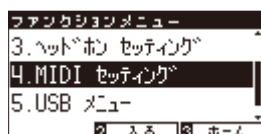
ヘッドホンを大音量で長時間使用すると、聴力低下の原因になる恐れがありますのでご注意ください。

MIDIについて

MIDI（ミディ）とは、Musical Instrument Digital Interface の略称で、シンセサイザーやシーケンサーなどの電子楽器間を接続しお互いの情報をやりとりするするための世界統一規格です。

MIDIセッティングへ入る

［2:メニュー］ボタンを押して設定メニューに入ります。［UP / DOWN］ボタンを押すごとにメニューが切り替わりますので、「MIDI セッティング」を選んで［2:入る］ボタンを押します。

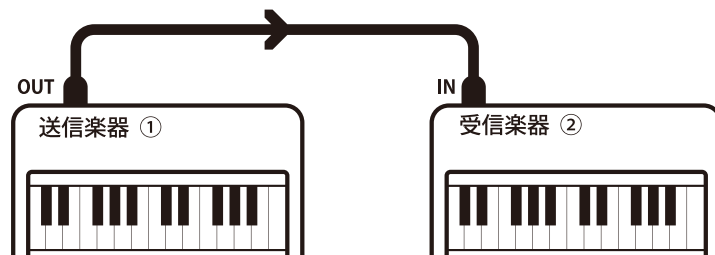
MIDIセッティングに入った後［3:もどる］ボタンを押すと、設定メニュー選択画面に戻ります。

MIDI端子の種類

MIDI 端子には、IN，OUT の2つの種類があります。いずれも MIDI 専用ケーブルで接続します。

MIDI端子名	機能
IN	鍵盤情報や音色情報を受信します。
OUT	鍵盤情報や音色情報を送信します。

MIDIチャンネルについて

MIDIにはチャンネルというものがあります。チャンネルには、受信チャンネルと送信チャンネルの2種類があり、通常MIDI機能をもった楽器はこの両者を備えています。

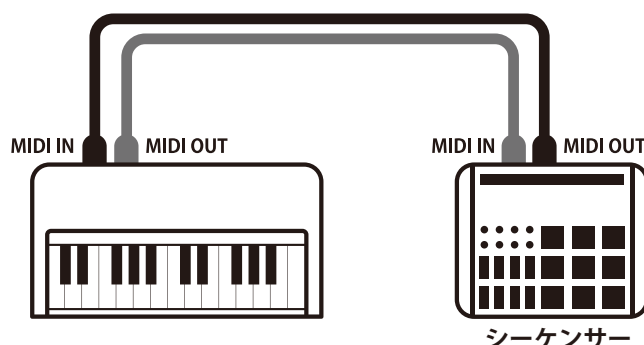
受信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器から情報を受信する場合のチャンネルで、送信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器へ情報を送信する場合のチャンネルです。

例えば3台の楽器を次のように接続して演奏するとします。

送信楽器①は送信チャンネルと共に鍵盤情報などを受信楽器②に送ります。

受信楽器②には①からの情報が送られてきます。基本的には 受信楽器②の受信チャンネルと送信楽器①の送信チャンネルが一致していれば送られた情報を受け取りますが、一致していなければ受け取らないということになります。

チャンネル番号は、送信 / 受信とも1 ～ 16までの番号を使用することができます。

MIDIの使用例

図の様にシーケンサーに接続すれば、CA97 / 67の演奏をシーケンサーに録音し、それを再生することができデジタルピアノの練習に役立てることができます。また、CA97 / 67の設定をマルチティンバーオン（P. 107参照）にして録音 / 再生を行えば、ピアノ、ハープシコード、ビブラフォンなど複数の音色によるアンサンブル演奏を楽しむことができます。

CA97 / 67のMIDI機能

CA97 / 67のMIDI機能は以下の通りです。

鍵盤情報の送信・受信
CA97 / 67を弾いてMIDIで接続したシンセサイザー等から音を出したり、その逆が可能です。

送信・受信チャンネルの設定
送信受信チャンネルを1 ～ 16の範囲で設定することができます。

プログラム（音色）ナンバーの送信
CA97 / 67を弾いてMIDIで接続したシンセサイザーの音色を変えたり、その逆が可能です。

ペダル情報の送信・受信
ダンパーペダル、ソフトペダル、ソステヌートペダルのON / OFF情報の送信・受信ができます。

ボリューム情報の受信
シンセサイザー等を弾いて、CA97 / 67の音を出しているとき、シンセサイザーでCA97 / 67の音量をコントロールすることができます。

マルチティンバーの設定
CA97 / 67が受信楽器になっているとき、複数の異なるチャンネルで鍵盤情報を受信して、各々別の音を出すことができます。

エクスクルーシブデータの送信・受信
フロントパネルの操作や設定モードで変更した設定をエクスクルーシブデータとして送信受信ができます。

レコーダーの再生情報の送信
レコーダーに録音した演奏をMIDIで接続した電子楽器で鳴らしたり、外部シーケンサーに録音することができます。

CA97 / 67のMIDI機能についての詳細は、「MIDIインプリメンテーションチャート」（P. 142）をご覧ください。

著作権について

市販の音楽 CD や音楽ファイル、SMF ファイルなど、既存の著作物を利用して作られた作品を本機で利用する場合、個人的に、または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用すること以外は著作権法上、権利者に無断で使用できませんので十分注意をお願いします。お客様が著作権法に違反する行為を行った場合、当社は一切の責任を負いません。

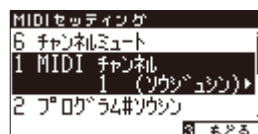
MIDIセッティング

1 MIDI送受信チャンネル

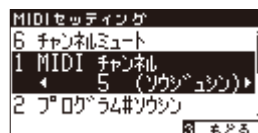
接続されたMIDI 楽器といろいろな情報をやりとりするために楽器同士のチャンネルを合わせておくことが必要です。

チャンネルは送信チャンネルと受信チャンネルの2種類がありますが、CA97 / 67では送受信を別々のチャンネルに設定することはできません。1つのチャンネルを設定してそれが送信・受信両チャンネルを兼ねています。

1. MIDIセッティング / MIDI送受信チャンネルの設定に入る

MIDIセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「MIDI チャンネル」を選びます。

2. チャンネルを設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すとチャンネルの値を「1 ～ 16」の間で設定できます。

値を選択したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

■ オムニオン / オムニオフについて

CA97 / 67は電源オン時には、1 ～ 16のすべてのチャンネルの情報を受信できる状態になっています。これをオムニオンと呼びます。チャンネル設定を行うとオムニオフとなり、設定したチャンネルのみで受信するようになります。オムニオフで1chに設定したい場合は、一度チャンネルを2に設定してから1に戻してください。

■ マルチティンバーモードがオンのとき

スプリット演奏時
低音側の演奏は、ここで設定したチャンネル+1チャンネルで送信します。 例えばここでチャンネルを3に設定してマルチティンバーをオンにしたとき、スプリット演奏の低音側の音色の演奏は4チャンネルで送信されます。

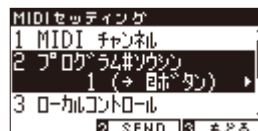
デュアル演奏時
第2音色は、設定したチャンネル+1チャンネルで送信します。

（ただし、チャンネルを16に設定した場合は、1チャンネルで送信します。）

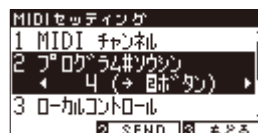
2 プログラムナンバー送信

CA97 / 67では1 ～ 128までのプログラムナンバーを送信することができます。

1. MIDIセッティング / プログラムナンバー送信の設定に入る

MIDIセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「プログラム#ソウシン」を選びます。

2. プログラムナンバーを選択し送信する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すとプログラムナンバーを「1 ～ 128」の間で設定できます。

［2:SEND］ボタンを押すとプログラムナンバーの送信が実行されます。

送信したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

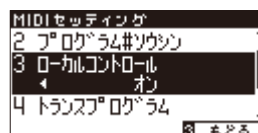
3 ローカルコントロール

このモードは本体の鍵盤を弾いて音を出すか・出さないかを設定するモードで、ローカルコントロールオン / オフモードと呼びます。

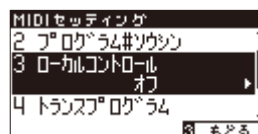
ローカルコントロールがオンの時は、通常通り鍵盤を弾けば本体の音が鳴ります。

ローカルコントロールがオフの時は、鍵盤を弾いても音は鳴らずMIDI情報を送信するだけでMIDI情報を受信したときのみ音が鳴ります。

1. MIDIセッティング / ローカルコントロールの設定に入る

MIDIセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ローカルコントロール」を選びます。

2. ON / OFFを設定する

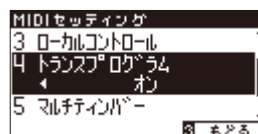
［LEFT / RIGHT］ボタンを押すと「オン / オフ」が表示されます。

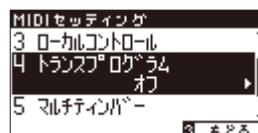
「オン」か「オフ」を選択したら、音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

4 プログラムナンバー送信のON / OFF

CA97 / 67では音色を切り替えることにより、各音色に対応する送受信プログラムナンバーを送信します。マルチティンバーモードをオンに設定したときは、マルチティンバーオン2の時のプログラムナンバーを送信します。各音色に対応する送受信プログラムナンバーについては付録の一覧(P. 132, 133)をご参照ください。

また音色ボタン以外にも、タッチカーブ、デュアル、デジタルエフェクト、リバーブのボタン操作をMIDIエクスクルーシブデータとして送信することができます。

1. MIDIセッティング / プログラムナンバー送信のON / OFFの設定に入る

MIDIセッティングに入り[UP / DOWN]ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「トランスプログラム」を選びます。

2. ON / OFFを設定する

[LEFT / RIGHT]ボタンを押すと「オン / オフ」が表示されます。「オン」か「オフ」を選択したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

■ デュアル・スプリットモードのときについて

デュアル・スプリットモード時には、デュアル・スプリット各モードのオン / オフ情報、音色の設定などをエクスクルーシブで送信しますが、プログラムナンバーは送信しません。

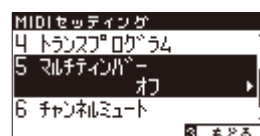
マルチティンバーモードがオンのときは、プログラムナンバーも送信します。

5 マルチティンバーモード

通常は、前述の方法で設定されたMIDIチャンネル（1〜16のどれか1つ）で情報を送受信しますが、マルチティンバーモードをオンすることにより、複数のMIDIチャンネルを受信して各々のチャンネルに対応した異なる音色を同時に出すことができます。（受信プログラムナンバーに対応した音色は、付録の一覧（P. 132, 133）をご参照ください。）

この機能により、外部にシーケンサーを使って、1台で複数の音色（マルチティンバー）によるアンサンブル演奏が可能です。

1. MIDIセッティング / マルチティンバーモードの設定に入る

MIDIセッティングに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「マルチティンバー」を選びます。

2. オン1・オン2・オフを設定する

［LEFT / RIGHT］ボタンを押すと「オン1 / オン2 / オフ」が表示されます。

「オン1」か「オン2」、「オフ」を選択したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

オン1・オフのとき
P. 132, 133 付録の「各音色に対応する送受信プログラムナンバー一覧」の左側のナンバーに対応した音色が選ばれます。

オン2のとき
P. 132, 133 付録の「各音色に対応する送受信プログラムナンバー一覧」の右側のナンバーに対応した音色が選ばれます。

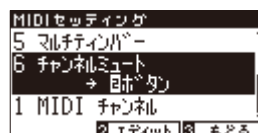
また、受信チャンネルごとに発音のオン / オフを設定することができます。（チャンネルミュートP. 108参照）

マルチティンバーモードがオンのとき、スプリット演奏中でも各受信チャンネルの音色は全てフルスケールで鳴ります。

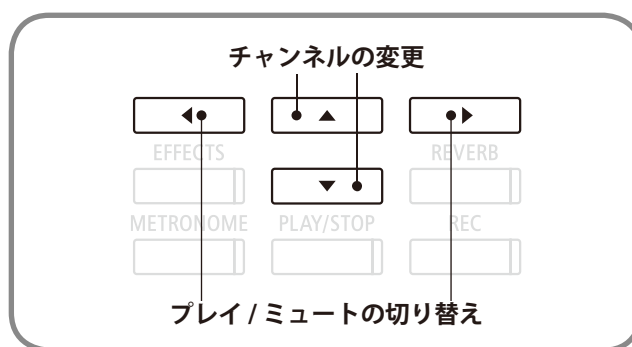
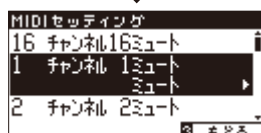
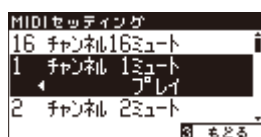
6 チャンネルミュート

マルチティンバーモードがオンのときのみ、有効な設定です。各チャンネルのプレイ・ミュートが設定できます。

1. MIDIセッティング / チャンネルミュートの設定に入る

MIDIセッティングに入り[UP / DOWN]ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「チャンネルミュート」を選びます。

2. 各チャンネルのプレイ・ミュートを設定する

[2:エディット]ボタンを押すと各チャンネルが表示されます。[UP / DOWN]ボタンでチャンネルを選択し、[LEFT / RIGHT]ボタンを押すと、「プレイ」または「ミュート」が切り替わります。

設定が終了したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

USBメモリの接続

この楽器にはUSB［TO DEVICE］端子があります。USB［TO DEVICE］端子にUSB機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご参照ください。

使用できるUSB機器

USB対応の記憶装置（フラッシュメモリー、フロッピーディスクドライブ）動作確認済みUSB機器については、ご購入の前に弊社ホームページにてご確認ください。動作確認済み以外のUSB機器（マウス、コンピューターのキーボード、ハブなど）は、接続しても使えません。

USB機器の接続

USB［TO DEVICE］端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。

本機はUSB2.0に準拠しています。USB1.1対応の機器も使用できますが、転送スピードはその機器の転送スピードに制限されます。

この楽器にUSB記憶装置を接続すると、楽器本体で制作したデータをUSB記憶装置に保存したり、USB記憶装置のデータを楽器本体で再生したりできます。

USB記憶装置のフォーマット

USB記憶装置の中には、この楽器で使用する前にフォーマットが必要なものがあります。USB［TO DEVICE］端子にUSB記憶装置を接続したとき（またはUSB記憶装置にフロッピーディスクなどのメディアを挿入したとき）に、フォーマットを促すメッセージが表示された場合は、フォーマットを実行してください（P. 123）。フォーマットを実行すると、そのメディアの中身は消去されます。必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。

他の機器で使用したUSBメモリには本機で表示されないデータが保存されている場合があります。フォーマットするときには十分ご注意ください。

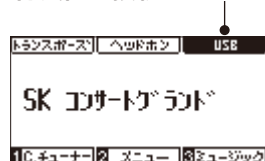
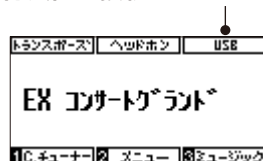
USB記憶装置の抜き差し

USB記憶装置を外すときは、保存 / コピー / 削除 / フォーマットなどデータのアクセス中でないことをあらかじめ確認したうえで外してください。

* CA97 / 67を起動中にUSBメモリが差し込まれると、USBメモリによっては音が出る状態になるまでに時間が掛かる場合がありますが、故障ではありません。
* USBメモリが差し込まれた状態で電源スイッチを押しを起動すると、USBメモリによっては音が出る状態になるまでに時間が掛かる場合がありますが、故障ではありません。

USB記憶装置の接続状態を確認する

USB記憶装置が本機に差し込まれている場合、ホーム画面（P. 13）におけるUSB部分が反転されます。

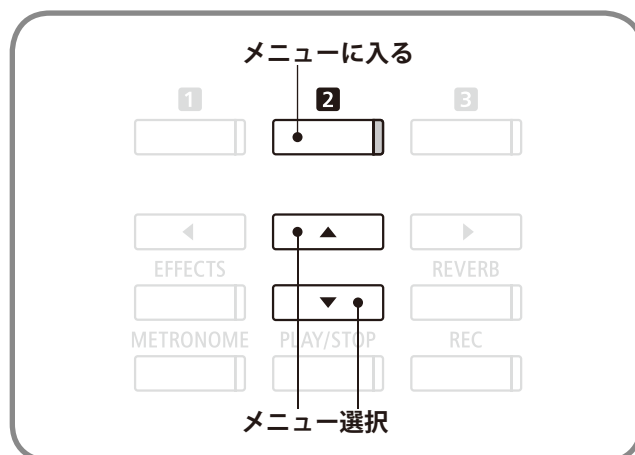
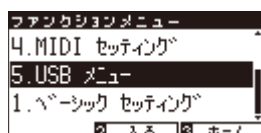
USB記憶装置が接続されている状態

USB記憶装置が接続されていない状態

USBメニューについて

USBメモリを接続して、CA97 / 67に録音したファイルをUSBメモリに保存したり、USBメモリをフォーマットするなどの操作を行います。

USBメニューの内容

種類	内容
1. USBロード ソング	USBメモリ内にあるソングファイル（KSOファイル）をCA97 / 67に読み込みます。
2. USBロード レジスト オール	USBメモリ内にあるレジストレーションファイル（オール/KM3ファイル）をCA97 / 67に読み込みます。
3. USBロード レジスト シングル	USBメモリ内にあるレジストレーションファイル（シングル/KM6ファイル）をCA97 / 67に読み込みます。
4. USBロード スタートアップセッティング	USBメモリ内にあるスタートアップセッティングファイル（KM1ファイル）をCA97 / 67に読み込みます。
5. USBセーブ ソング（INT）	本体に録音した曲をUSBメモリにKSOファイルフォーマットにて保存します。
6. USBセーブ ソング（SMF）	本体に録音した曲をUSBメモリにSMFファイルフォーマットにて保存します。
7. USBセーブ レジスト オール	本体に設定した全てのレジストレーションをUSBメモリにKM3ファイルフォーマットにて保存します。
8. USBセーブ レジスト シングル	本体に設定した1つのレジストレーションをUSBメモリにKM6ファイルフォーマットにて保存します。
9. USBセーブ スタートアップセッティング	本体に設定したスタートアップセッティングをUSBメモリにKM1ファイルフォーマットにて保存します。
10. USBリネーム	USBメモリ内のファイル名を変更します。
11. USBデリート	USBメモリ内のファイルを削除します。
12. USBフォーマット	USBメモリを初期化します。

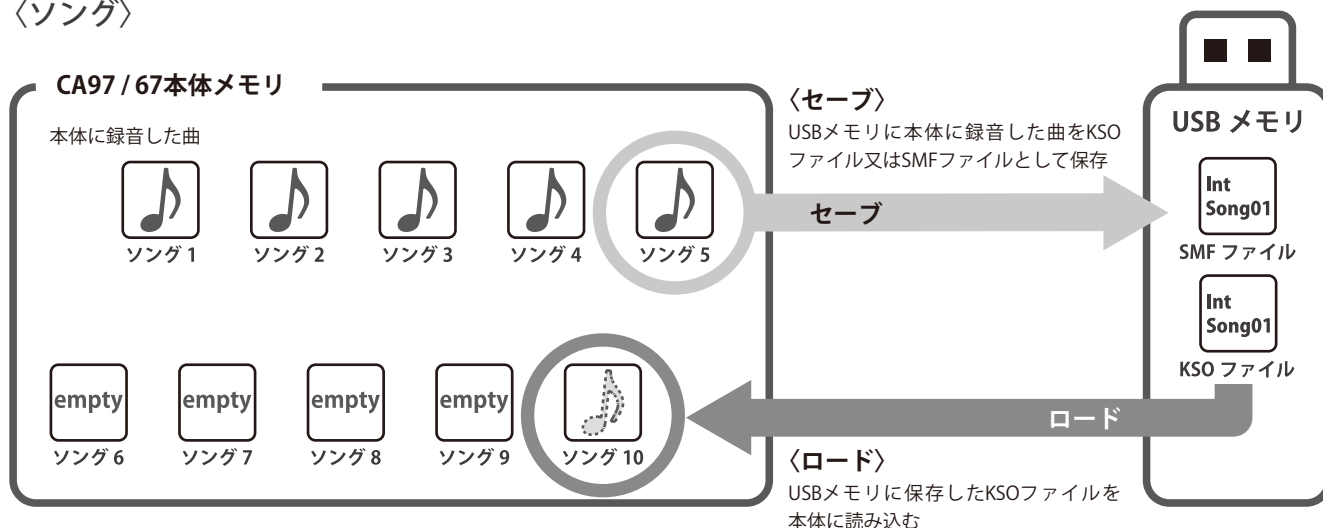
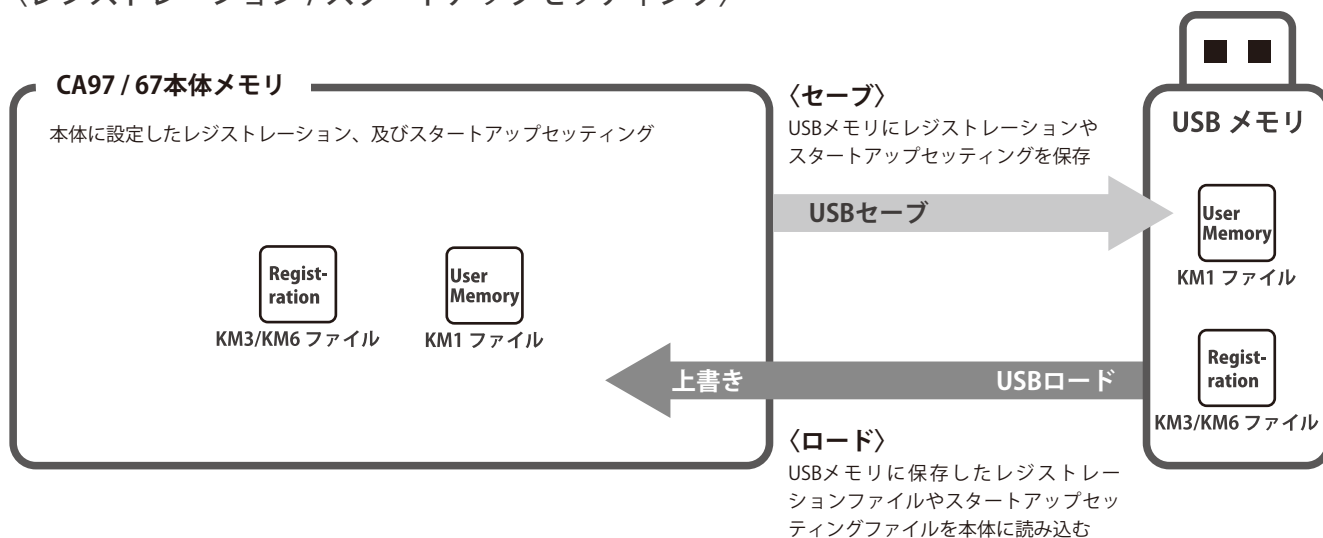
USBメニューへ入る

[2:メニュー]ボタンを押して設定メニューに入ります。[UP / DOWN]ボタンを押すごとにメニューが切り替わりますので、「USB メニュー」を選んで[2:入る]ボタンを押します。

USBメニュー

USBメニューのロード / セーブについて

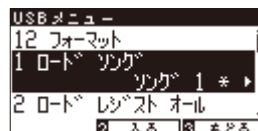
USBメニューのロード / セーブの機能は下のイラストのようになっています。

〈ソング〉

*SMFファイルは本体に読み込めません。

〈レジストレーション / スタートアップセッティング〉

1 USBロード ソング

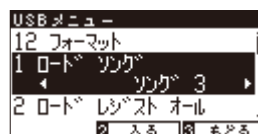
USBメモリを接続して、USBメモリ内の本機でセーブした曲（KSOファイル）を読み込むことができます。読み込んだ曲はCA97 / 67で再生することができます。

1. USBメニュー / ロード ソングモードに入る

USBメニューに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ロード ソング」を選びます。

2. 読み込む場所を指定する

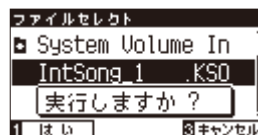
次に本体に読み込む場所を指定します。読み込まれる場所は本体に演奏を録音するときに選択する10曲（10ソング）と共通です。

［LEFT / RIGHT］ボタンで読み込む場所を指定します。すでに録音されているパートにはソング番号の後ろにに＊マークがついています。

読み込む場所を指定したら［2:入る］ボタンを押します。

3. 読み込みたい曲を選ぶ

［UP / DOWN］ボタンをで読み込みたい曲を選び、［2:ロード］ボタンを押します。

4. 読み込む

確認のメッセージが表示されますので、読み込む場合は［1:はい］ボタンを、キャンセルする場合は［3:キャンセル］ボタンを押してください。

5. 読み込みモードを終了する

音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

* ［3:もどる］ボタンを押すと前の画面に戻ります。

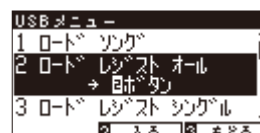
2 USBロードレジストレーション オール

USBメモリを接続して、USBメモリ内の本機でセーブしたレジストレーションファイルを読み込む（ロードする）ことができます。レジストレーションファイルには、「シングル」と「オール」の2つの形式があります。

■ レジストレーションファイルの種類

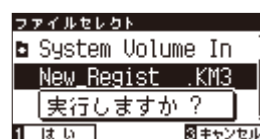
種類	内容	拡張子
シングル	一つのレジストレーションを格納します。	KM6
オール	全ての9レジストレーションを格納します。	KM3

1. USBメニュー / ロードレジストオールモードに入る

USBメニューに入り［LEFT / RIGHT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので「ロードレジスト オール」を選び、［2:入る］を押します。

2. 読み込むレジストレーションファイルを指定する

［UP / DOWN］ボタンを押して読み込みたいレジストレーションファイル（シングル/KM6）を選び、［2:ロード］ボタンを押します。

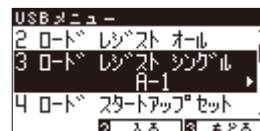
3. 読み込む

確認のメッセージが表示されますので、読み込む場合には［1:はい］ボタンを、キャンセルする場合には［3:キャンセル］ボタンを押してください。

* ［3:もどる］ボタンを押すと前の画面に戻ります。
* 音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。
* レジストレーション オールの拡張子は［KM3］になります。
* レジストレーション：オール［*.KM3］は他の機種との互換性がありません。
* ロードレジストレーション オールを行うと、設定されていたレジストレーションは全て書き換えられます。利用の際には十分注意をお願いします。

3 USB ロードレジストレーション シングル

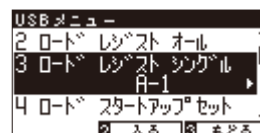
USBメモリを接続して、USBメモリ内の本機でセーブしたレジストレーションファイルを読み込む（ロードする）ことができます。ここでは、1つのレジストレーションを読み込むロードレジストレーション シングルの説明を行います。

1. USBメニュー / ロードレジスト シングルモードに入る

USBメニューに入り［LEFT / RIGHT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので「ロードレジスト シングル」を選びます。

2. ロード先のレジストレーションメモリーを指定する

次に本体に読み込む場所を指定します。読み込まれる場所は本体へレジストレーションを保存する時に選択するA1～A8, B1～B8と共通です。

［LEFT / RIGHT］ボタンでロード先のレジストレーションメモリーを指定します。

読み込む場所を指定したら［2:入る］ボタンを押します。

3. 読み込むレジストレーションファイルを指定する

［UP / DOWN］ボタンを押して読み込みたいレジストレーションファイル シングル［*.KM6］を選び、［2:ロード］ボタンを押します。

4. 読み込む

確認のメッセージが表示されますので、読み込む場合には［1:はい］ボタンを、キャンセルする場合には［3:キャンセル］ボタンを押してください。

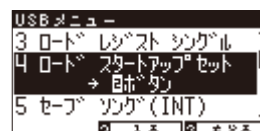
* ［3:もどる］ボタンを押すと前の画面に戻ります。
* 音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。
* レジストレーション シングルの拡張子は［KM6］になります。
* レジストレーション シングル［*.KM6］は他の機種との互換性がありません。

4 USBロード スタートアップセッティング

USBメモリを接続して、CA97 / 67にUSBメモリ内の本機でセーブしたスタートアップセッティングファイルを読み込むことができます。読み込んだスタートアップセッティングはCA97 / 67の本体内に設定されます。

* スタートアップセッティングについてはP. 68を参照してください。

1. USBメニュー / ロード スタートアップセッティングモードに入る

USBメニューに入り[UP / DOWN]ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ロード スタートアップセット」を選び、[2:入る]ボタンを押します。

2. 読み込むスタートアップセッティングファイルを指定する

[UP / DOWN]ボタンをで読み込みたいスタートアップセッティングファイルを選び、[2:ロード]ボタンを押します。

3. 読み込む

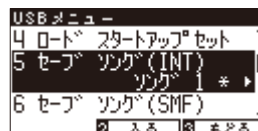
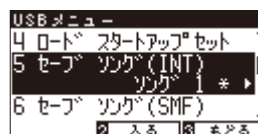
確認のメッセージが表示されますので、読み込む場合は[1:はい]ボタンを、キャンセルする場合は[3:キャンセル]ボタンを押してください。

* [3:もどる]ボタンを押すと前の画面に戻ります。
* 音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。
* スタートアップセッティングファイルの拡張子は「KM1」になります。
* スタートアップセッティングファイル「*.KM1」は他の機種との互換性がありません。
* ロードスタートアップセッティングを行う前に本体内に設定されていたスタートアップセッティングは本操作を行うと削除されます。

5 USBセーブ ソング（内部フォーマット）

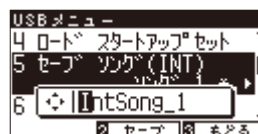
USBメモリを接続して、内部レコーダーのソングをUSBメモリに内部フォーマット形式（KSOファイル）で保存することができます。保存した曲は本機で再生したり、本体内にロードすることができます。

1. USBメニュー / 保存（INT）モードに入る

USBメニューに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「セーブ ソング（INT）」を選びます。

2. 保存したい曲を選ぶ

［LEFT / RIGHT］ボタンをで保存したい曲を選び、［2:入る］ボタンを押します。

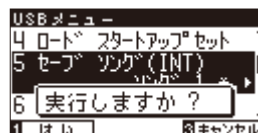
3. 名前をつける

USBメモリに演奏を保存する際名前をつけます。［LEFT / RIGHT］ボタンでカーソルを動かし、［UP / DOWN］ボタンでアルファベット（キャラクター）を変更します。

ファイル名が決定したら［2:セーブ］ボタンを押します。すでに同じファイル名がある場合、上書きをするか選択します。上書きをする場合は［1:はい］ボタンを、キャンセルする場合は［3:キャンセル］ボタンを押します。

*ファイル名は12文字までです。

4. 保存する

確認のメッセージが表示されますので、保存する場合は［1:はい］ボタンを、キャンセルする場合は［3:キャンセル］ボタンを押します。

*USBメモリに保存したファイルは、USBメモリ内のルートフォルダに保存されます。ディレクトリに保存することはできません。
セーブした曲を他の機器（パソコン等）で名前を変更（リネーム）すると本機でロードできなくなる場合が有ります。

5. 保存（INT）モードを終了する

音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

*［3:もどる］ボタンを押すと前の画面に戻ります。

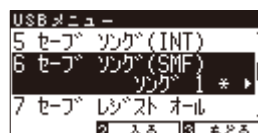
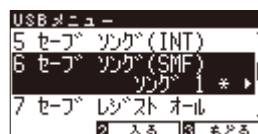
*保存したソングファイルの拡張子は「KSO」になります。

USBセーブソング（内部フォーマット）を行ったファイル「.KSO」は本体内のソング1 〜 10にロードすることができます。詳しくはUSBロードソング（P. 112）を参照してください。

6 USBセーブ ソング（SMF）

USBメモリを接続して、内部レコーダーのソングをUSB メモリにSMF 形式で保存（セーブ）することができます。保存した曲は本機で再生したり、他の楽器やパソコンで再生することができます。

1. USB メニュー / セーブソング（SMF）モードに入る

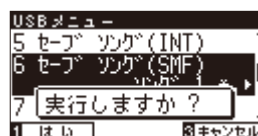
USB メニューに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「セーブ ソング（SMF）」を選びます。

2. 保存したい曲を選ぶ

［LEFT / RIGHT］ボタンをで保存したい曲を選び、［2:入る］ボタンを押します。

3. 名前をつける

USBメモリに演奏を保存する際名前をつけます。［LEFT / RIGHT］ボタンでカーソルを動かし、［UP / DOWN］ボタンでアルファベット（キャラクター）を変更します。

ファイル名が決定したら［2:セーブ］ボタンを押します。すでに同じファイル名がある場合、上書きをするか選択します。上書きをする場合は［1:はい］ボタンを、キャンセルする場合は［3:キャンセル］ボタンを押します。

4. 保存する

確認のメッセージが表示されますので、保存する場合は［1:はい］ボタンを、キャンセルする場合は［3:キャンセル］ボタンを押してください。

* ［3:もどる］ボタンを押すと前の画面に戻ります。
* 音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。
* 保存したソングファイルの拡張子は「mid」になります。
* セーブソング（SMF）を行ったファイル「*.mid」は本体内のソング1 ～ 10にロードすることはできません。本体内のソング1 ～ 10にロードしたい場合には、セーブソング（内部フォーマット）（P. 116）を利用してください。
* USBメモリに保存したファイルは、USBメモリ内のルートフォルダに保存されます。ルート以外のフォルダ内に保存することはできません。

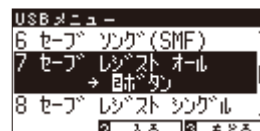
7 USB セーブレジストレーション オール

本機のレジストレーションメモリーの内容をUSBメモリに保存できます。レジストレーションファイルには、「シングル」と「オール」の2つの形式があります。

■ レジストレーションファイルの種類

種類	内容	拡張子
シングル	一つのレジストレーションを格納します。	KM6
オール	全ての18レジストレーションを格納します。	KM3

1. USBメニュー / セーブレジストモード オールに入る

USBメニューに入り［LEFT / RIGHT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「セーブレジスト オール」を選び、オールかシングルかを選択し、［2:入る］を押します。

2. 名前をつける

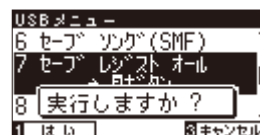
USBメモリにレジストレーション オールを保存する際名前を付けます。［LEFT / RIGHT］ボタンでカーソルを動かし、［UP / DOWN］ボタンでアルファベット（キャラクター）を変更します。

ファイル名が決定したら［2:セーブ］ボタンを押します。

すでに同じファイル名がある場合、上書きをするか選択します。上書きをする場合は［1:はい］ボタンを、キャンセルする場合は［3:キャンセル］ボタンを押します。

*ファイル名は12文字までです。

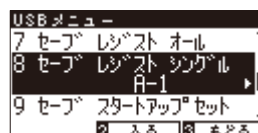
3. 保存する

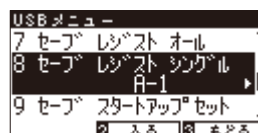
確認のメッセージが表示されますので、保存する場合は［1:はい］ボタンを、キャンセルする場合は［3:キャンセル］ボタンを押してください。

* ［3:もどる］ボタンを押すと前の画面に戻ります。
* 音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。
* レジストレーション オールの拡張子は［*.KM3］になります。
* レジストレーション オールは他の機種との互換性がありません。
* USBメモリに保存したファイルは、USBメモリ内のルートフォルダに保存されます。ディレクトリに保存することはできません。

8 USBセーブレジストレーション シングル

本機のレジストレーションメモリーの内容をUSBメモリに保存できます。ここでは、全てのレジストレーションを一度に保存するセーブレジストレーション シングルの説明を行います。

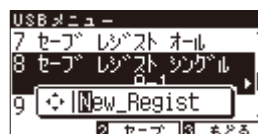
1. USBメニュー/セーブレジストモード シングルに入る

USBメニューに入り[LEFT / RIGHT]ボタンを押すとメニューが切り替わりますので「セーブレジスト シングル」を選びます。

2. 保存したいレジストレーションを選ぶ

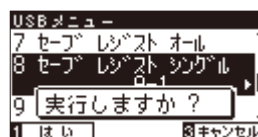
次に[LEFT / RIGHT]ボタンを押し、保存したいレジストレーションA1〜B8を選択し、[2:入る]を押します。

3. 名前をつける

USBメモリにレジストレーションを保存する際名前を付けます。[LEFT / RIGHT]ボタンでカーソルを動かし、[UP / DOWN]ボタンでアルファベット(キャラクター)を変更します。

ファイル名が決定したら[2:セーブ]ボタンを押します。

すでに同じファイル名がある場合、上書きをするか選択します。上書きをする場合は[1:はい]ボタンを、キャンセルする場合は[3:キャンセル]ボタンを押します。

* ファイル名は12文字までです。

4. 保存する

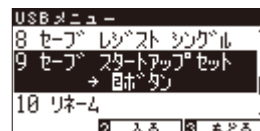
確認のメッセージが表示されますので、保存する場合は[1:はい]ボタンを、キャンセルする場合は[3:キャンセル]ボタンを押してください。

* [3:もどる]ボタンを押すと前の画面に戻ります。
* 音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。
* レジストレーション シングルの拡張子は[*.KM6]になります。
* レジストレーション シングルは他の機種との互換性がありません。
* USBメモリに保存したファイルは、USBメモリ内のルートフォルダに保存されます。ディレクトリに保存することはできません。

9 USBセーブ スタートアップセッティング

USBメモリを接続して、CA97 / 67に設定されているスタートアップセッティングをUSBメモリ内に保存（セーブ）することができます。保存したスタートアップセッティングファイルは本機で読み込むことができます。

* スタートアップセッティングについてはP. 68を参照してください。

1. USBメニュー / セーブ スタートアップセッティングモードに入る

USBメニューに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「セーブ スタートアップセット」を選び、［2:入る］ボタンを押します。

2. 名前をつける

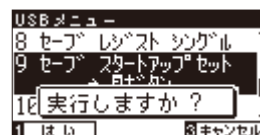
USBメモリに演奏を保存する際名前をつけます。［LEFT / RIGHT］ボタンでカーソルを動かし、［UP / DOWN］ボタンでアルファベット（キャラクター）を変更します。

ファイル名が決定したら［2:セーブ］ボタンを押します。

すでに同じファイル名がある場合、上書きをするか選択します。上書きをする場合は［1:はい］ボタンを、キャンセルする場合は［3:キャンセル］ボタンを押します。

* ファイル名は12文字までです。

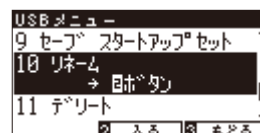
3. 保存する

確認のメッセージが表示されますので、保存する場合は［1:はい］ボタンを、キャンセルする場合は［3:キャンセル］ボタンを押してください。

* ［3:もどる］ボタンを押すと前の画面に戻ります。
* 音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。
* スタートアップセッティングファイルの拡張子は「KM1」になります。
* スタートアップセッティングファイル「*.KM1」は他の機種との互換性がありません。
* USBメモリに保存したファイルは、USBメモリ内のルートフォルダに保存されます。ディレクトリに保存することはできません。

10 USBリネーム

CA97 / 67は接続したUSBメモリ内のファイル名を変更することができます。

1. USBメニュー / ファイル名変更（リネーム）モードに入る

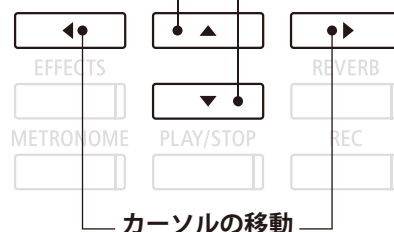
USBメニューに入り[UP / DOWN]ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「リネーム」を選び、[2:入る]ボタンを押します。

2. 名前を変更したいファイルを選ぶ

[UP / DOWN]ボタンで名前を変更したいファイルを選び、[2:リネーム]ボタンを押します。

3. 名前を変更する

[LEFT / RIGHT]ボタンでカーソルを動かし、[UP / DOWN]ボタンでアルファベット（キャラクター）を変更します。

名前の変更が終了したら[2:リネーム]ボタンを押します。

*すでに同じファイル名のファイルが存在する場合にはリネームすることはできません。

確認のメッセージが表示されますので、保存する場合は[1:はい]ボタンを、キャンセルする場合は[3:キャンセル]ボタンを押します。

*名前が12文字以上のファイルをリネーム実行すると、変更しなくても12文字以下になります。

4. ファイル名変更（リネーム）モードを終了する

音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

■ 使用できる文字一覧

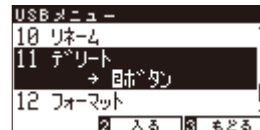
0~9	A~Z	a~z	!	#	$	%	&	'	(	)	+	,	-	.	;	=	@	[	]	^	_	`	{	}
ｱ~ﾝ	ｧ~ｫ	ｬ~ｭ	ｮ	ｯ	ﾞ	ﾟ	―	。	「	」	、	・												

*全角文字は使用できません。

11 USBデリート

CA97 / 67は接続したUSBメモリ内の曲を削除することができます。

1. USBメニュー / ファイル削除（DELETE）モードに入る

USBメニューに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「デリート」を選び、［2:入る］ボタンを押します。

2. 削除したいソングを選ぶ

［2:OK］ボタンを押します。

［UP / DOWN］ボタンで削除したいソングを選び、［2:OK］ボタンを押します。

3.削除を実行する

確認のメッセージが表示されますので、削除する場合は［1:はい］ボタンを、キャンセルする場合は［3:キャンセル］ボタンを押します。

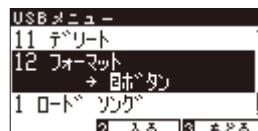
4. ソング削除（DELETE）モードを終了する

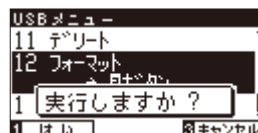
音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

12 USBフォーマット

CA97 / 67は接続したUSBメモリをフォーマットすることができます。フォーマットを実行するとUSBメモリ内のデータがすべて消去されます。他の機器で使用したUSBメモリには本機で表示されないデータが保存されている場合があります。フォーマットするときには十分ご注意ください。

1. USBメニュー / フォーマット（FORMAT）モードに入る

USBメニューに入り［UP / DOWN］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「フォーマット」を選び、［2:入る］ボタンを押します。

2. フォーマットする

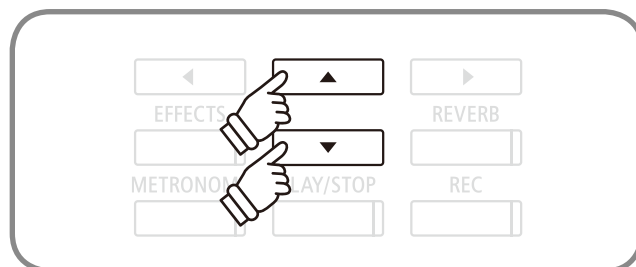
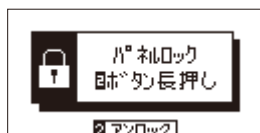
確認のメッセージがが表示されますので、フォーマットする場合は［1:はい］ボタンを、キャンセルする場合は［3:キャンセル］ボタンを押します。

3. フォーマット（FORMAT）モードを終了する

音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

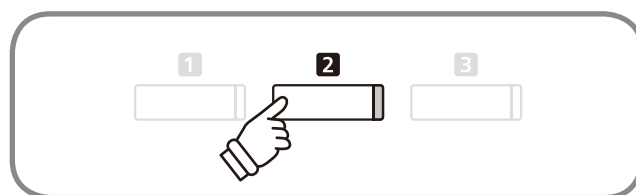
パネルロック

CA97 / 67では、パネル操作をロックすることができます。

ロックモードに入る

演奏画面中に[UP / DOWN]ボタンを同時に押します。
ロック画面が表示されます。

* 演奏画面（音色名が表示されている画面）のみロックの操作が有効になります。その他の画面ではロックされません。
* パネルロックが有効になると、全てのボタンのLED点灯が消えます。
* 電源をオフにしてもパネルロックは解除されません。

ロックを解除する

[2:アンロック]ボタンを2秒以上押し続けます。
ロックが解除され、パネル操作が有効になります。

困ったときは？

電源が入らない	
電源コードが正しく接続されていますか？	コンセント側と本体側の両方をご確認ください。 接続されていても、抜けかかっていることがあります。 一度抜いて接続しなおしてみてください。（P. 10参照）
電源が突然切れた。いつの間にか切れていた。	
オートパワーオフを設定されていませんか？（P. 70参照）	
音が出ない	
音量が0になっていませんか？（P. 12参照）	
ヘッドホンが接続されていませんか？	ヘッドホンを接続しているときは、スピーカーから音が出ません。
以前ヘッドホンを使用したことがありませんか？	お使いのヘッドホンによっては、変換プラグ（筒状の部品）が差込口に残っている場合があります。このアダプターが楽器に付いたままになっていると、スピーカーからの音は出ません。変換プラグが差込口に残っていないかをご確認ください。（P. 12参照）
ローカルコントロールがオフになっていませんか？（P. 105参照）	
ピアノの音がおかしい、異音やノイズがする	

グランドピアノの音は様々な響きが複雑に混ざり合うことにより、弱い音から強い音まで実に多彩な音色変化を見せます。そして、その複雑な響きの中には、キーンという金属的な音の成分やノイズ系の音も含まれるため、ある一部の倍音等にだけ注目して聴くと、特定の音が大きく感じられたり、音程がずれたように聴こえること、あるいは隣同士の鍵盤で音色が不連続に感じられることもありますが、これらは異常ではなく、総合的にコンサートグランドピアノの響きを忠実に再現したカワイのこだわりでもあります。しかし、本機ではお客様がお好みに合わせて、ピアノ音や各種共鳴音を細かく調整することも可能ですので、次の項目をご参照ください。

ノイズやキーンという金属的な音がする	トーンコントロール（P. 62参照）　キーアクションノイズ（P. 84参照） ダンパーノイズ（P. 79参照）
ある音だけ音量が大きい	88鍵ボリューム（P. 94参照）
ある音だけピッチがずれたように聴こえる	ユーザーチューニング（P. 90参照）
音がこもった感じ、キンキンする	大屋根の開閉（P. 86参照）　トーンコントロール（P. 62参照） ボイシング（P. 76参照）　タッチカーブ（P. 74参照） ウォールEQ（CA97のみ。P. 65参照）
ペダルを踏むとノイズがする	鍵盤弾いても弾かなくても、ダンパーペダルを踏むとダンパーが開放されたときに生ずる弦の共鳴音（ノイズ）がしますが、これは異常ではありません。（P. 79参照）
鍵盤を離す時にノイズがする	キーアクションノイズ（P. 84参照） キーオフエフェクト（P. 83参照）
特定の演奏、特定の音域で音が歪む	ボリュームを大きくすると、演奏によっては音が歪む場合があります。その場合、音量を小さくして使用してください。
特定のピアノ音色で音程や音質がおかしい	内蔵のピアノ音色は、ピアノ本来の音を可能な限り忠実に再現しています。 ピアノ音は複雑な響きを持っているため、聴く位置や環境によって音の感じ方が変わります。また単音で強打した場合と曲の流れの中で弾いた場合でも音の感じ方は変わります。そのため音域によっては倍音が強く聴こえ、音程や音質が異質に感じられる場合があります。これは異常ではありません。 音程や音質が気になる場合は次の項目を調整してみてください。 トーンコントロール（P. 62参照）　ストレッチチューニング（P. 89参照） 88鍵ボリューム（P. 94参照）

困ったときは？

鍵盤を弾くとカタカタ音がする

本機は、グランドピアノと同様のアクション機構を備えた木製鍵盤を採用しています。
鍵盤を弾くと、カタカタと打鍵音がしますが、これはグランドピアノをシミュレートしたもので、異常ではありません。

ペダルが効かない

ペダルコードが正しく接続されていますか？	接続されていても、抜けかかっていることがあります。 一度抜いて接続しなおしてみてください。（P. 140参照）
アジャスターが適正な長さになっていますか？（P. 140参照）	
高音域で、ダンパーが効かない	ピアノにおいて、一番高い領域の鍵盤（下図）にはダンパーという止音装置が付いておりません。CA97 / 67ではその機構を忠実に再現しているため、その鍵盤についてはダンパーペダルを踏んでも踏まなくても音が伸びます。

A#0 C#1 D#1 F#1 G#1 A#1 C#2 D#2 F#2 G#2 A#2 C#3 D#3 F#3 G#3 A#3 C#4 D#4 F#4 G#4 A#4 C#5 D#5 F#5 G#5 A#5 C#6 D#6 F#6 G#6 A#6 C#7 D#7 F#7 G#7 A#7
A0 B0 C1 D1 E1 F1 G1 A1 B1 C2 D2 E2 F2 G2 A2 B2 C3 D3 E3 F3 G3 A3 B3 C4 D4 E4 F4 G4 A4 B4 C5 D5 E5 F5 G5 A5 B5 C6 D6 E6 F6 G6 A6 B6 C7 D7 E7 F7 G7 A7 B7 C8

ダンパーが付いていない

ペダルを踏むとぐらぐらする

アジャスターが適正な長さになっているか、ご確認ください。（P. 140参照）

パネルのLEDが消えた

パネルロックをしていませんか？（P. 124参照）

曲の再生

レッスン曲がスタートしない	曲を選んだあと、［PLAY / STOP］ボタンを押してください。（P. 37参照）
曲（MP3,WAVE）を再生しても音が出ない	USBレコーダーのボリュームが0になっていませんか？（P. 55参照）
USBメモリに保存されている曲が再生できない	再生不可能なデータフォーマットである可能性があります。 （P. 46参照） お使いのUSBメモリの転送スピードが、オーディオファイル再生には不十分な可能性があります。USB2.0Hi-Speed規格に対応した他のUSBメモリをお試しください。 （P. 109参照）
USBメモリに保存されているSMFファイルが変な音で再生される	CA97 / 67はGM規格には対応しておりません。一部のSMF（スタンダードMIDIファイル）は、GM機器と異なる音色で再生されることがありますが、故障ではありませんのでご了承ください。
MP3 / WAVで録音したオーディオファイルの音量が小さすぎる、または大きすぎる（歪んでいる）	録音レベルの設定を調節してください。（P. 52参照）

USBメモリ

USBメモリが認識されない、または動作しない	動作確認されているUSBメモリをご使用ください。 （弊社ホームページから使用できるUSB装置を確認できます。）
USBメモリを挿したとき、しばらく時間がかかる	8Gバイト以上などの大容量のUSBメモリを挿したとき、認識に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

音色一覧

PIANO1
SK コンサートグランド
EX コンサートグランド
SK-5 グランド
ジャズ グランド
ジャズ グランド 2*
メロー グランド
メロー グランド 2
スタンダード グランド
PIANO2
ポップ グランド
ポップ グランド 2*
ポップ ピアノ
スタジオ グランド
アップライト ピアノ
モダン ピアノ
ブギウギ ピアノ*
ホンキートンク ピアノ*
ELECTRIC PIANO
クラシック E.ピアノ
60's E.ピアノ
モダン E.ピアノ
クラシック E.ピアノ 2
ニューエイジ E.ピアノ
クリスタル E.ピアノ
モダン E.ピアノ 2*
モダン E.ピアノ 3*
ORGAN
ジャズ オルガン
ブルース オルガン
バラード オルガン
ゴスペル オルガン
ドローバー オルガン
ドローバー オルガン 2
ドローバー オルガン 3*
ドローバー オルガン 4*
チャーチ オルガン
ディアパソン
フル アンサンブル
オクターブ ディアパソン
ティビア オルガン
オクターブ プリンシパル
プリンシパル コーラス*
バロック オルガン*

HARPSI&MALLETS
ハープシコード
オクターブハープシコード
ビブラフォン
クラビ
マリンバ
チェレスタ
ハープシコード 2*
スプリット ベル*
STRINGS
スロー ストリングス
シンセ ストリングス
メロー ストリングス
ストリング アンサンブル
メロー オーケストラ
スモール ストリングス*
ハープ
ピチカート*
VOCAL&PAD
クワイア
ポップ ボーカル
ポップ ボーカル 2
クワイア 2
ジャズ ボーカル
ポップ ボーカル 3
スロー クワイア*
ブレス クワイア*
ファンタジー
ファンタジー 2
ファンタジック クワイア
ファンタジー 3
ファンタジー 4*
ファンタジック ブラス
コスミック パッド
コスミック パッド 2*
BASS&GUITAR
ウッド ベース
エレクトリック ベース
フレットレス ベース
W.ベース & シンバル
E.ベース & シンバル*
バラード ギター
ピックナイロン ギター
フィンガーナイロン ギター*

*がついているものはCA97のみの音色です。

デモ曲一覧

■ デモ曲

音色名	曲名	作曲者名
PIANO1		
SK コンサートグランド	華麗なる大ポロネーズ Op.22	ショパン
EX コンサートグランド	幻想ポロネーズ	ショパン
SK-5 グランド	無言歌第18番「二重唱」	メンデルスゾーン
ジャズ グランド	オリジナル	カワイ
メロー グランド	ソナタ第30番	ベートーベン
メロー グランド 2	亜麻色の髪の乙女	ドビュッシー
スタンダード グランド	子犬のワルツ	ショパン
PIANO2		
ポップ グランド	カワイオリジナル	カワイ
ポップ ピアノ	カワイオリジナル	カワイ
スタジオ グランド*	カワイオリジナル	カワイ
アップライト ピアノ	アルプスの夕映え	エステン
モダン ピアノ	カワイオリジナル	カワイ
ELECTRIC PIANO		
クラシックE.ピアノ	オリジナル	カワイ
モダンE.ピアノ	オリジナル	カワイ
モダンE.ピアノ2*	オリジナル	カワイ
ORGAN		
ジャズオルガン	オリジナル	カワイ
ブルースオルガン	オリジナル	カワイ
ドローバーオルガン	オリジナル	カワイ
チャーチオルガン	コラール前奏曲“目覚めよ、と呼ぶ声あり”	バッハ
ディアパソン	主よ人の望みの喜びよ	バッハ
フルアンサンブル	オリジナル	カワイ
HARPSI & MALLETS		
ハープシコード	フランス組曲第6番	バッハ
オクターブハープシコード	プレリュード変イ長調	バッハ
ビブラフォン	オリジナル	カワイ
クラビ	オリジナル	カワイ
STRINGS		
スローストリングス	オリジナル	カワイ
シンセストリングス	オリジナル	カワイ
ストリングアンサンブル	四季“春”	ヴィヴァルディ
VOCAL & PAD		
クワイア	ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
クワイア2	オリジナル	カワイ
ジャズボーカル	オリジナル	カワイ
ファンタジー	オリジナル	カワイ
ファンタジー2	オリジナル	カワイ
BASS & GUITAR		
ウッドベース	オリジナル	カワイ
エレクトリックベース	オリジナル	カワイ
フレットレスベース	オリジナル	カワイ
W.ベース＆シンバル	オリジナル	カワイ
バラードギター	オリジナル	カワイ
ピックナイロンギター	オリジナル	カワイ

*の付いている音色のデモ曲はCA97にのみ搭載されています。

ピアノミュージック/レッスン曲集一覧

ピアノミュージック

	曲名	作曲者名
1	タンブラン	ラモー
2	調子のよいかじ屋	ヘンデル
3	メヌエット ト長調（BWV.Anh.114）	バッハ
4	メヌエット ト短調（BWV.Anh.115）	
5	メヌエット ト長調（BWV.Anh.116）	
6	かっこう	ダカン
7	ガヴォット	ゴセック
8	メヌエット	ボッケリーニ
9	主題と変奏「ピアノ・ソナタ第11番K.331」より第1楽章	モーツァルト
10	トルコ行進曲「ピアノ・ソナタ第11番K.331」より第3楽章	
11	メヌエット	
12	ピアノ・ソナタ「月光」より第1楽章	ベートーベン
13	ピアノ・ソナタ「悲愴」より第2楽章	
14	エリーゼのために	
15	ロンド・ファヴォリ	フンメル
16	即興曲　作品90の4	シューベルト
17	楽興の時　作品94の3	
18	間奏曲	
19	即興曲　作品142の3	
20	歌の翼に	メンデルスゾーン
21	春の歌	
22	ロンド・カプリッチョーソ	
23	別れの曲	ショパン
24	雨だれの前奏曲	
25	子犬のワルツ	
26	ノクターン第2番	
27	幻想即興曲	
28	軍隊ポロネーズ	
29	英雄ポロネーズ	

レッスン曲集

1. バイエルピアノ教則本　全曲　（ただし予備練習、付録を除く）（カワイ出版）
2. ブルクミュラー25の練習曲　全曲　（カワイ出版）
3. チェルニー100番練習曲　全曲　（カワイ出版）
4. チェルニー30番練習曲　全曲　（カワイ出版）
5. ソナチネ・アルバム1　全曲　（カワイ出版）
6. バッハ・インベンション　15曲　（カワイ出版：バッハ・インベンションとシンフォニア）
7. ショパン・ワルツ集　全曲　（全音楽譜出版社）

コンサートマジック曲目一覧

	曲名	作曲者名
	子供の曲(27曲)	
1	きらきら星	フランス民謡
2	ロンドン橋	イギリス民謡
3	ふるさと	岡野貞一
4	山の音楽家	ドイツ民謡
5	もみじ	岡野貞一
6	ゆき	文部省唱歌
7	七つの子	本居長世
8	10人のインディアン	アメリカ民謡
9	さくらさくら	日本古謡
10	わらの中の七面鳥	アメリカ民謡
11	ひらいたひらいた	わらべうた
12	かくれんぼ	下総皖一
13	虫のこえ	文部省唱歌
14	アイアイ	宇野誠一郎
15	うみ	井上武士
16	おもちゃのチャチャチャ	越部信義
17	かたつむり	文部省唱歌
18	春がきた	岡野貞一
19	もりのくまさん	アメリカ民謡
20	夕やけこやけ	草川信
21	ドレミの歌	O. ハマースタイン、R. ロジャース
22	北風こぞうの寒太郎	福田和禾子
23	ぶんぶんぶん	ボヘミア民謡
24	ゆかいな牧場	アメリカ民謡
25	パフ	P.ヤーロウ、L.リプトン
26	河はよんでいる	G. ベアール
27	こいぬのマーチ	外国曲
	ディズニー / アニメ / スクリーン(13曲)	
28	狼なんか怖くない	F.チャーチル
29	チムチムチェリー	シャーマン兄弟
30	ハイホー	F.チャーチル
31	ビビディバビディブー	マークデビッド他2名
32	星に願いを	L.ハーライン
33	小さな世界	シャーマン兄弟
34	ミッキーマウスマーチ	J.ドッド
35	さんぽ	久石譲
36	エーデルワイス	O. ハマースタイン、R. ロジャース
37	チキチキバンバン	シャーマン兄弟
38	虹の彼方に	H.アーレン
39	となりのトトロ	久石譲
40	サザエさん	筒美京平
	アメリカのクラシック音楽(9曲)	
41	聖者の行進	アメリカ民謡
42	おじいさんの古時計	アメリカ民謡
43	リパブリック賛歌	アメリカ民謡
44	アルプス一万尺	アメリカ民謡
45	ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
46	ケンタッキーの我が家	フォスター
47	故郷の人々	フォスター
48	草競馬	フォスター
49	線路は続くよどこまでも	アメリカ民謡

	曲名	作曲者名
	クラシック(31曲)	
50	喜びの歌	ベートーベン
51	ウィリアムテル序曲	ロッシーニ
52	天国と地獄	オッフェンバック
53	新世界より家路	ドボルザーク
54	エンターティナー	ジョプリン
55	メヌエット　ト長調	バッハ
56	花のワルツ	チャイコフスキー
57	スケーターズ ワルツ	ワルトトイフェル
58	美しく青きドナウ	ヨハン･シュトラウス
59	闘牛士の歌	ビゼー
60	ピチカート ポルカ	ヨハン･シュトラウス
61	ブラームスの子守歌	ブラームス
62	ワシントンポストマーチ	J.P.スーザ
63	アメリカン パトロール	ミーチャム
64	眠りの森の美女	チャイコフスキー
65	ガボット	ゴセック
66	軍隊行進曲	シューベルト
67	ジムノペディ　1番	サティ
68	前奏曲作品28-7	ショパン
69	皇帝円舞曲	ヨハン･シュトラウス
70	メープル リーフ ラグ	ジョプリン
71	双頭のわしの旗のもとに	ワグナー
72	びっくりシンフォニー	ハイドン
73	凱旋行進曲	ヴェルディ
74	エリーゼのために	ベートーベン
75	アヴェマリア	シューベルト
76	ハバネラ	ビゼー
77	ジプシーの歌	ビゼー
78	未完成交響曲	シューベルト
79	結婚行進曲	メンデルスゾーン
80	婚礼の合唱	ワーグナー
	クリスマスの曲(4曲)	
81	おめでとうクリスマス	イギリス民謡
82	ジングルベル	ピアポント
83	もろ人こぞりて	讃美歌
84	きよしこの夜	グルーバー
	世界の民謡(4曲)	
85	フニクリフニクラ	デンツァ
86	こぎつね	ドイツ民謡
87	アニーローリー	スコットランド民謡
88	サンタルチア	ナポリ民謡

■ 別売コンサートマジック曲集について

「コンサートマジック曲集 Vol.2」では、本体に内蔵されている全コンサートマジック曲の演奏譜とメロディー譜を掲載しています。演奏譜はご自分で曲を演奏するときに、メロディー譜はコンサートマジックでのマジカルメロディーモード又はマジカルメロディー＆キーモードで演奏するときにご利用いただけます。ご注文方法など詳細は、付属の「楽譜集のご案内」をご覧ください。

リズム一覧

ビート	No.	リズム
8 ビート	1	8ビート 1
	2	8ビート 2
	3	8ビート 3
	4	ポップ 1
	5	ポップ 2
	6	ポップ 3
	7	ポップ 4
	8	ポップ 5
	9	ポップ 6
	10	ライド ビート 1
	11	ライドビート 2
	12	ダンスポップ 1
	13	カントリーポップ
	14	スムース ビート
	15	リム ビート
8 ビートロック	16	モダンロック 1
	17	モダンロック 2
	18	モダンロック 3
	19	モダンロック 4
	20	ポップ ロック
	21	ライドロック
	22	ジャズロック
	23	サーフロック
16 ビート	24	16ビート
	25	インディーポップ 1
	26	アシッドジャズ 1
	27	ライドビート 3
	28	ダンスポップ 2
	29	ダンスポップ 3
	30	ダンスポップ 4
	31	ダンスポップ 5
	32	ダンスポップ 6
	33	ダンスポップ 7
	34	ダンスポップ 8
	35	インディーポップ 2
	36	ケイジャンロック
8 ビートバラード	37	ポップバラード 1
	38	ポップバラード 2
	39	ポップバラード 3
	40	ロックバラード 1
	41	ロックバラード 2
	42	スロージャム
	43	6/8 R&Bバラード
	44	トリプレットバラード 1
	45	トリプレットバラード 2
16 ビートバラード	46	16バラード 1
	47	ダンスバラード 1
	48	ダンスバラード 2
	49	ダンスバラード 3
	50	エレクトロポップ
	51	16バラード 2
	52	モダンポップバラード
16 ビートダンス	53	ダンス 1
	54	ダンス 2
	55	ダンス 3
	56	ディスコ
	57	テクノ 1
	58	テクノ 2
16 ビートスウィング	59	16シャフル 1
	60	16シャフル 2
	61	16シャフル 3
	62	アシッドジャズ 2
	63	アシッドジャズ 3
	64	ニュージャックスウィング
	65	モダンダンス
	66	インディーポップ 3
8 ビートスウィング	67	スウィングビート
	68	モータウン
	69	カントリー 2ビート
	70	ブギ
トリプレット	71	8シャフル 1
	72	8シャフル 2
	73	8シャフル 3
	74	ダンス シャフル
	75	トリプレット 1
	76	トリプレット 2
	77	トリプレットロック
	78	レゲエ
ジャズ	79	H.H. スウィング
	80	ライドスウィング
	81	ファスト 4ビート
	82	アフロキューバン
	83	ジャズボッサ
	84	ジャズワルツ
	85	5/4スウィング
ラテン／トラディショナル	86	H.H. ボサノバ
	87	ライドボサノバ
	88	ビギン
	89	ルンバ
	90	チャチャ
	91	マンボ
	92	サンバ
	93	サルサ
	94	メレンゲ
	95	タンゴ
	96	ハバネラ
	97	ワルツ
	98	ラグタイム
	99	マーチ
	100	6/8マーチ

各音色に対応する送受信プログラムナンバー一覧

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバー2の時		
	プログラムナンバー		プログラムナンバー	バンク	
	CA97	CA67		MSB	LSB
Piano1					
SK コンサートグランド	1	1	1	121	0
EX コンサートグランド	2	2	1	95	27
SK-5 グランド	3	3	1	95	30
ジャズ グランド	4	4	1	121	1
ジャズ グランド 2*	5	―	1	95	32
メロー グランド	6	5	1	121	2
メロー グランド 2	7	6	1	95	29
スタンダード グランド	8	7	1	95	16
Piano2					
ポップ グランド	9	8	1	95	28
ポップ グランド 2	10	9	1	95	31
ポップ ピアノ	11	10	2	95	10
スタジオ グランド*	12	―	1	95	17
アップライト ピアノ	13	11	1	95	25
モダン ピアノ	14	12	2	121	0
ブギウギ ピアノ*	15	―	1	95	33
ホンキートンク ピアノ*	16	―	4	121	0
Electric Piano					
クラシック E.ピアノ	17	13	5	121	0
60's E.ピアノ	18	14	5	121	3
モダン E.ピアノ	19	15	6	121	0
クラシック E.ピアノ 2	20	16	5	121	1
ニューエイジ E.ピアノ	21	17	6	95	2
クリスタル E.ピアノ	22	18	6	95	1
モダン E.ピアノ 2*	23	―	6	121	1
モダン E.ピアノ 3*	24	―	6	121	2
Organ					
ジャズ オルガン	25	19	18	121	0
ブルース オルガン	26	20	17	121	0
バラード オルガン	27	21	17	95	5
ゴスペル オルガン	28	22	17	95	3
ドローバー オルガン	29	23	17	95	1
ドローバー オルガン 2	30	―	17	95	2
ドローバー オルガン 3*	31	―	18	121	2
ドローバー オルガン 4*	32	24	17	121	3
チャーチ オルガン	33	25	20	121	0
ディアパソン	34	26	20	95	7
フル アンサンブル	35	27	21	95	1
オクターブ ディアパソン	36	28	20	95	6
ティビア オルガン	37	29	20	95	17
オクターブ プリンシパル	38	30	20	95	24
プリンシパル コーラス*	39	―	20	95	23
バロック オルガン*	40	―	20	95	19

*がついているものはCA97のみの音色です。

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバー2の時		
	プログラムナンバー		プログラムナンバー	バンク	
	CA97	CA67		MSB	LSB
Harpsi & Mallets					
ハープシコード	41	31	7	121	0
オクターブハープシコード	42	32	7	121	1
ビブラフォン	43	33	12	121	0
クラビ	44	34	8	121	0
マリンバ	45	35	13	121	0
チェレスタ	46	36	9	95	1
ハープシコード 2*	47	—	7	121	3
スプリット ベル*	48	—	15	95	5
Strings					
スロー ストリングス	49	37	45	95	1
シンセ ストリングス	50	38	49	95	8
メロー ストリングス	51	39	49	95	1
ストリング アンサンブル	52	40	49	121	0
メロー オーケストラ	53	41	50	95	1
スモール ストリングス*	54	—	49	95	14
ハープ	55	42	47	121	0
ピチカート*	56	—	46	121	0
Vocal & Pad					
クワイア	57	43	53	121	0
ポップ ボーカル	58	44	54	95	39
ポップ ボーカル 2	59	45	54	95	40
クワイア 2	60	46	54	95	53
ジャズ ボーカル	61	47	54	95	2
ポップ ボーカル 3	62	48	54	95	7
スロー クワイア*	63	—	53	95	2
ブレス クワイア*	64	—	53	95	1
ファンタジー	65	49	89	121	0
ファンタジー 2	66	50	100	121	0
ファンタジック クワイア	67	51	92	121	1
ファンタジー 3	68	52	101	95	1
ファンタジー 4*	69	—	89	95	2
ファンタジック ブラス	70	53	62	95	2
コスミック パッド	71	54	93	121	0
コスミック パッド 2*	72	—	90	95	1
Bass & Guitar					
ウッド ベース	73	55	33	121	0
エレクトリック ベース	74	56	34	121	0
フレットレス ベース	75	57	36	121	0
W.ベース & シンバル	76	58	33	95	1
E.ベース & シンバル*	77	—	34	95	2
バラード ギター	78	59	26	95	6
ピックナイロン ギター	79	60	25	95	3
フィンガーナイロン ギター*	80	—	25	95	4

他の機器との接続

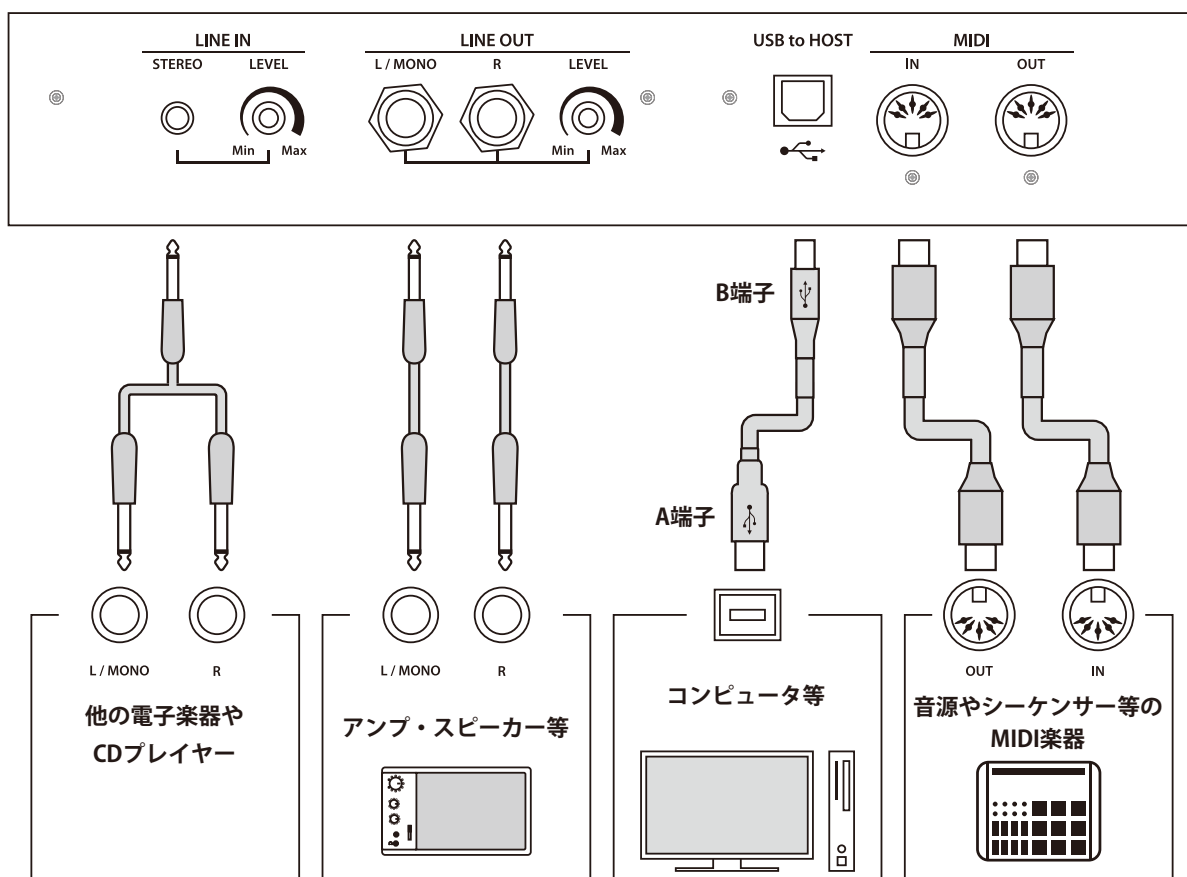
LINE IN
STEREO LEVEL
Min Max
LINE OUT
L / MONO R LEVEL
Min Max
USB to HOST
MIDI
IN OUT

B端子
A端子

L / MONO R
他の電子楽器や
CDプレイヤー

L / MONO R
アンプ・スピーカー等

コンピュータ等

OUT IN
音源やシーケンサー等の
MIDI楽器

- **他の機器と接続する時はCA97 / 67の電源を切ってから行ってください。電源が入っている時に行うとノイズ音が発生し、アンプの保護回路が働きCA97 / 67の音が出なくなることがあります。出なくなった場合はもう一度電源を入れ直してください。**
- **CA97 / 67のラインイン（LINE IN）とラインアウト（LINE OUT）を直接ケーブルで接続しないでください。発振音が発生し、故障の原因になります。**

1. LINE OUT（ライン出力端子）＜標準フォンジャック＞

CA97 / 67の音を他の外部機器（アンプ、ステレオ）などで聴いたり、外部機器に録音する場合に使用する出力端子です。出力レベルは本体のマスターボリューム（P. 12）で調節することはできません。ライン出力端子の出力レベルを調節する場合は、ラインアウト端子の隣にあるLEVELつまみを回して調節してください。Rは右側、L / MONOは左側の出力を示しています。なお、モノラル信号は、L / MONOのみにプラグを接続したときに出力されます。

2. LINE IN（ライン入力端子）＜ミニステレオジャック＞

他の電子楽器やCDプレイヤーなどの出力端子とこの端子を接続すると、CA97 / 67の内蔵スピーカーからそれぞれの機器の音を出力できます。音量調節はラインイン端子の左側にあるLEVELつまみを回すか、接続した機器で調節してください。「ラインインレベル」（P. 64）を利用して調整することも可能です。

また、ラインイン端子には過大入力が入らないようにご注意ください。常識を超える過大入力に対しては故障の原因になりますのでご注意ください。

3. MIDI（ミディ）

MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

4. USB端子

市販のUSBケーブルでコンピュータと接続すると、MIDIデバイスとして認識され通常のMIDIインターフェイスと同様にMIDIメッセージを送受信することができます。

USB端子にはA端子とB端子があり、コンピュータ側はA端子、デジタルピアノ側はB端子でそれぞれ接続します。

USBドライバーについて

コンピュータとデジタルピアノをUSB接続してデータをやりとりするためには、デジタルピアノを正しく動作させるためのソフトウェア（USB-MIDIドライバー）がコンピュータに組み込まれている必要があります。
お使いのコンピュータのOSによって使用するUSB-MIDIドライバーが異なりますので、下記の説明をよく読んでお使いください。

OS	
Windows ME Windows XP（SPなし, SP1, SP2, SP3） Windows XP 64-bit Windows Vista（SP1, SP2） Windows Vista 64-bit（SP1, SP2） Windows 7 Windows 7 64-bit Windows 8 Windows 8 64-bit Windows 8.1 Windows 8.1 64-bit	Windowsに搭載されている標準USB-MIDIドライバーを使用しますので、パソコンと接続すると自動的にこのUSB-MIDIドライバーがインストールされます。アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合はMIDIデバイスとしてWindows ME / XP / XP 64bitの場合は「USBオーディオデバイス」を、Windows Vista / Vista 64-bit / 7 / 7 64-bit / 8 / 8 64-bit / 8.1 / 8.1 64-bitの場合は「USB-MIDI」を指定してください。
Windows 98 SE Windows 2000 Windows Vista（SPなし）	指定の専用USB-MIDIドライバーをコンピュータに追加する必要があります。下記のカワイホームページより専用USBドライバーをダウンロードしコンピュータにインストールしてください。*Windows Vistaの場合は必ずXP互換モードでインストールしてください。 **http://www.kawai.co.jp/download_demo/driver/** ・パソコンと接続する前に説明書をよく読んで、必ずインストール作業を行ってください。この作業を行わずに接続すると、USB-MIDIドライバーが動作しない場合があります。万一動作しなくなった場合は、OSの「ドライバーの更新」機能によって正しいUSB-MIDIドライバーをインストールするか、「ドライバーの削除」で削除してからインストール作業をやり直してください。 ・アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合はMIDIデバイスとして「KAWAI USB MIDI IN」、及び「KAWAI USB MIDI OUT」を指定してください。
Windows Vista 64-bit（SPなし）	USB-MIDIをサポートしておりません。SP1、またはSP2にアップグレードをしてください。
Macintosh OS X	Macintosh OS Xでは自動的にUSB-MIDIデバイスとして認識されますので、特別なドライバーは必要ありません。アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合は「USB-MIDI」を指定してください。
OS9以前のMacintosh	OS9以前のMacintoshにはサポートしておりません。市販のMIDIインターフェイスを使用して、MIDI接続してください。

iPadについて

CA97 / 67はiPadと接続し、楽器に対応したiPadアプリケーションを使ってお楽しみいただけます。
ご使用の前に、下記のカワイホームページよりiPad、各アプリケーションの最新の対応状況・動作環境情報を必ずご確認ください。

http://www.kawai.co.jp/

USBに関するご注意

MIDIとUSBが同時に接続された場合、USBが優先されます。

デジタルピアノとコンピュータをUSBケーブルで接続する場合は、まずUSBケーブルを接続してからデジタルピアノの電源を入れてください。

デジタルピアノとコンピュータをUSB接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。

デジタルピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータのUSBポートに直接接続してください。

下記の動作中、デジタルピアノの電源オン / オフ、USBケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやデジタルピアノの動作が不安定になる場合があります。
「ドライバーのインストール中」「コンピュータの起動中」「MIDIアプリケーションが動作中」「コンピュータと通信中」「省電力モードで待機中」

お使いのコンピュータの設定によっては、USBが正常に動作しない場合があります。ご使用になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

* "MIDI"は、社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。

* Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。

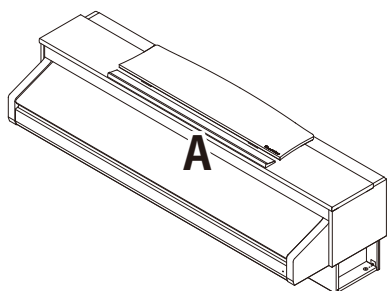
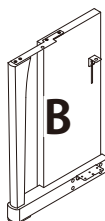
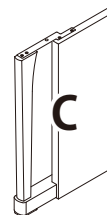
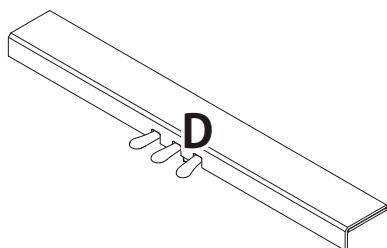
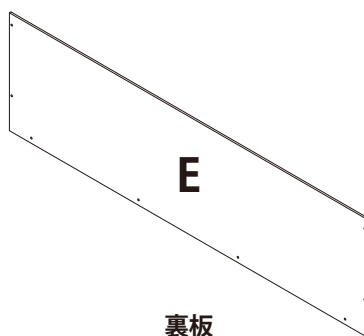
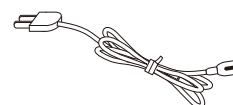
* MacintoshとiPadは、Apple Computer.Inc.の登録商標です。

* その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

CA67の組み立て方

組立作業は必ず2人で行ってください。
本機を移動するときは、水平に持ち上げるようにし、手をはさんだり、足の上に落とさないよう十分注意してください。

部品の確認

組み立てる前に、部品がそろっていることを確認してください。また、＋ドライバーをご用意下さい。

ネジセット

ⓐ ネジ（ワッシャー付）：2本

ⓑ 先の平らなネジ（6 x 20mm）：2本

ⓒ 長い黒ネジ（4 x 30mm）：4本※

ⓓ 短い黒ネジ（4 x 20mm）：4本※

ⓔ 銀ネジ（4 x 16mm）：4本

※本体色がホワイトメープルの場合、黒ネジではなく、銀ネジになります。

ヘッドホンフックセット

ヘッドホンフック

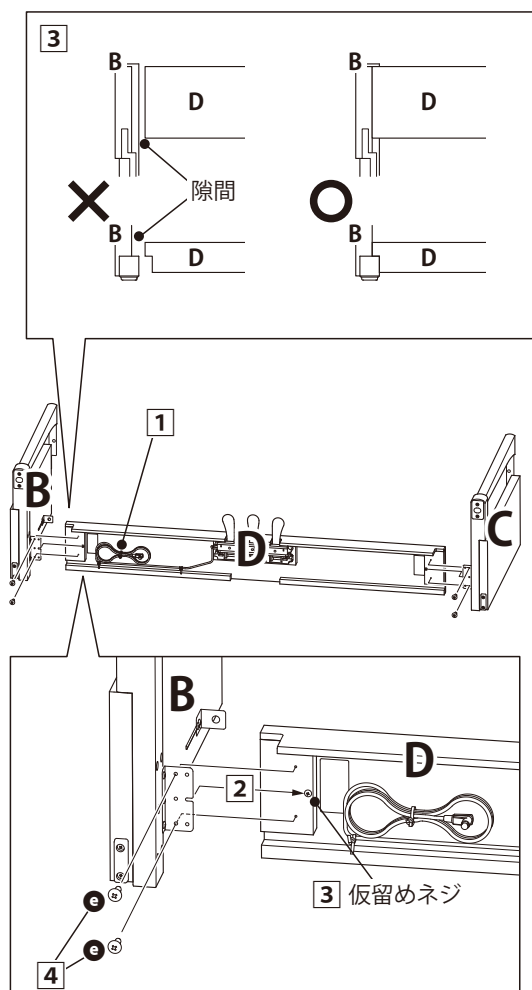
取付ネジ（4 x 14mm）：2本

1. B・CをDに固定する

1 - 1
Dに結ばれているペダルコード（1箇所のみ）をほどいて、コードを引き出す。

1 - 2
B・Cの金属の溝に、Dに仮留めされているネジをはめ込む。

1 - 3
B・CとDを**ぴったりと押しあてて**仮留めネジを締める。

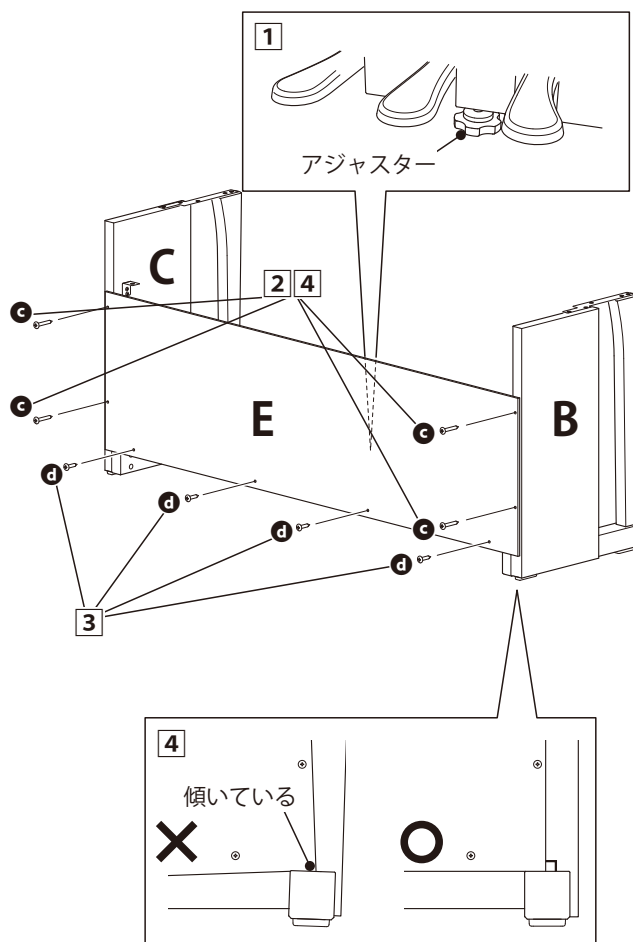
1 - 4
残りのネジ穴に ⓔ 銀ネジ4本できつく締め固定する。

2. Eを固定する

2 - 1
下図のようにスタンドを起こす。
このとき床に楽譜や部品がないこと、アジャスターがしっかり付いていることを確認する。

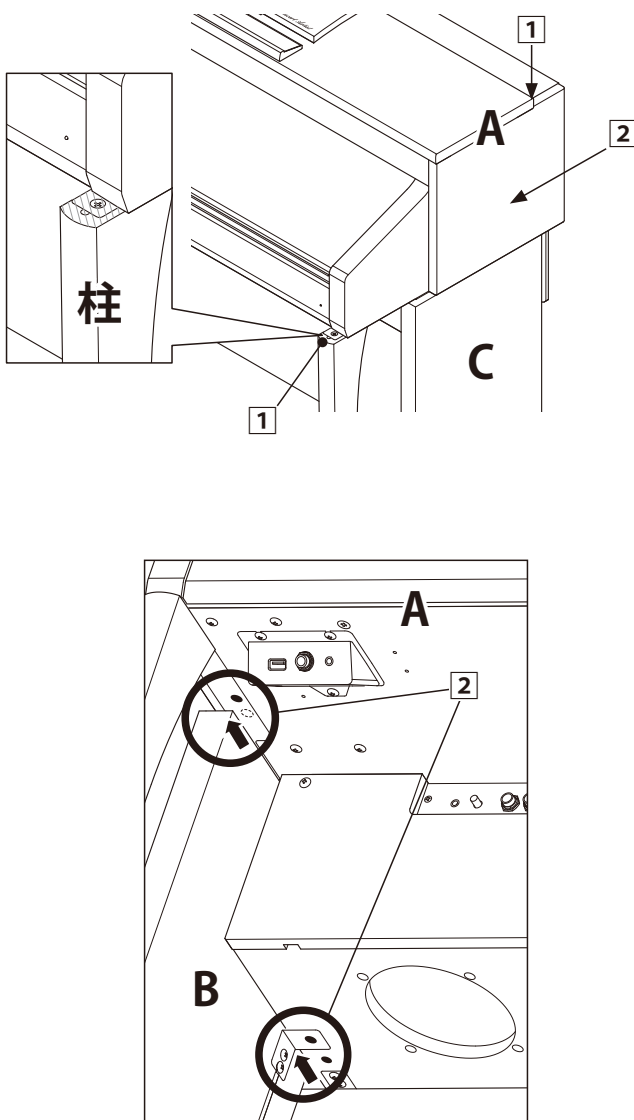
2 - 2
EとB・Cのネジ穴の位置を合わせ、ⓒ 長い黒ネジ※4本で仮留めする。

2 - 3
EとDのネジ穴の位置を合わせ、ⓓ 短い黒ネジ※4本で固定する。

2 - 4
仮留めした ⓒ 長い黒ネジ※をB・CとEに**隙間がないよう密着させて傾きがないよう締める。**

※本体色がホワイトメープルの場合、黒ネジではなく、銀ネジになります。

3. Aを載せる

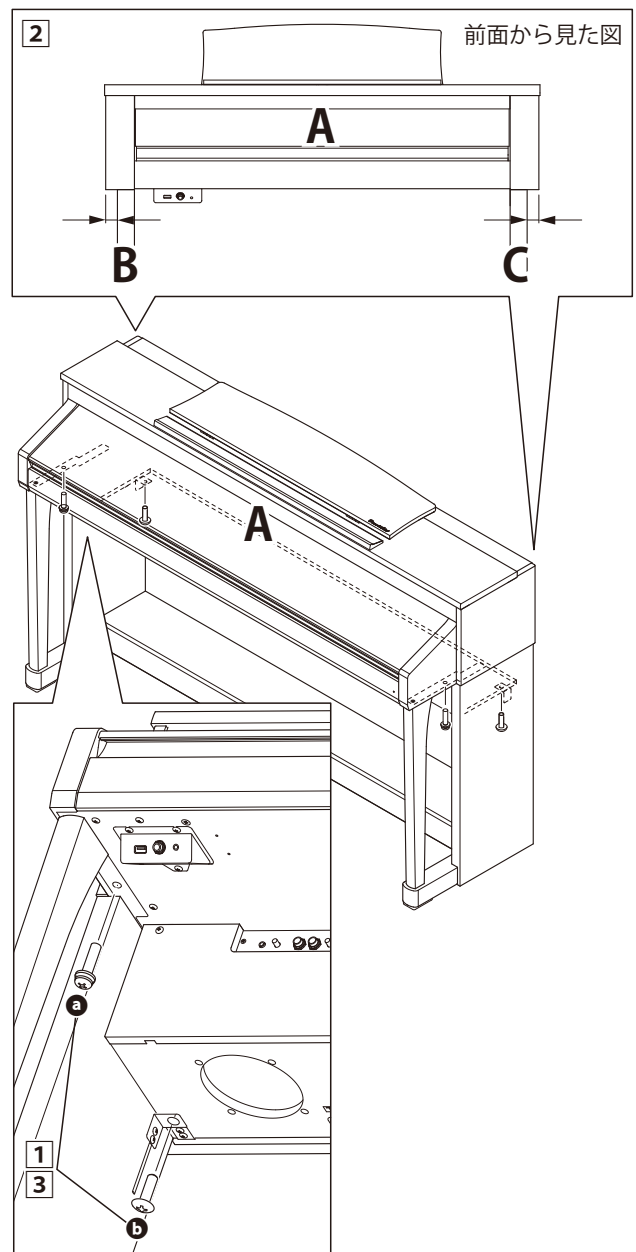
3 - 1
Aを十分上に持ち上げ、真上から見て**B・Cの柱の上面**が見えるように静かに載せる。

3 - 2
Aの底面のネジ穴とB・Cの金具の穴の位置を合わせるように前に動かす。
ネジ穴が見えない場合は、**2 - 4**で締めたネジをゆるめ再調整する。

手をはさんだり、本体を落としたりしないよう十分ご注意ください。

4. Aを固定する

4 - 1
a ネジ2本を前側、b 先の平らなネジを後側のネジ穴に仮留めする。

4 - 2
前面から見てAの左右の張り出し部分が均等になるよう調整する。

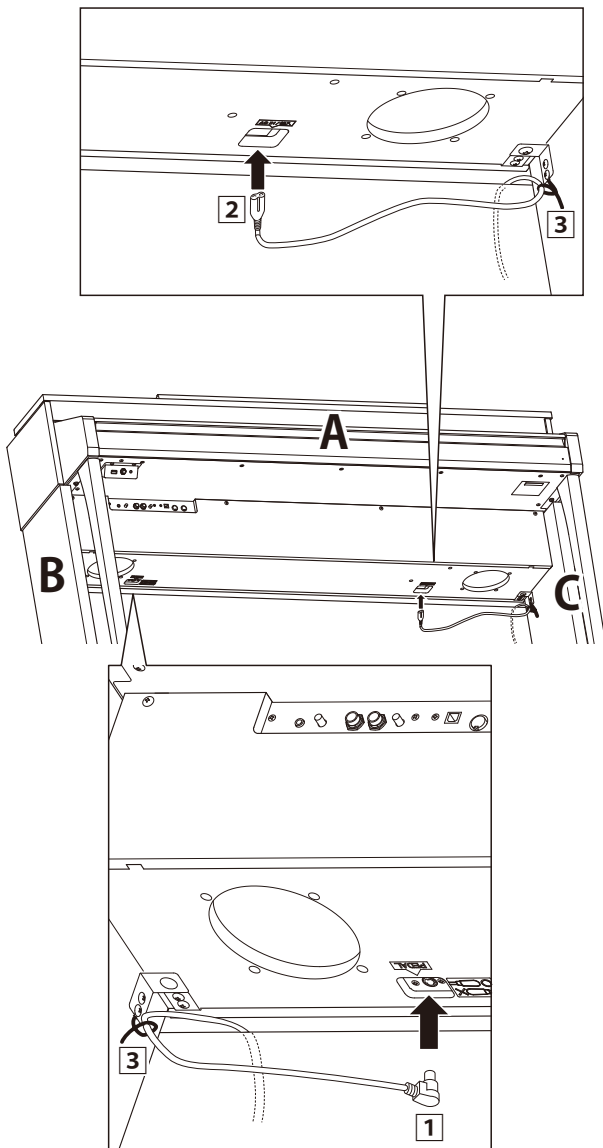
4 - 3
仮留めしたネジをきつく締めて固定する。

必ず付属のネジでしっかりと固定してください。
固定しないと、本体がスタンドから落ち大変危険です。

付録

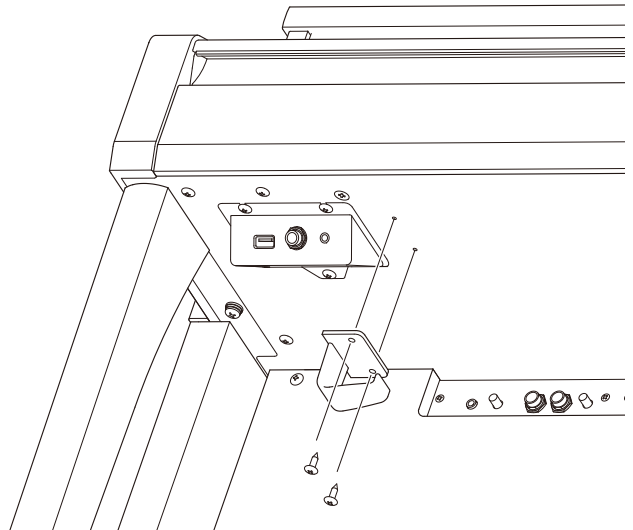
5. ペダルコード・電源コードを接続する

5 - 1
ペダルコードをAの底面にあるペダル端子に接続する。

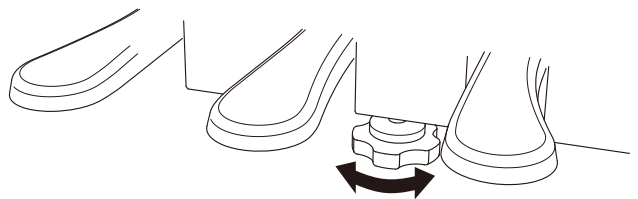
5 - 2
電源コードをAの底面にあるAC IN端子に接続する。

5 - 3
B・Cに付いているコードクランプでコードを固定する。

ペダルコードは差し込む方向に注意し、真っ直ぐ抜き差ししてください。無理な力がかかると、コネクタのピンが曲がり故障する場合があります。

6. ヘッドホンフックを取り付ける

ヘッドホンフックを同じ袋に入っているネジ2本で図のように取り付ける。

7. アジャスターを回す

ペダル土台の裏にあるアジャスターを、床にピッタリ付くまで回しペダル土台を補強します。

床の材質、状態によってはペダル踏み込み時に床との間で摩擦音が発生することがあります。その際はフェルトやカーペットなどを床とアジャスターの間に挟み調整してください。

アジャスターをしっかり床につけないと、ペダル土台が壊れる恐れがあります。
なお、移動の際は引きずらないよう、必ず床から持ち上げて移動してください。

CA97 / 67仕様

	CA97	CA67
鍵盤	88鍵　木製鍵盤 Grand Feel アクションII	
同時発音数	最大256音（音色により異なる）	
音色	80音色　(P. 127参照)	60音色　(P. 127参照)
ディスプレイ	128 x 64 dot　液晶ディスプレイ　(LCD)	
効果	リバーブ（6種） コーラス3種、ディレイ3種,トレモロ3種、オートパン2種、フェイザー2種、 ロータリー6種、コンビネーション5種、トーンコントロール	
レッスン	全365曲（練習曲：345曲、指のトレーニング：20曲）	
メトロノーム	1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8、7/8、9/8、12/8拍子、リズム100種類	
内部レコーダー	2パート x 10ソング、総記憶音数　約90,000音	
USBレコーダー	再生 : MP3（ビットレート : 8k ～ 320kbps, サンプリング周波数 : 44.1kHz, 48kHz, 32kHz）, WAV（44.1kHz, 16bit）, SMF, KSO（内部ソングファイル） レコーダー録音 : MP3（ビットレート : 256kbps固定, サンプリング周波数 : 44.1kHz）, WAV（44.1kHz, 16bit）	
ラインイン録音	対応	
デモ曲	全39曲	全37曲
ピアノミュージック	全29曲	
コンサートマジック	全88曲	
コンサートチューナー	タッチカーブ、ボイシング、ダンパーレゾナンス、ダンパーノイズ、ストリングレゾナンス、 開放弦レゾナンス、キャビネットレゾナンス、キーオフエフェクト、キーアクションノイズ、 ハンマーディレイ、大屋根の開閉、ディケイタイム、ミニマムタッチ、 ストレッチ/ユーザーチューニング、音律の設定、音律の主音の設定、88鍵ボリューム、 ハーフペダルポイント、ソフトペダルデプス	
キートランスポーズ	−12 ～ +12半音	
ソングトランスポーズ	−12 ～ +12半音	
オートパワーオフ	オフ、30分、60分、120分	
ヘッドホン機能	スペイシャルヘッドホンサウンド、ヘッドホンタイプ、ヘッドホン音量	
その他機能	デュアル、スプリット、4ハンズ（連弾演奏）、トーンコントロール、スピーカーボリューム、 ラインインレベル、ウォールEQ（CA97のみ）、チューニング、ダンパーホールド、 LCDコントラスト、スタートアップセッティング、ファクトリーリセット、 MIDI設定機能、パネルロック	
ペダル	ダンパー（ハーフペダル対応）、ソフト、ソステヌート	
キーカバー	スライド式	
譜面台	可倒式（角度調整機能 : 3段階）	
外部記憶	USBメモリ、USBフロッピーディスクドライブ	
外部端子	ヘッドホン（2）、MIDI（IN, OUT）、LINE OUT（L/MONO,R）-LINE OUTボリューム付、 LINE IN（ステレオミニ）- LINE INボリューム付、USB to HOST、USB to DEVICE	
出力	135W (45W x 3)	100W (50W x 2)
スピーカー	7 cm x 4（トップスピーカー） 1.4 cm x 2（ドームツィーター） 響板スピーカー	13cm x 2（ウーファー） （8x12）cm x 2（トップスピーカー） 5cm x 2（ツィーター）
定格電圧	AC100V, 50 / 60Hz	
消費電力	55 W	45 W
寸法	W145.5 x D46.5 x H92.5 cm セットアップ時、但し譜面台を倒した状態	W145.5 x D45.5 x H92.5 cm セットアップ時、但し譜面台を倒した状態
重量	85 kg	76 kg
同梱品	本体 / スタンド / 高低自在椅子 / 電源コード / 取扱説明書（本書） クラシカルピアノコレクション（楽譜集） / ヘッドホン（SH-2N） / ヘッドホンフック スタンド組立図（CA67のみ） / 保証書 / ユーザー登録のご案内 アフターサービスと音楽教室のご案内 / 楽譜集のご案内 「コンサートマジック曲集」注文払込用紙 * CA97は本体とスタンドが接続された状態で梱包されています。	

Model CA97 / 67　　　　Version : 1.0

MIDIインプリメンテーションチャート

ファンクション		送　信	受　信	備　考
ベーシックチャンネル	電源ON時	1	1	
	設定可能	1 〜 16	1 〜 16	
モード	電源ON時	モード3	モード1	** 電源ON時オムニオン。MIDIチャンネル設定操作によりオムニオフ。
	メッセージ	×	モード1, 3**	
	代用	＊＊＊＊＊＊＊	×	
ノートナンバー		21 - 108*	0 - 127	* 9-120　トランスポーズを含む。
	音域	＊＊＊＊＊＊＊	0 - 127	
ベロシティ	ノート・オン	○	○	
	ノート・オフ	○	○	
アフタータッチ	キー別	×	×	
	チャンネル別	×	×	
ピッチ・ベンド		×	×	
コントロールチェンジ	0,32	○	○	バンクセレクト
	7	×	○	ボリューム
	10	×	○	パンポット
	11	×	○	エクスプレッション

	64	○(右ペダル)	○	ダンパー
	66	○(中ペダル)	○	ソステヌート
	67	○(左ペダル)	○	ソフトペダル
プログラムチェンジ 設定可能範囲		○(0 - 127) ＊＊＊＊＊＊＊＊	○(0 - 127)	
エクスクルーシブ		○	○	送信選択可能
コモン	ソングポジション	×	×	
	ソングセレクト	×	×	
	チューン	×	×	
リアルタイム	クロック	×	×	
	コマンド	×	×	
その他	ローカルON / OFF	×	○	
	オールノートオフ	×	○(123〜127)	
	アクティブセンシング	×	○	
	リセット	×	×	
備　考				

モード1 : オムニオン、ポリ　　モード2 : オムニオン、モノ　　○ : 有り
モード3 : オムニオフ、ポリ　　モード4 : オムニオフ、モノ　　× : 無し

株式会社 河合楽器製作所
電　子　楽　器　事　業　部
〒430-8665 浜 松 市 中 区 寺 島 町200番 地
TEL. 053-457-1277 / FAX. 053-457-1279
http://www.kawai.co.jp/

お問合せ先について

ご不明な点などがございましたら、下記のお客様相談室をご利用ください。

◆お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. customer@kawai.co.jp
電話受付時間　9：00～12：00 / 13：00～17：00
（土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。）

◆お客様サポート・お問合せフォーム

http://www.kawai.co.jpの「お客様サポート」よりお進みください。

故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店、もしくはお近くのフィールドサポート担当までご連絡ください。
詳細は同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」の冊子をご参照ください。

818195
KPSZ-0755-R104
Printed in Indonesia